

# メルコスール観光振興プロジェクト 実施協議調査団報告書

平成 16 年 11 月

(2004 年)

独立行政法人国際協力機構

東京国際センター



## 目次

略語表.....	2
1. 背景・経緯.....	3
2. 日程.....	3
3. 団員.....	3
4. 団長所感.....	4
4. I. 調査団派遣の目的.....	4
4. II. プロジェクトの枠組みの確認.....	6
4. III. プロジェクト運営の枠組みの確認.....	9
4. IV. 全体所感.....	12
添付書類	
別添 1 調査団日程.....	17
別添 2 面会者リスト.....	20
別添 3 メルコスール観光振興プロジェクト包括R/D.....	23
別添 4 メルコスール観光振興プロジェクト二国間 R/D・M/M.....	48
別添 5 協議議事録.....	230

## 略語表

略語	西／英名	和名	備考
CCT	Comité de Cooperación Técnica del MERCOSUR	技術協力委員会	メルコスール組織
CMC	Consejo del Mercado Común	共同市場審議会	メルコスール組織
EMBRATUR	Empresa Brasileira de Turismo	ブラジル政府観光局	ブラジル
GMC	Grupo Mercado Común	共同市場グループ	メルコスール組織
INPROTUR	Instituto Nacional de Promoción Turística	アルゼンチン政府観光局	アルゼンチン
JATA	Japan Association of Travel Agents	社団法人日本旅行業協会	日本
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構	日本
JPMO	Project Management Office in Japan (MERCOSUR Tourism Promotion Office in Japan)	メルコスール観光局日本事務所	メルコスール組織
MERCOSUR	Mercado Común del Sur	南米南部共同市場	メルコスール組織
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス	
PMO	Project Management Office (Montevideo)	メルコスール観光局プロジェクト事務所	メルコスール組織
PO	Plan of Operation	プロジェクト活動計画	
R/D	Record of Discussion	協議議事録	
RET	Reunión Especializadas de Turismo	観光特別会議	メルコスール組織
RMTur	Reunión Ministros de Turismo	観光大臣会議	メルコスール組織
SENATUR	Secretaría Nacional de Turismo	パラグアイ観光庁	パラグアイ

## 1. 背景・経緯

本協力は、平成14年度から開始されているメルコスール地域特設研修「メルコスール観光振興」に参加した研修員が、プロジェクトとして発展させることを提案し、平成15年3月に、プロジェクト形成調査団を派遣し、広域協力の合意形成方法について協議した。その後、平成15年度本邦研修にて、さらにプロジェクトの構想を固め、平成15年11月に開催されたメルコスール共同市場グループ（メルコスールの最高意志決定機関）において、本件要請をわが国に提出する総意がまとまり、要請に至った。これを受け、平成16年1月に本件は15年度技術協力プロジェクトとして追加採択されたもの。

その後、平成16年2月に、JICAより事前評価調査団を派遣し、メルコスールと日本との包括的な合意文書の内容について協議を行った。それを元に、日本とメルコスールの包括的な合意文書がGMCの承認を経、2004年9月、日・メ双方による包括RD署名に至ったもの。

今次調査団では、包括RDをベースに二国間RDの協議を行い、可能であれば調査期間中に二国間RDの署名を行うことを目的として派遣した。

## 2. 日程

平成16年10月23日～平成16年11月7日（16日間）

日程は別添のとおり。

## 3. 団員

(1) 小樋山 覚(こひやま さとる)：団長

独立行政法人国際協力機構 東京国際センター 所長

Leader / Mr. Satoru Kohiyama

Director General, JICA TOKYO,

Japan International Cooperation Agency

(2) 澤田 純子(さわだ じゅんこ)：プロジェクト計画

独立行政法人国際協力機構 東京国際センター 経済開発チーム

Project Planning / Ms. Junko Sawada

Program Officer, Second Program Division, JICA Tokyo, JICA

(3) 富永 健一郎(とみなが けんいちろう)：メルコスール協力アドバイザー

JICA 企画調査員(対メルコスール技術協力)、JICA アルゼンチン事務所勤務

Project Formulation Advisor for Technical Cooperation for Mercosur

(現地参团)

#### 4. 団長所感

##### I. 調査団派遣の目的

- (1) なぜ JICA 東京所長が調査団長としてメルコスール 4 カ国を訪問するか
- 1) 現地主導という JICA の基本方針にもかかわらず、JICA 東京所長が調査団長としてメルコスール 4 カ国を訪問する意義は何か。
  - 2) 第一に、二国間協力とはいえメルコスール 4 カ国を協力対象としているため、事務所長の所掌範囲を超えた 4 カ国の調整を必要とするからである。他方、現在もアルゼンチン駐在のメルコスール企画調査員が本プロジェクトの準備、調整を行っていることから、将来は 4 カ国の事務所間で本プロジェクトの現地での調整ができる「仕組み」を模索する必要もあろう。今回の調査のなかで、この可能性を打診することとする。
  - 3) 第二に、本プロジェクトは日本において技術協力が行われる比率が高く、日本における JPMO 開設など、日本側が直接関与することが多くなるため、所管している JICA 東京の所長が訪問することが必要となる。
- (2) プロジェクト全体における今回の調査団派遣の目的
- 1) 派遣前の対処方針としては「メルコスール観光振興プロジェクトの早期実施に向け、プロジェクトの枠組みや、実施合意のあり方について二国間ベースで最終確認を行い、可能であれば調査期間中に二国間 RD の署名を行うこととして派遣する」ことを目的とした。
  - 2) 本プロジェクトは第一フェーズの協力期間を 3 年間とし、その成果によっては第二フェーズを想定している。しかしながら、協力開始と同時に専門家や JPMO マネージャーが赴任することは不可能であり、メルコスール 4 カ国内の調整などにより、協力の成果が具体化するためには時間を要することも想像される。例えば、協力開始後 3 ヶ月以内に決定する事項もいくつかあるが、期間内に決定できないことも危惧される。
  - 3) そこで、今回の調査団は 3 年間で具体的な成果を示さない限り第二フェーズに移行できないこともありうることを、メルコスール 4 カ国の最高責任者に再認識してもらい、すべての活動を「前倒し」に取り組むことが必要不可欠であることを認識してもらうことも一つの目的とする。  
\*本プロジェクトは料理と同じ。お客を待たせずに美味しい料理を出して店が繁盛するためには、お湯が沸いてから「イモ」の皮をむくというアプローチは間違い。
  - 4) すなわち、本プロジェクトをメルコスールの主導と主体性によって進めるべきであることを大前提としつつ、メルコスールが「ロードマップ」を作成し、それに基づき実現を図るための問題提起を行うこととする。
  - 5) 他方、メルコスールの統合した活動の枠組みを構築することが第一に優先されるこ

とが大前提ではあるが、メルコスール4カ国にはそれぞれの特長と経緯があり、その個性に基づくメルコスール4国内での適正な競争もまた必要である。そして、個性を生かした「競争」のなかで、4カ国がより強く統合され、かつ4カ国の特長を生かすことができることを共通認識とし、どのようなルールによりそれが実現できるかを考えることが重要であることを問題提起したい。

### (3) 調査結果

#### 1) メルコスール各国の JICA 事務所の調整・連携の強化

ア. ブラジル事務所次長、パラグアイ事務所長、アルゼンチン事務所長とはメルコスール各国の JICA 事務所がメルコスール案件の調整・連携を強化する方向性についての共通認識は形成されたと思われる。

イ. 他方、アルゼンチン事務所長からはチリなどの隣国との広域の対応が必要であるとの指摘もあった。

ウ. ウルグアイにおいては事務所が開設されていないため、大使館が技術協力業務を行っているが、大使自らの要望もあり、JICA としても業務遂行に支障をきたすため、早期に駐在員事務所に格上げすることが望ましい。

#### 2) 二国間 R D の署名

ア. ブラジル外務省、観光省との間には署名ができなかった。原因はブラジル技術協力庁 (ABC) 法務部の了解が遅れたこと、観光大臣、ABC 長官が不在であったことなどであるが、法務部の了解は調査団滞在中に確認された。包括 R D は締結されていることもあり、内容よりは手続き上の理由である。ウルグアイ到着までには事務所長と大臣、長官の間で署名することを確認したうえで移動した。

イ. パラグアイにおいては全く問題なく観光庁長官と署名した。署名式は帰国研修員による JATA フェアの報告会の後に行われ、各マスコミに報道された。日本大使館参事官、外務省責任者も同席した。

ウ. アルゼンチンにおいては西語の表現についての微調整はあったものの、問題なく署名した。署名式には日本大使、公使、担当書記官、外務省責任者、各マスコミも同席した。

エ. ウルグアイにおいては国政選挙の結果、政権交代が確定し、次期政権に配慮し車両の提供は困難であるとの意見があったが、他国及びウルグアイ国における実情を説明し、理解を得た。

#### 3) 本プロジェクト実施最高責任者への共通認識の形成

ア. 本プロジェクトの「前倒し」実施の重要性については、ブラジル観光省副大臣、パラグアイ観光庁長官、アルゼンチン観光庁顧問及び外務省担当局長、ウルグアイ (グロリア・カンポス) とともに確認された。特に、パラグアイ観光庁長官は署名式の挨拶において当方のレストランの料理の例示を取り上げるなど、強い政治

的意識が伺われた。

- イ. メルコスール4カ国の統合と競争については、ブラジル観光省副大臣、パラグアイ観光庁長官、アルゼンチン観光庁顧問、ウルグアイ（グロリア・カンポス）ともに確認された。他方、ブラジル観光省副大臣からは、4カ国の歴史的な経緯もあり統合においては格差が生じうることを日本側も十分理解してもらいたいとの発言があり、ブラジルの自己主張だけでなく一定の譲歩も念頭に置いていることを窺わせた。

## II. プロジェクトの枠組みの確認

### (1) 国際約束の形成方法の確認

#### 1) 問題認識

- ア. パラグアイ及びウルグアイについては、包括締結済みであるのでRD署名後、直ちに国際約束の締結が可能となる。
- イ. ブラジルにおいてはスキームごとの個別の国際約束により実施されるので、当面はこの方式で対応することとする。
- ウ. アルゼンチンについては、包括締結が準備されているとの情報を得ているが、現地にて日程も含め再確認する。

#### 2) 調査結果

- ア. アルゼンチンにおいては準備が進められており、日本外務省側が検討している状況。日本大使館にも促進を依頼した。

### (3) 活動の基本原則についての理解とコミットメントの確認

#### 1) 調査団の問題認識

- ア. 本プロジェクトの基本原則は、第一に活動はメルコスールにより主体的に行われ、JICAの役割は促進者、触媒であること。また、メルコスールは費用分担をすること。第二に官民連携の重要性と民間セクターを積極的に参加させること。
- イ. 第一の点については、主体性の確立には時間がかかるであろうことが問題。今までのJICAプロジェクトはJICAが方向性を示すかたちが多かったが、JICAはあくまでも促進者。メルコスール4カ国が主体的にかつ短期間で「仕組み」を確立し、活動を行うためには、最高責任者のリーダーシップと調整能力が問われる。
- ウ. また、費用分担については、日本での活動に関する費用負担がメルコスールでの課題となろう。費用分担が可能となる予算措置はもちろん、費用分担が可能となるだけの成果が求められる。ここでも、最高責任者のリーダーシップが不可欠。
- エ. 第二の点については、今まで必ずしも十分に行われてこなかったであろう。どのように官民の連携を確保し、積極的に参加させるか、議論ではなく具体的な行動が必要であり、ここでも最高責任者のリーダーシップが必要である。



## 2) 調査結果

- ア. ブラジルにおいては、観光省副大臣をはじめ関係者は主体性、費用分担について十分に認識されていた。また、民間との連携についても支援委員会を形成していく方向性は認識されていた。しかし、具体的な対応については帰国研修員が中心となって検討していく段階である。
- イ. パラグアイにおいては、観光庁長官をはじめ関係者は主体性、費用分担について認識していた。しかし、具体的な費用分担については今後の対応をフォローする必要がある。民間との連携については具体的な取組みがなされていた。今後は、パラグアイ・モデルとしていくことも検討されるべきであろう。
- ウ. アルゼンチンにおいては、観光庁顧問は費用分担については高い関心を有しており、第二フェーズにおける日本のPMO事務所の借り上げに関し十分な予算措置が取れるか否かも勘案し事務所借り上げを検討すると発言した（後述）。
- エ. ウルグアイにおいては、政権交代により費用分担については明確な方針を出せないでいるとの印象であった。また、民間との連携については、課題が多いとの認識が示された。他方、メルコスールの観光フェアなどの機会に促進していくとの方向性も示された。

## (3) 共同事業及び個別事業に関するルールの確立についての確認

### 1) 調査団の問題認識

- ア. 調査団の目的で述べたとおり、本プロジェクトの前倒しの取組みが極めて重要であり、具体的にはすでにアルゼンチン事務所ではシニアボランティアの提案に基づき個別事業の非公式な検討がされている。
- イ. 本プロジェクトは官民の連携の仕組みづくりを一つの大きな柱としているが、民間（特に日本の民間）は成果を短期間であげることが原則としていることから、政府側の対応が遅れれば、本プロジェクトに関心を示さなくなることも危惧される。
- ウ. そこで、共同事業及び個別事業の承認及び費用負担のルールを早期に確立することが重要である。もちろん、当面のルールを確立し、「走りながら考える」アプローチは民間からも容認されるであろう。
- エ. 共同事業の承認プロセスをより具体的に確立すること、個別事業の承認のプロセス、費用分担のルールなどを早期に確立することが必要不可欠。

### 2) 調査結果

- ア. ブラジルにおいては、個別事業への予算配分は公平の原則からは等分になろうが、ブラジルにとっては規模に応じた配分が望ましいとも考えられ苦慮しているとの発言があった。
- イ. パラグアイ及びウルグアイにおいては、アドホック会合で協議するとのみ発言し

た。他方、アルゼンチンの非公式提案は承知しており、パラグアイも提案を検討していることを示唆した。

ウ. アルゼンチンにおいては、個別事業の取扱いをどうするか以前に全体のルールづくりが先決とのコメントがあった。当方は、全体のルールづくりを「前倒し」にするための提言であることを説明し、理解をえた。

#### (4) 第2フェーズへの移行についての考え方の確認

##### 1) 調査団の問題認識

ア. JICA としては、04 年 12 月に本プロジェクトが開始されるとすれば、第一フェーズの終了半年前には評価を行い、第二フェーズに移行するかどうかを決定しなければならない。すなわち、07 年 6 月には意思決定を行わなければならない。

イ. また、メルコスール 4 カ国にとっても、予算措置なども含め同時期までには意思決定をしなければならないだろう。

ウ. そのためには、開始後 1 年半後を目途に、すなわち 06 年 6 月ころには中間評価を行い、ある程度の見込みをつける必要がある。

エ. そこで、1 年半でどのような成果があがったか、その後どのような成果があがりうるか、第一フェーズで具体的に何ができるか、第二フェーズで具体的に何が期待できるかなどを明確に示すことができるための具体的な指標を「前倒し」に決定する必要がある。

オ. 前述のように 12 月に本プロジェクトを開始するとすれば、05 年 3 月には指標を明らかにしなければならない。

カ. 他方、10 月の JICA 東京での会議においては、暫定的に成果指標として 2 点を掲げた。すなわち、① PMO の枠組みがメルコスール側で正式に承認され、経常的な運営を行うための予算措置が取られること、② 日本市場に対するメルコスールとしての観光振興ガイドラインができ、各国の承認が得られることである。

キ. 調査団長としては、この 2 点で概ね問題がないと思うが、例えば①を確認するための具体的なファクトが必要となるだろう。すなわち、政府として予算措置を取るために具体的なファクトとして必要となるものが何であるかを本プロジェクト開始直後には明確にしていかなければ、「どのようなファクトと、どのようなファクトを比較して、具体的な成果があがったと判断する」という作業が不可能となると思われる。

ク. 今回の調査団としてはこのような問題認識をもって調査にあたる。

##### 2) 調査結果

ア. ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン、ウルグアイにおいては、問題認識が共有された。

イ. ブラジルにおいては、技術協力プロジェクトとしての本プロジェクトの目的はそ

こにないことを前提にしつつも、観光客数の増加が一般には分かりやすい指標であるとの指摘があった。ブラジルが具体的な観光客増加計画を有し、その実現に向けて活動を活発化させていることが背景と思われた。

ウ. パラグアイにおいては、観光統計の技術レベルが低いとの認識を提起し、第二フェーズに移行するためには観光統計の平準化を図る必要があることからパラグアイのための技術移転ではなく、メルコスールのためのパラグアイの技術向上を図るよう提言することを示唆した。

エ. アルゼンチンにおいては、特段のコメント等はなかった。

オ. ウルグアイにおいては、次回のアドホック会合で明確にしたいとの移行が示された。

### Ⅲ. プロジェクト運営の枠組みの確認

#### (1) 運営組織、役割、権限及び進捗状況の確認

##### 1) 調査団の問題認識

ア. 本プロジェクトは JICA にとってもメルコスール 4 カ国にとっても全く新しいプロジェクトである。したがって、枠組みの形成には十分な合意形成が必要である。

イ. 同時に、官民の連携の重要性及び具体的な成果をあげて第二フェーズに移行させることが重要であることから、適宜、「走りながら考える」アプローチが必要である。

ウ. 調査団長としては、このような認識をメルコスール側と共有していきたい。

エ. 具体的な調査項目としては①運営組織、役割、権限の確認（プロジェクト運営委員会、プロジェクト支援委員会、RETアドホックグループ、ジェネラルコーディネーター、PMO及びJPMO、駐日大使館、ナショナルコーディネーター（仮称）など）、②人選等を含めた進捗状況などを確認する。

##### 2) 調査結果

ア. 運営組織、役割、権限については、ブラジル、パラグアイ、アルゼンチンともに共通認識が形成されているとの認識があり、具体的な協議とはならなかった。アドホック会合等の場でさらに議論を深めるよう要請したのみにとどまった。

イ. アルゼンチンCCTからはPMOやJPMOにどれだけの権限をもたせるべきかの枠組みを早期に明確にすべきというコメントがあり、ウルグアイからはそれに対し、外務省の関与について厳しいコメントが出された（他方、助言としてはありがたいとのコメントもあった）。

#### (2) PMO（プロジェクト・マネージメント・オフィス）及び日本人アドバイザー

##### 1) 調査団の問題認識

ア. PMOの場所の確保の進捗状況を確認する。

イ. PMOアドバイザーの資格要件を確認するにあたって、観光分野での経験が豊富であることも必要ではあるが、むしろ4カ国及び JICA 事務所長等との調整、メルコスールをはじめ南米地域に「土地勘」があることなどがより重要であること、したがってシニア JICA 職員などを想定していることについて理解を得る必要がある。

## 2) 調査結果

ア. PMOアドバイザーの資格要件については、問題認識を説明した結果、ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン、ウルグアイの理解を得た。

イ. ウルグアイからは観光省の1階入口付近に50平米前後の場所を確保するとのコメントがあった。なお、開設時期については政権交代がなされる3月1日以前がいいとの助言があった。ただし、それまでに JICA 専門家が派遣される必要はないこと、ウルグアイからは2名程度の事務担当者を配置することも考えていること、事務所のインフラ整備をウルグアイ側が行うこと（範囲については確認中）などが明らかになった。

## (3) JPMO

### 1) 調査団の問題認識

ア. JPMOの決定にあたっては、活動の基本原則で述べたようにメルコスールの主体性において行われるべき。JICAはあくまでも促進者。

イ. また、JPMOは第二フェーズではメルコスールの費用負担となる。この観点からもメルコスールの意思を重視したい。

ウ. しかし、メルコスールは日本から離れており、どの物件がいいかを直接調査することはできない。したがって、メルコスールのJPMO決定基準及び優先度を確認し、それに基づき候補案件を助言し、最終決定はメルコスールにゆだねることとしたい。

エ. 他方、第一フェーズでは費用はまず JICA の負担となる。したがって、JICA の費用負担限度も勘案する必要がある。決定にあたっては、本部の了解も必要となるが、月額70万円程度は可能と思われる。そこで、その範囲内で、かつ JICA の考えた決定基準及び優先度を踏まえて4件を視察した。

オ. これらを強制するつもりは全くない。また、他の業者が先に確保してしまう可能性もある。具体的なイメージをもつための例として捉えたうえで、メルコスールで決定基準及び優先度を示してもらいたい。それを受けて最終的な候補地を提言するので、最終決定はメルコスールで行ってもらいたい。

カ. JICA が考えた JPMO 決定基準及び優先度は、次の要件を検討することであった。すなわち、①地域（官庁街、ビジネス街、若者街か）、②環境（大通りに面しているか、角地かなど）、③アクセス、④階、⑤広さ及び間取り（会議スペース、

展示、窓口)、窓など、⑥費用。

## 2) 調査結果

- ア. ブラジルにおいては、基準について特段のコメントはなかった。月額 70 万円程度は妥当であるとの反応があった。その議論のなかで、ブラジル観光公社はポルトガルを含む 6 カ国に事務所を開設しており、最大規模であるポルトガル事務所の場合は 275 平米、月額家賃は 11,500 米ドル、マネージャーを含め 3 名のスタッフをもっているとのこと。
- イ. パラグアイにおいても、基準についての特段のコメントはなかった。費用負担については、具体的な検討はされていない様子であった。
- ウ. アルゼンチンにおいては、基準についての特段のコメントはなかった。しかし、第二フェーズの費用負担については敏感な反応があり、持続可能な金額か否かは今後の検討によるという発言にとどめた。
- エ. ウルグアイにおいては、事務所機能としては制度作り等が重要となるとの観点から展示やイベントへの優先度を次回のアドホック会合で協議したいとのコメントがあった。

## (4) JPMO マネージャー

### 1) 調査団の問題認識

- ア. マネージャーの資格要件については、日本語ができるかというよりもむしろ観光業の経験があることを重視すべきとの日本側の声が強いことを踏まえ、日本側の意見を伝え、先方の考え方を確認する。
- イ. マネージャーの位置づけ（査証等）についても、問題が生じないような措置が必要となるとの共通認識を形成する必要がある。
- ウ. マネージャーの役割及び権限についても確認する。
- エ. マネージャーの人選については、進捗状況を確認する。

### 2) 調査結果

- ア. マネージャーの資格要件については、ブラジル、パラグアイ、アルゼンチンともに共通の認識を有していることを確認した。
- イ. マネージャーの位置づけについては、ブラジルにおいては、観光公社の身分で海外事務所にマネージャーを派遣している経緯があり、問題が生じないように対応したいとの発言があった。また、決定に当たっては、必ず JICA の事前了解をとるむねの発言もあった。その他の国からは特段のコメントはなかった。
- ウ. マネージャーの人選については、ブラジルからは複数の候補者を検討中との発言があった。メルコスールの了解とビザ問題等がクリアになれば候補者との協議を始めるとのことであった。その他の国からは特段のコメントはなかった。
- エ. アシスタント（研修員）については、パラグアイから候補者の履歴書が提出され

た。当方からは候補者を決定するのはメルコスールであり、最終決定は研修員の受入れと同じプロセスであることを言い置いた。アルゼンチンからは特段の発言はなかったが、準備しているとの事前情報を踏まえ、候補者を出すなら今後のプロセスを考えると急がなければならないことを促した。

オ. ウルグアイからはウルグアイにおける人選についての具体的なコメントはなかったが、マネージャーとアシスタントは別の国から出すべきであること、アシスタントは6ヶ月ごととすべきであることなどを次回のアドホック会合で協議するとのコメントがあった。

#### (5) ボランティアの派遣

##### 1) 調査団の問題認識

ア. 本プロジェクトをより効果的に進めるために、ボランティアの活用を検討する必要がある。

##### 2) 調査結果

ア. パラグアイ、アルゼンチン、ウルグアイともにボランティアの派遣についての強い関心が示された。

#### IV. 全体所感

(1) 4カ国は大臣クラスも含め具体的な取組みを着実に進めている。

1) 定期的開催される4カ国の大臣会合でも本プロジェクトの重要性が確認されており、事務レベルでもアドホック会合で形成されたネットワークに基づき着実に準備が進められていると感じた。

2) 10月の東京会合において課題となっていたことも、帰国後2週間あまりという状況のなかではそれなりに、具体的に取組まれていると感じた。

3) 今回のRDの署名者が、観光大臣もしくは観光庁長官であること、署名後に記者会見を自ら行うことなどから、それぞれの政府の並々ならぬ熱意が感じられた。特に、パラグアイ観光庁長官は協議の場にも同席するなど特別な熱意を見せた。

(2) 他方、4カ国の独自性、「温度差」なども、なお感じられた。

1) 包括的なRDが東京会合時には締結されていたにもかかわらず、二国間のRDがブラジルにおいては締結できなかったこと、アルゼンチンにおいては包括的な国際約束の形成の合意がされていないこと(本件に対する個別の取組みではないが)など、まだ取組みに独自性、「温度差」が感じられることもあった。特に、ブラジルのRD署名については事務所からのフォローを強く要請したい。

2) ブラジルについては、メルコスール4ヶ国で年間の日本人観光客5万人のなかで4万人を占めるともいわれており、独自でも観光振興が可能との意識もみられ、メル

コスール観光振興プロジェクトの意義を明確にしていくことが必要であろう。他の3カ国においては、メルコスール観光振興プロジェクトの意義は十分に認識しており、ブラジルと他の3カ国という構図のなかで考えていく必要がある。

- 3) 他方、4カ国の独自性については、むしろ個性として捉えそれを生かしていくという対応が望ましいと思われた。例えば、ブラジルは費用負担について積極的に取り組む姿勢が見られるとともに3国に配慮し、譲歩もありうるとの姿勢も垣間見られた。パラグアイは民間との連携及び帰国研修員の積極的活用に熱意を見せている。アルゼンチンはブラジルと他2国の緩衝的な存在を目指しているようにもみえる。ウルグアイは本プロジェクトの事務局を置くことで調整役としての存在感を示し、貢献することを明らかにしてきた。それぞれの比較優位な点を認めながら、その分野での貢献を促進することにより、メルコスールとして観光振興を進めることのメリットが明らかになろう。
- 4) 4カ国は経済規模、観光資源、観光振興のためのインフラ（ブラジルのビザ問題、パラグアイの入国手続きの煩雑さ、ホテル事情や日本食などの状況なども含め）、治安状況などに違いが残る。これら違いをどのように乗り越えるか、補完関係を築くかが本プロジェクトの成否の鍵である。そのためにも、本プロジェクトによるメルコスール4カ国の融合の促進が期待されていると強く感じられた。

(3) 今後のJICAの実施体制を見直し必要がある。

- 1) 案件形成段階においては、企画調査員及び在外調査員が中心となって準備を進めてきた。しかし、実施段階では企画調査員の関与はなくなる。それに伴う実施体制を再構築する必要がある。中南米部において検討中とのことではあるが、早期に明確な体制を構築する必要がある。特に、ウルグアイ調整員事務所の早期の駐在員事務所へのステータスアップが不可欠である。これは、大使の強い要請でもある。
- 2) ブラジル、パラグアイ、アルゼンチンそれぞれの事務所においては、メルコスール担当者が選任されたが、実質的に動き始めるのはこれからである。また、各事務所の担当者も二国間協力としてのメルコスール（観光振興プロジェクト）担当者ではなく広域プロジェクトとしてのメルコスール担当者となるかは今後の展開次第である。この地域での協力事業の展開にあたっては自国だけでなくメルコスール全体を視野に入れながら二国間協力を考えていく必要があり、この観点からの事業実施体制を考えていく必要がある。
- 3) そのためには、メルコスール（日本）大使会議と並んで、メルコスール（JICA）事務所長会議などが検討されてもいいのではないか。

(4) ウルグアイの政権交代が決定し、その影響が懸念される。

- 1) 調査団在アルゼンチン時にウルグアイの選挙が行われ、野党（中道左派ともいわれているが）が勝利した。観光大臣、外務省も、また在ウルグアイ日本大使館も、基本的な政策としては観光振興を継承するはずであり、大きな政策転換はないとの認識を示している。
  - 2) しかし、本プロジェクトへの具体的な展開を考えると、観光大臣の交代はもちろん、メルコスール4カ国をこの1年半にわたって調整してきたグロリア・カンポスが交代を余儀なくされることは想像に難くない。観光大臣も本人も政治指名ではないので交代の可能性は低いとは発言しているがそのまま信じるわけにはいかない。グロリア・カンポスが交代になったときに、他の3カ国を調整し事務局をマネージしていけるか大いに懸念される。
  - 3) そのためには、JICA 専門家として派遣されるマネージャーの力量が問われる。人選について意を用いる必要がある。
- (5) 05年3月のウルグアイ及び日本の事務所開設を着実に実現する必要がある。
- 1) 本プロジェクトの具体的に目に見える開始は両事務所の開設である。メルコスール4カ国の大きな期待でもある。署名式後の記者会見の席上、観光大臣もしくは観光庁長官が強調していた点でもあり、日本の民間が本プロジェクトをどれだけ支援してくれるかにも影響があろう。
  - 2) 次回のアドホック会合で事務所選定基準について方針を出すよう要請したが、着実にフォローしていく必要がある。すなわち、自国でも独自にアジアに開設しようとしていたブラジルと、アルゼンチン、ウルグアイなどの意見がまとまる必要がある。第二フェーズ以降を見据え、事務所機能をどのように考えるか、単なる事務所機能とするのか、もう少し広く捉えていくのかを明確にさせる必要がある。ブラジルの考え方でまとめれば今回、事例として提示した事務所レベルが妥当であり、そうでなければやや縮小したコンセプトで再度、検討することもありうるかもしれない。
- (6) 本プロジェクトの成功のためには民間との積極的連携が必要不可欠である。
- 1) 今回、初めてメルコスール観光振興プロジェクトを実施する視点から4カ国を視察した。実際に観光資源を視察したのはアルゼンチン側のイグアス国立公園とそれに隣接したアンドレシートで行われている提案型技術協力（PROTECO）案件だけであった。それに加えて、事務所、大使館、観光省もしくは観光庁などから聞き取った情報だけで判断するかぎりでは、潜在的な観光振興の可能性はあると思われるが、日本人観光客を誘致するためにはかなりの課題があると思われる。
  - 2) 第一に、先述のように観光振興のためのインフラ（ブラジルのビザ問題、パラグアイの入国手続きの煩雑さ、ホテル事情や日本食などの状況なども含め）、治安状況などに課題が残る。これは観光省もしくは観光庁が対策を講じられるものではない。



これらに対応するには、観光省もしくは観光庁がより大きな力をもって関係各省や民間業界にもものが言えるようになること、そのためには観光振興が重要な施策であることを政府全体が認識するようになることが必要不可欠である。

- 3) 第二に、メルコスールの観光資源を考えると、今のままでは日本人観光客にとって必ずしも魅力的とは思えない。潜在的にある資源をどのように開発するか、そしてそれを日本人観光客に魅力的なものとするか、それが本プロジェクトの成否の一つの鍵である。そのためには日本の民間を積極的に巻き込む必要が不可欠である。

#### (7) 市民社会との連携の可能性を検討する。

- 1) 観光振興における市民社会との連携の可能性を検討する必要がある。例えば、田岡在日パラグアイ大使は、出身地である徳島県との連携を形成し、観光客の誘致を目指している。また、岐阜県とは食糧危機の際にはパラグアイから援助を行うという合意書を締結しているという。また、アルゼンチンのイグアス国立公園に隣接したアンドレシートで行われているプロテコ案件では、プロジェクトの活動の1つとしてテント村を建設しアドベンチャーを誘致するモデル事業を進めている。同プロジェクトのもう一つの柱である環境教育と結びつけるこの活動は、観光振興との連携を可能とする。現に日本からの観光客を誘致することを計画している。
- 2) そのための将来的な拠点となりうるのが、ジャパン JICA・NGO デスクであろう。アルゼンチンのデスクに市民社会支援コースにデスクから参加した帰国研修員を訪問した。同デスクでは、新潟大学の佐野教授との連携を深め、両国の交流を実現するための試みを進めている。そのために、国際協力推進員との連絡を密にとっているという。また、実現可能性は低いかもしれないが、本プロジェクトとデスクとの連携を意図的に進めていることを検討する必要はあろう。
- 3) また、国民参加協力推進事業を進めるなかで、本プロジェクトとの連携を意識していくことも可能であろう。

## 6. 今後の予定

### (1) ブラジル RD 署名

今回調査団訪問時には ABC 長官が不在であったため署名にいたらなかった。ブラジル事務所長とブラジル観光省大臣、ABC 長官の間で速やかに署名がなされるよう、ブラジル事務所にフォローを依頼中である。

### (2) アルゼンチンとの包括国際約束

RD 署名までに包括国際約束の締結に至らなかったが、調査団でもアルゼンチン外務省に対して支援を要請しており、日本政府との間で速やかに締結がなされるものと思われる。

### (3) プロジェクトの開始時期と現地実施体制

上記 2 点のプロジェクト実施合意に必要なプロセスを完了した後、実際にプロジェクトが開始され、プロジェクト経費の予算執行が可能となる。(開始日より、3 年間プロジェクトを実施する。)

なお、ウルグアイでは 3 月上旬に政権が実質交代し、アドホック・コーディネーターとして中心的役割を果たしてきたグロリア・カンポスの続投の可能性が低いことから、2 月中にプロジェクト実施体制を整えることが肝要であり、これに対応してウルグアイにおける日本側の実施体制強化も検討が必要となっている。

(4) メルコスール幹部セミナーと日本支所開設時期

各国の局長クラスの人材を 1~2 名日本に招聘し、開所式を行う予定である。

時期は、平成 16 年 3 月 21 日来日、3 月 27 日帰国を目処に現地にて調整中。

これに合わせ、事務所開所式を 3 月 22 日または 23 日頃に実施する予定である。

\* 事務所和文名称：メルコスール観光振興事務局日本事務所(仮称)

\* 事務所英文名称：JPMO( Mercosur Tourism Promotion Office in Japan )

(5) 日本におけるプロジェクト官民支援体制の構築

日本国内におけるプロジェクト活動において、公益性を保ちつつ効率性を担保するためには、プロジェクトを支援する官民連携組織を早急に構築する必要がある。

一方、これまで観光振興を担当してきた一部の在京大使館のプロジェクトへの関与のあり方について、メルコスール各国外務省と観光省との議論が依然平行線上にあることから、今後も各国在京大使館の理解と協力を促すための努力と気配りを行いつつ、共同で実施していくための適切な接点を見出していく必要がある。大使館を巻き込んだ官民連携組織の構築は、1 つの連携のあり方といえる。

以上

添付書類

別添 1 調査団日程

別添 2 面会者リスト

別添 3 メルコスール観光振興プロジェクト包括 RD・MM

別添 4 メルコスール観光振興プロジェクト二国間 RD・MM

## メルコスール観光振興プロジェクト実施協議調査日程

		行事	宿泊場所	宿舎
2004/10/23	Sat	19:15 日本発 (AC002/J) 18:30 トロント着 22:00 トロント発 (AC990/J)	機中	
2004/10/24	Sun	10:15 サンパウロ着 (グアリュージュ) 15:05 サンパウロ発 (RG2626/Y) 16:40 ブラジリア着 ホテルへ移動	Brasilia	Bonaparte hotel
2004/10/25	Mon	08:45 ホテル発 09:00 ブラジル観光省副大臣表敬 09:30 ブラジル観光省との協議 12:00 会議終了 (予定) 昼食 15:00 ブラジル観光公社 (EMBRATUR) 総裁室室長表敬 16:30 ブラジル国際協力庁 (ABC/MRE) との協議	Brasilia	Bonaparte hotel
2004/10/26	Tue	09:45 ホテル発 10:00 ブラジル観光省との協議 2 11:30 署名式終了 (予定) 12:00 昼食会 14:00 ブラジル事務所報告 15:30 在ブラジル事務所日本国大使館報告 17:00 ホテル発空港へ移動 18:24 ブラジリア発 サンパウロへ移動 (JJ3541/Y) 19:55 サンパウロ着 (CONGONHAS) ホテルへ移動	Sao Paulo	Paulista Hotel
2004/10/27	Wed	8:00 ホテル発 空港へ移動 10:10 サンパウロ発 (GUARUHOS) アスンシオンへ移動 (RG8902/Y) 12:10 アスンシオン着 (RG8902) 14:30 JICA 事務所挨拶・協議 16:00 観光庁との実施協議 1 (「JATA フェア 2004」帰国研修員含む) 19:30 大使公邸レセプション	Asuncion	Hotel Las Margaritas (Tel: 448-765)
2004/10/28	Thu	9:00 観光庁との実施協議 2 (「JATA フェア 2004」帰国研修員含む)	Asuncion	Hotel Las Margaritas

		10:30 観光庁との実施協議 3 (外務省参加。R/D, ミニッツ内容確認) 15:00 帰国研修員による「JATA フェリア 2004」プレゼンテーション 16:00 二国間 R/D 及びミニッツ締結 (~17:00) 17:00 観光庁主催レセプション 20:00 調査団主催意見交換会		
2004/10/29	Fri	8:15 STP (大統領府企画庁) 表敬訪問 9:00 観光庁との実施協議 4 (「今後の実施体制について」等) (~11:30) 14:30 アスンシオン市内発 15:00 空港着 15:40 アスンシオン発 (PZ726) 16:50 シダット・デル・エステ着 (→アルゼンチン側Puerto Yguazuへ陸路移動) 山本職員とホテルで合流	Iguassu	山本フライト 1215-1400 AR1924  Hotel SAINT GEORGE
2004/10/30	Sat	「イグアス地域自然環境保全計画」視察	Iguassu	Hotel SAINT GEORGE
2004/10/31	Sun	13:10 イグアス発 (AR2725) 15:00 ブエノスアイレス着 19:30 在亜大 大部公使主催懇親会 (公使邸)	Buenos Aires	Melia Bs As
2004/11/1	Mon	10:30 JICAアルゼンチン 11:30 NGOジャパンデスク 12:30 亜国外務省との協議 (ア・カフー国際協力局長、CCT委員) 15:30 アルゼンチン観光庁長官への表敬、 その後、RD内容について協議 20:00 観光庁主催懇親会	Buenos Aires	Melia Bs As
2004/11/2	Tue	10:00 アルゼンチン観光庁との協議 12:30 二国間RD・ミニッツ署名式 団長主催懇親会 (於: Argenta Tower Hotel) 16:30 在亜日本大使館表敬 (永井大使) 19:00 大部公使主催懇談会	Buenos Aires	Melia Bs As
2004/11/3	Wed	11:15 ブエノスアイレス発 (AR1204) 13:00 モンテビデオ着 16:30 ウルグアイ外務省統合メルコスール局長表敬	Montevideo	Sheraton Hotel

2004/11/4	Thu	09:15 JICAボランティア事務所訪問 11:00 在ウルグアイ日本大使館表敬（中村大使） 12:30 在ウルグアイ中村大使主催懇親会（公邸） （ボルダベリ観光大臣との懇談） 14:30 観光省との協議	Montevideo	Sheraton Hotel
2004/11/5	Fri	09:30 「メ」常任代表委員会（CRPM）事務局長表敬 10:30 二国間RD・ミニッツ署名式 17:20 ウルグアイ発（AR1223）	機中	
2004/11/6	Sat	7:40 トロント着（TORONTO LESTER B.） 11:40 トロント発（AC 001/J）	機中	
2004/11/7	Sun	15:25 成田着		

## 別添 2 面会者リスト

### 1. ブラジルでの面会相手

- Mr. Marcio Favilla Vice Minister of Mtur ブラジル観光省副大臣
- Ms. Angela Cruz Mtur ブラジル観光省
- Mr. Patric Krahl General Coordinator of South American Relations, Mtur 観光省南  
米関係コーディネータ (RET アドホックメンバー、2003・2004 年度帰国研修員)
- Mr. Ronnie Schroeder New Markets Manager Brazilian Tourist Board, Embratur  
ブラジル観光公社 ニューマーケット担当
- Mr. Henrique Cesar de Sousa Technical Cooperation Advisor ブラジル技術協力庁  
二国間技術協力担当官
- Ms. Angela Cruz Mtur ブラジル観光省
- Mr. Garaldo Bentes Chief Cabinet Advisor, Embratur EMBRATUR 総裁室室長
- Ms. Bia Murano Press Office 広報担当
- Mr. Paulo Peixoto Gerente de Programs a Projectos Especiais  
ブラジル技術協力庁特別プロジェクト政策課長 (メルコスール CCT メンバー)
- Mr. Yri G. de Souza ABC/MRE 外務省 ABC
- Ms. Sybelle De Jongh Senior Technician シニア技術者
- Mr. Henrique Cesar de Sousa Technical Cooperation Advisor ブラジル技術協力庁 二  
国間技術協力担当官

## 2. パラグアイでの面会相手

- Ms. Doris Penoni Secretario Nacional de Turismo (SENATUR)  
パラグアイ観光庁 (RET アドホックメンバー)
- Mr. Juan Ramon Guillermo Guichoo General Secretary, SENATUR (2004 年度帰国研修員)
- Ms. Sofia Montiel Head of Information Dept., SENATUR (2004 年度帰国研修員)
- Ms. Silvestre Lopez Director, ITRA Travel (2004 年度帰国研修員)
- Ms. Rosa Nunez Director, ASATUR (2003, 2004 年度帰国研修員)
- Ms. Natalia Galeano Consultant de Turismo (2003, 2004 年度帰国研修員)
- Ms. Maria Evangelista Troche de Gallegos Ministra Secretaria Ejectiva  
パラグアイ観光大臣
- Mr. Juan Ramon Guillermo Guichoo General Secretary, SENATUR  
(2004 年度帰国研修員)
- Ms. Juana Rosa Quevedo de Alvarez Head of Promotion Department, SENATUR (2002 年度帰国研修員)
- Ms. Ing. Rossy Elixabeth Riquelme J. パラグアイ外務省 (メルコスール CCT メンバー)
- Mr. Juan Jose Veron Ministerio Relaciones Exteriores 外務省 海外技術協力課
- Mr. Pedro Sosa, Encargado Cooperacion del Japon 企画庁日本担当
- Mr. Luis R Amanilla, Director Cooperacion 企画庁国際協力局長
- Mr. Tomochika Uehida JICA 長期専門家
- Mr. Pedro Sosa, Encargado Cooperacion del Japon 企画庁日本担当
- Mr. Luis R Amanilla, Director Cooperacion 企画庁国際協力局長

### 3. アルゼンチンでの面会相手

- Embajadora Ana Cafiero Representante Especial para Asuntos de Cooperacion International 外務省国際協力局局长  
Lic. Osvaldo Scasserra Advisor de Cabinet 外務省顧問 (メルコスール CCT メンバー)  
Ms. Andrea de Fornasari 外務省国際協力課長  
Ms. Maria Fernanda 外務省メルコスール担当  
Ms. Mariana Navarro 観光庁 顧問 (RET アドホックメンバー) (2003, 2004 年度帰国研修員)  
Mr. Alejandro Varela 観光庁 顧問 (RET メルコスール観光特別会議委員)

### 4. ウルグアイでの面会相手

- Embajador. Gustavo Vanerio Director General para Asuntos de Internacion y Mercosur 外務省 統合メルコスール局局长  
Dr. Graziela Reyes de Prieto Directora de Integracion 外務省 統合局長  
Ms. Cristina Gonzalez 外務省 (メルコスール CCT メンバー)  
Dr. Pedro Bordaberry Ministro de Turismo ウルグアイ観光大臣  
Dr. Gloria Compos 観光省プロモーション部長 (RET アドホックメンバー、2002, 2003, 2004 年度帰国研修員)  
Ms. Rosana Grinwald 観光省エコツーリズム商品部チーフ  
Embajadora Maria Cristina Boldorini Directra Secretaria CRPM  
メルコスール常任代表委員会事務局公使  
Mr. Antonio Aleves Jr. メルコスール常任代表委員会事務局アドバイザー-Consejero Prosiencia, DRPM  
Lic. Jelastian Delgui Asesor Presidencia, CRPM  
メルコスール常任代表委員会事務局顧問



別 添 資 料



**RECORD OF DISCUSSIONS  
BETWEEN JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND  
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENTS OF  
MERCOSUR STATES PARTIES  
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION  
FOR THE MERCOSUR TOURISM PROMOTION PROJECT PHASE**

As a result of series of discussions between JICA and MERCOSUR States Parties, both parties have agreed upon the details of the Technical Cooperation Program concerning the MERCOSUR TOURISM PROMOTION PROJECT (hereinafter referred to as "the Project").

JICA and MERCOSUR States Parties' authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached here to in accordance with following Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Governments of MERCOSUR States Parties

- Convenio sobre Cooperación Técnica entre el Gobierno del Japón y el Gobierno de la República Argentina, effective from August 11<sup>th</sup>, 1981.
- Basic Agreement on Technical Co-operation between the Government of Japan and the Government of Federative Republic of Brazil, effective from July 15<sup>h</sup>, 1971.
- Acuerdo sobre Cooperación Técnica entre el Gobierno del Japón y el Gobierno de la República del Paraguay, effective from July 24<sup>th</sup>, 1979.
- Acuerdo sobre Cooperación Técnica entre el Gobierno del Japón y el Gobierno de la República Oriental del Uruguay, effective from April 10<sup>th</sup>, 1991.

The Project is also in line with the "Record of Discussions Concerning the Framework of Cooperation Program between MERCOSUR and Japan", agreed at the Japan-MERCOSUR Senior Officials Meeting on October 24<sup>th</sup>, 2000 in Tokyo.

Puerto Iguazú, July 7th 2004.

On behalf of the Government of Argentina

On behalf of the Government of Brazil

On behalf of the Government of Paraguay

On behalf of the Government of Uruguay

北原 悦男

Vice President - Japan International  
Cooperation Agency - Japan

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN JICA AND GOVERNMENTS OF MERCOSUR STATES PARTIES

1. The Governments of MERCOSUR States Parties will implement the MERCOSUR TOURISM PROMOTION PROJECT PHASE (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Project Framework as given in Annex I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, JICA, as the executing agency for technical cooperation by the Government of Japan, will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of Japanese experts.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project.

3. TRAINING OF MERCOSUR STATE PARTIES' PERSONNEL IN JAPAN

JICA will receive the MERCOSUR States Parties' personnel connected with the Project for technical training in Japan.

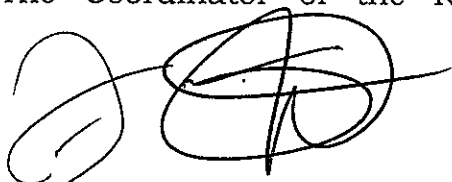
III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENTS OF MERCOSUR STATE PARTIES

1. The Governments of MERCOSUR States Parties will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.

2. The Governments of MERCOSUR States Parties will ensure that the technologies and knowledge acquired by the MERCOSUR States Parties' nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of MERCOSUR States Parties.
3. The Governments of MERCOSUR States Parties will grant in MERCOSUR States Parties privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. The Governments of MERCOSUR States Parties will take the measures necessary to receive and use the Equipment provided by JICA and equipment, machinery and materials carried in by the Japanese experts.
5. The Governments of MERCOSUR States Parties will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the MERCOSUR States Parties' personnel from technical training in Japan or MERCOSUR will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. The Governments of MERCOSUR States Parties will provide the services of MERCOSUR States Parties' counterpart personnel and administrative personnel.
7. The Governments of MERCOSUR States Parties will provide the buildings and facilities.
8. In accordance with the laws and regulations in force in MERCOSUR States Parties, the Governments of MERCOSUR States Parties will take necessary measures to supply or replace at its own expense machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided by JICA .
9. In accordance with the laws and regulations in force in MERCOSUR States Parties, the Governments of MERCOSUR States Parties will take necessary measures to meet the running expenses necessary for the implementation of the Project.

6 IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Coordinator of the RET ad-hoc group, as the Project General



北原  
25

Coordinator, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project in consultation with RET ad-hoc as the Project Coordinators.

2. The Project Management Office will be established to coordinate implementation on both the Japanese and MERCOSUR sides.
3. The Japanese long-term experts are to give necessary advice to the Project Coordinator and the Project General Coordinator.
4. The Steering Committee will be established for supervising and evaluating the Project. The members of the Steering Committee are listed in the attached ANNEX II.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation in collaboration with the private sector and the public sector, Project Supporting Committees for the Project will be established on both the Japanese and MERCOSUR sides.

#### V. JOINT EVALUATION

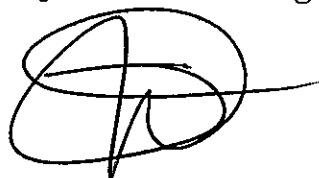
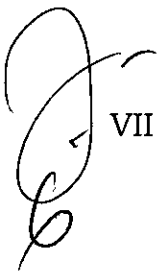
Evaluation of the Project will be conducted jointly by JICA and the MERCOSUR States Parties' authorities concerned, during the last six months of the cooperation term, in order to assess the level of achievement.

#### VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Governments of MERCOSUR States Parties undertake to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in MERCOSUR States Parties except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

#### VII. MUTUAL CONSULTATION

JICA and MERCOSUR States Parties' Governments shall mutually discuss any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.



北原

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

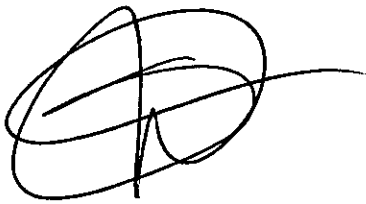
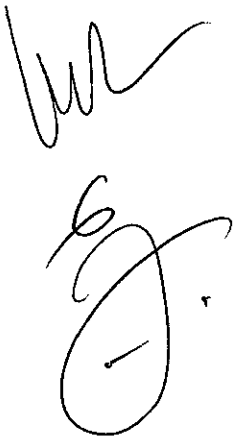
For the purpose of promoting support for the Project among the people of MERCOSUR States Parties, the Governments of MERCOSUR States Parties will take appropriate measures to make the Project widely known to their peoples.

IX. PERIOD OF COOPERATION

The period of the technical cooperation for the Project under this Attached Document is three (3) years.

ANNEX I Tentative Project Framework

ANNEX II List of Members of the Project Steering Committee (Tentative)



北原

## Project Framework

### □Name of the Project

The MERCOSUR Tourism Promotion Project Phase 1

### □Term of the Project

Three years

### □Overall Goals

- 1) Enhanced regional collaboration in the tourism sector in MERCOSUR
- 2) Enhanced bilateral collaboration between member countries of MERCOSUR and Japan in the tourism sector

### □Project Objectives

- 1) To institutionalize regional collaboration in the tourism sector among MERCOSUR States Parties and enhance collective capacities for tourism promotion
- 2) To establish a bridgehead of MERCOSUR in the Japanese tourism market and develop model cases for tourism promotion in a new markets

### □Outputs

- 1) Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector
- 2) Enhanced capacities of MERCOSUR States Parties for tourism planning
- 3) Enhanced capacities of MERCOSUR States Parties for tourism marketing
- 4) Enhanced capacities of MERCOSUR State Parties for tourism products development
- 5) Enhanced capacities of MERCOSUR States Parties for tourism human resources development

### □Activities

- 1) Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector
  - 1-1) Set up and operate the MERCOSUR Tourism Promotion Office on a pilot basis
  - 1-2) Facilitate coordination among MERCOSUR States Parties in the tourism sector
- 2) Enhanced capacities for tourism planning
  - 2-1) Conduct market surveys in Japan
  - 2-2) Formulate the master plan for tourism promotion in Japan
  - 2-3) Evaluate progress of the master plan and formulate the scope of the second phase of the project
- 3) Enhanced capacities for tourism marketing
  - 3-1) Conduct pilot promotion activities in Japan
  - 3-2) Develop materials and media for tourism promotion in Japan
- 4) Enhanced capacities for tourism products development
  - 4-1) Develop regional and local tourism products

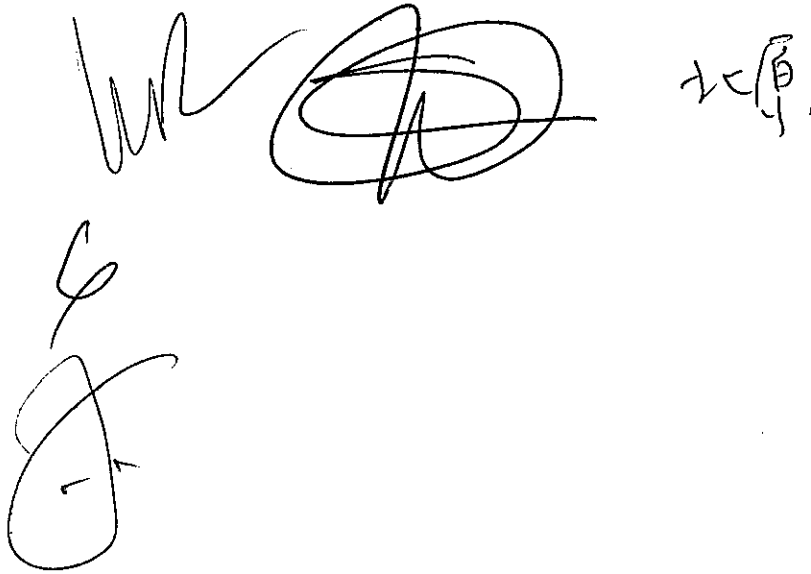


4-2) Facilitate development of tourism products and their resources by private sectors

5) Enhanced capacities for tourism human resources development

5-1) Develop capacities of focal human resources in tourism promotion

5-2) Facilitate development of human resources by private sectors



The image contains several handwritten marks. At the top left, there is a signature that appears to be 'W'. To its right is a large, dense scribble consisting of multiple overlapping loops and lines. Further to the right, there are some faint, illegible characters that look like '200'. Below the 'W' signature, there is another scribble that starts with a small 'G' and then forms a large, irregular loop.

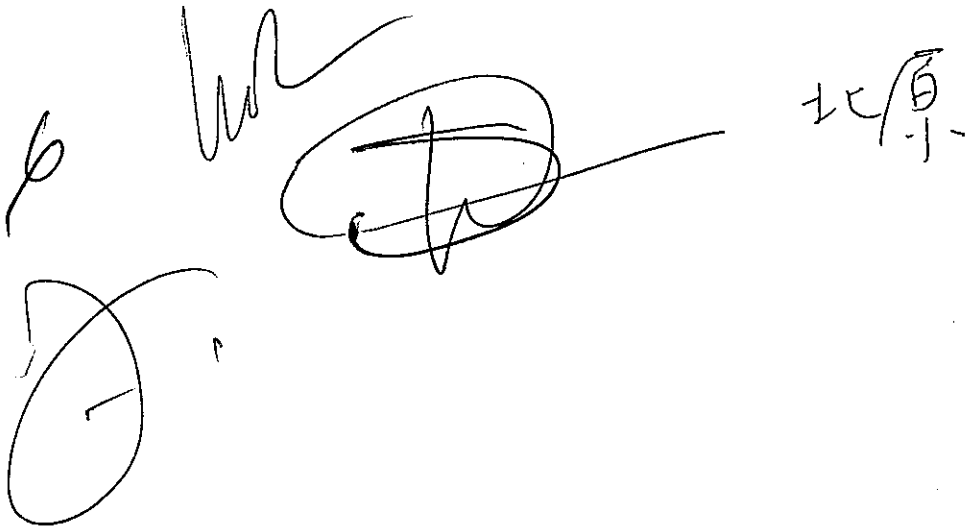
**ANNEX II List of Members of the Project Steering Committee (Tentative)**

1. MERCOSUR Side:

- 1) RET ad-hoc group members

2. Japanese Side:

- 1) Representative of Japanese Embassy in MERCOSUR State Parties
- 2) Representative of JICA in MERCOSUR
- 3) Representative of JICA Advisory Committee in Japan



The image contains several handwritten signatures and initials. On the left, there is a small 'b' and a large, stylized signature. In the center, there is a large, circular signature with a horizontal line through it. To the right, there are the initials '北原' (Kitahara) written vertically.

**RESUMEN DE DISCUSIONES ENTRE LA AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPON (JICA) Y LAS RESPECTIVAS AUTORIDADES DE LOS GOBIERNOS DE LOS ESTADOS PARTES DEL MERCOSUR SOBRE COOPERACION TÉCNICA JAPONESA PARA LA ETAPA I DEL PROYECTO DE PROMOCION TURÍSTICA DEL MERCOSUR**

Como resultado de la serie de conversaciones entre JICA y los Estados Partes del MERCOSUR, ambas partes acordaron los detalles del Programa de Cooperación Técnica relacionados con el PROYECTO DE PROMOCION TURISTICA DEL MERCOSUR (en adelante denominado "el Proyecto").

JICA y las autoridades relacionadas de los Estados Partes del MERCOSUR acordaron recomendar a sus respectivos Gobiernos los temas referidos en el documento adjunto, en conformidad con las disposiciones de los siguientes Acuerdos de Cooperación Técnica entre el Gobierno de Japón y los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR :

- Convenio de Cooperación Técnica entre el Gobierno del Japón y el Gobierno de la República Argentina, vigente desde el 11 de Agosto de 1981.
- Acuerdo Básico de Cooperación Técnica entre el Gobierno de Japón y el Gobierno de la República Federativa del Brasil, vigente desde el 15 de Julio 1971.
- Acuerdo de Cooperación Técnica entre el Gobierno del Japón y el Gobierno de la República del Paraguay, vigente desde el 24 de Julio de 1979.
- Acuerdo de Cooperación Técnica entre el Gobierno del Japón y el Gobierno de la República Oriental del Uruguay, vigente desde el 10 de Abril de 1991.

El Proyecto estará también en línea con el "Record of Discussions Concerning the Framework of Cooperation Program between MERCOSUR and Japon" que se acordó en la Reunión de Alto Nivel Japón-MERCOSUR, el 24 de Octubre de 2000, en Tokyo.

Puerto Iguazú, 7 de julio de 2004.

Por el Gobierno de la República Argentina

Por el Gobierno de la República Federativa del Brasil

Por el Gobierno de la República del Paraguay

Por el Gobierno de la República Oriental del Uruguay

北原 悦男

Vicepresidente de la Agencia de Cooperación Internacional del Japón - Japón

## DOCUMENTO ADJUNTO

### I. COOPERACION ENTRE JICA Y LOS GOBIERNOS DE LOS ESTADOS PARTES DEL MERCOSUR

1. Los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR implementarán la ETAPA I DEL PROYECTO DE PROMOCION TURISTICA DEL MERCOSUR (en adelante denominado "el Proyecto") en cooperación con JICA.
2. El Proyecto será implementado de conformidad con el Marco de Proyecto indicado en el Anexo I.

### II. MEDIDAS A TOMAR POR JICA

De conformidad con las leyes y reglamentaciones vigentes en Japón, JICA, en su carácter de organismo ejecutivo de cooperación técnica en representación del Gobierno de Japón, a su costo, tomará las siguientes medidas de conformidad con los procedimientos normales de su esquema de cooperación técnica.

#### 1. ENVIO DE EXPERTOS JAPONESES

JICA brindará los servicios de expertos japoneses.

#### 2. SUMINISTRO DE MAQUINARIAS Y EQUIPAMIENTO

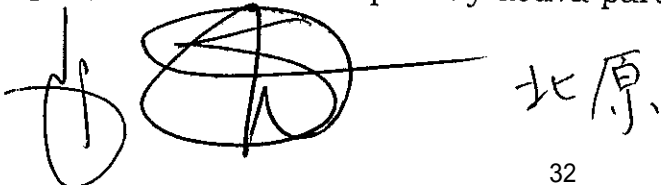
JICA suministrará las maquinarias, el equipamiento y otros materiales (en adelante denominado "el Equipamiento") necesarios para la implementación del Proyecto.

#### 3. CAPACITACION DEL PERSONAL DE LOS ESTADOS PARTES DEL MERCOSUR EN JAPÓN

JICA recibirá al personal de los Estados Partes del MERCOSUR relacionados con el Proyecto para su capacitación técnica en Japón.

### III. MEDIDAS A SER TOMADAS POR LOS GOBIERNOS DE LOS ESTADOS PARTES DEL MERCOSUR

1. Los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR tomarán las medidas necesarias para asegurar que el funcionamiento independiente del Proyecto se mantenga durante y después del período de cooperación técnica de Japón, a través de una plena y activa participación en el Proyecto de todas



北原

las autoridades respectivas, los grupos beneficiarios y las instituciones.

2. Los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR asegurarán que las tecnologías y conocimientos adquiridos por los nacionales de los Estados Partes del MERCOSUR a través de la cooperación técnica de Japón contribuyan al desarrollo económico y social de los Estados Partes del MERCOSUR.
3. Los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR otorgarán, en los Estados Partes del MERCOSUR, los privilegios, las exenciones y los beneficios correspondientes a los expertos japoneses a los que se hace referencia en II-1 antes mencionado y sus familias.
4. Los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR tomarán las medidas necesarias para recibir y utilizar el Equipamiento suministrado por JICA y el equipamiento, maquinaria y materiales introducidos por los expertos japoneses.
5. Los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR tomarán las medidas necesarias para asegurar que los conocimientos y la experiencia adquirida por el personal de los Estados Partes del MERCOSUR sobre capacitación técnica en Japón o en MERCOSUR se utilicen efectivamente en la implementación del Proyecto.
6. Los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR brindarán los servicios a través del personal equivalente y personal administrativo de los Estados Partes del MERCOSUR.
7. Los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR pondrán a disposición edificios e instalaciones.
8. De conformidad con las leyes y reglamentaciones vigentes en los Estados Partes del MERCOSUR, los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR tomarán las medidas necesarias para suministrar o reemplazar a su costo la maquinaria, el equipamiento, los instrumentos, los vehículos, las herramientas, los repuestos y todo otro material necesario para la implementación del Proyecto además del Equipamiento suministrado por JICA.
9. De conformidad con las leyes y reglamentaciones vigentes en los Estados Partes del MERCOSUR, los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR tomarán las medidas necesarias para sufragar los gastos


operativos en los que sea necesario incurrir para la implementación del Proyecto.

#### IV. ADMINISTRACION DEL PROYECTO

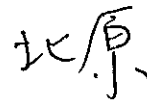
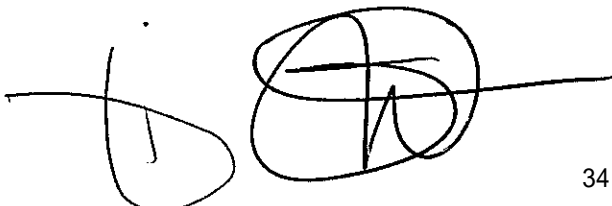

1. El Coordinador del Grupo ad-hoc de la RET, como Coordinador del Proyecto general, tendrá a su cargo toda la responsabilidad por la administración e implementación del Proyecto a través de consultas con el grupo ad-hoc de la RET como Coordinadores del Proyecto.
2. Se establecerá una Oficina Administradora del Proyecto para coordinar la implementación tanto de la parte japonesa como del MERCOSUR.
3. Los expertos japoneses a largo plazo brindarán el asesoramiento necesario el Coordinador del Proyecto y al Coordinador General del Proyecto.
4. Se establecerá un Comité Directivo para supervisar y evaluar el Proyecto. Los miembros del Comité de Directivo aparecen en la lista del ANEXO II adjunto.
5. A los efectos de una efectiva y exitosa implementación de la cooperación técnica en colaboración con los sectores público y privado, se establecerán Comités de Apoyo a los Proyectos para este Proyecto tanto en la parte japonesa como en la del MERCOSUR.

#### V. EVALUACION CONJUNTA

La evaluación del proyecto será realizada en forma conjunta por JICA y las autoridades correspondientes de los Estados Partes del MERCOSUR, durante los últimos seis meses del período de la cooperación, para determinar el nivel de los logros.

#### VI. RECLAMOS CONTRA LOS EXPERTOS JAPONESES

Los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR se comprometen a responder a los reclamos, en caso de que surgiera alguno, contra los expertos japoneses responsables de la cooperación técnica del Proyecto resultantes o que ocurrieran en el transcurso del desempeño de sus funciones oficiales en los Estados Partes del MERCOSUR, o relacionados de otro modo a las mismas, a excepción de los que surgieran por acto ilícito intencional o culpa grave de los expertos japoneses.



## VII. CONSULTAS MUTUAS

JICA y los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR discutirán mutuamente cualquier cuestión importante que surja del presente Documento Adjunto o relacionado con el mismo.

## VIII. MEDIDAS PARA PROMOVER EL ENTENDIMIENTO DEL PROYECTO Y EL RESPALDO AL MISMO

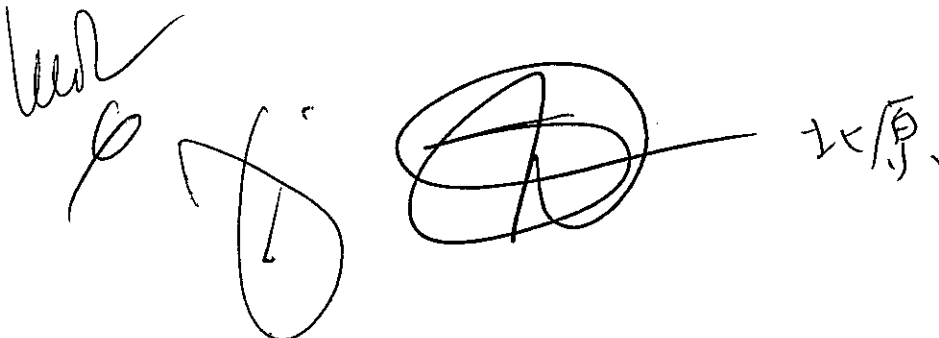
A los fines de promover el apoyo al Proyecto entre los pueblos de los Estados Partes del MERCOSUR, los Gobiernos de los Estados Partes del MERCOSUR tomarán las medidas adecuadas para que el proyecto sea ampliamente difundido entre sus pueblos.

## IX. PERIODO DE LA COOPERACION

El período de la cooperación técnica del Proyecto de conformidad con el Documento Adjunto será de 3 años.

ANEXO I Marco Tentativo del Proyecto

ANEXO II Lista de Miembros del Comité Directivo del Proyecto (Tentativo)



Handwritten signatures and initials in black ink. From left to right: a cursive signature, a stylized signature, a circular stamp with a signature inside, and the initials '北原' (Kitahara).

## Marco del Proyecto

### □ Nombre del Proyecto

Etapa I del Proyecto de Promoción Turística del MERCOSUR

### □ Plazo del Proyecto

Tres años

### □ Objetivos Generales

- 1) Mejorar la colaboración regional en materia de turismo en el MERCOSUR
- 2) Mejorar la colaboración bilateral entre los países miembros del MERCOSUR y Japón en materia de turismo.

### □ Objetivos del Proyecto

- 1) Institucionalizar la colaboración regional en el ámbito del turismo entre los Estados Partes del MERCOSUR y mejorar las capacidades colectivas para promover el turismo.
- 2) Establecer una avanzada del MERCOSUR en el Mercado turístico japonés y desarrollar casos modelo para la promoción del turismo en nuevos mercados.

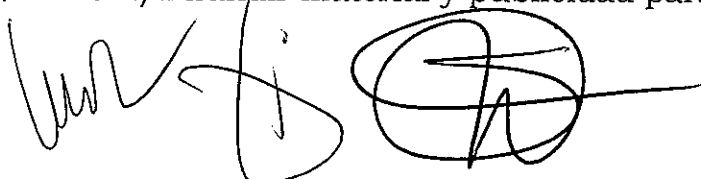
### □ Resultados

- 1) Fortalecimiento del marco de la colaboración regional en materia de turismo
- 2) Mejoramiento de las capacidades de los Estados Partes del MERCOSUR para la planificación del turismo.
- 3) Mejoramiento de las capacidades de los Estados Partes del MERCOSUR para el marketing turístico.
- 4) Mejoramiento de las capacidades de los Estados Partes del MERCOSUR para el desarrollo de los productos del sector turístico.
- 5) Mejoramiento de las capacidades de los Estados Partes del MERCOSUR para el desarrollo de los recursos humanos del sector turístico.

### □ Actividades

- 1) Fortalecimiento del marco de la colaboración regional en el sector turístico.
  - 1-1) Establecer y dirigir la Oficina de Promoción del Turismo del MERCOSUR, a modo de prueba piloto.
  - 1-2) Facilitar la coordinación entre los Estados Partes del MERCOSUR en el sector turístico.
- 2) Mejorar las capacidades para la planificación del turismo
  - 2-1) Realizar estudios de Mercado en Japón
  - 2-2) Formular un plan maestro para la promoción del turismo en Japón
  - 2-3) Evaluar el avance del plan maestro y formular el alcance de la segunda etapa del proyecto
- 3) Mejorar las capacidades para el marketing turístico
  - 3-1) Realizar actividades piloto de promoción en Japón
  - 3-2) Difundir material y publicidad para la promoción del turismo en Japón

b



北原



4) Mejorar las capacidades para la difusión de productos turísticos

4-1) Desarrollar productos turísticos regionales y locales


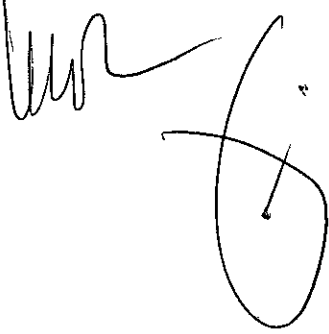
4-2) Facilitar el desarrollo de productos turísticos y sus recursos por parte de los sectores privados

5) Mejorar las capacidades para desarrollar los recursos humanos del sector del turismo

5-1) Desarrollar las capacidades de recursos humanos focalizados en la promoción del turismo

5-2) Facilitar el desarrollo de recursos humanos por parte del sector privado.

φ



北原

## ANEXO II Lista de Miembros del Comité Directivo del Proyecto (Tentativo)

1. Por el MERCOSUR:

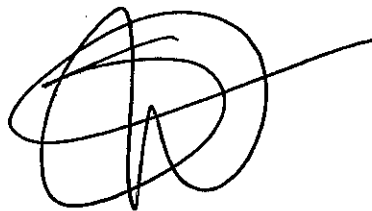
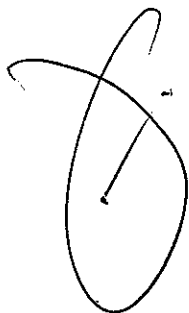
1) Miembros del grupo ad-hoc de la RET

2. Por la parte Japonesa:

1) Representante de la Embajada de Japón ante los Estados Partes del MERCOSUR

2) Representante de JICA ante el MERCOSUR

3) Representante del Comité Asesor de JICA en Japón



北原

**RESUMO DE DISCUSSÃO ENTRE A AGÊNCIA DE COOPERAÇÃO INTERNACIONAL DO JAPÃO (JICA) E AS RESPECTIVAS AUTORIDADES DOS GOVERNOS DOS ESTADOS PARTES DO MERCOSUL SOBRE COOPERAÇÃO TÉCNICA PARA A FASE - I DO PROJETO DE PROMOÇÃO TURÍSTICA DO MERCOSUL**

Como resultado de uma série de conversações entre a JICA e os Estados Membros do Mercosul, ambas as partes acordaram os detalhes do Programa de Cooperação Técnica relacionados com o PROJETO DE PROMOÇÃO TURÍSTICA DO MERCOSUL (doravante denominado “Projeto”).

A JICA e as autoridades concernentes dos Estados Partes do Mercosul concordaram em recomendar a seus Governos os temas referidos no documento anexo, em conformidade com as disposições dos seguintes Acordos de Cooperação Técnica entre o Governo do Japão e os Governos dos Estados Partes do Mercosul:

- Convênio de Cooperação Técnica entre o Governo do Japão e o Governo da República da Argentina, vigente desde 11 de agosto de 1981.
- Acordo Básico de Cooperação Técnica entre o Governo do Japão e o Governo da República Federativa do Brasil, vigente desde 15 de Julho de 1971.
- Acordo de Cooperação Técnica entre o Governo do Japão e o Governo da República do Paraguai, vigente desde 24 de Julho de 1979.
- Acordo de Cooperação Técnica entre o Governo do Japão e o Governo da República Oriental do Uruguai, vigente desde 10 de abril de 1991.

O projeto estará também em linha com o “Record of Discussion Concerning the Framework of Cooperation Program between Mercosul and Japão”, que foi acordado na Reunião de Cúpula Japão-Mercosul, em 24 de outubro de 2000, em Tóquio.

Puerto Iguazú, 7 de julho de 2004.

Pelo Governo da República da Argentina

Pelo Governo da República Federativa do Brasil

Pelo Governo da República do Paraguai

Pelo Governo da República Oriental do Uruguai

北原 悦男

Vice Presidente da Agência de Cooperação Internacional do Japão - Japão

## DOCUMENTO ANEXO

### I. COOPERAÇÃO ENTRE A JICA E OS GOVERNOS DOS ESTADOS PARTES DO MERCOSUL

1. Os Governos dos Estados Partes do Mercosul implementarão o “PROJETO DE PROMOÇÃO DO TURISMO NO MERCOSUL – FASE I” (doravante denominado “Projeto”) em cooperação com a JICA.
2. O Projeto será implementado de acordo com o Plano Diretor de Projeto que consta no Anexo I.

### II. MEDIDAS A SEREM TOMADAS PELA JICA

De acordo com as leis e regulamentos em vigor no Japão, a JICA, na condição de agência executora de cooperação técnica do Governo do Japão, tomará, com recursos próprios, as medidas a seguir, de acordo com os procedimentos normais do seu esquema de cooperação técnica.

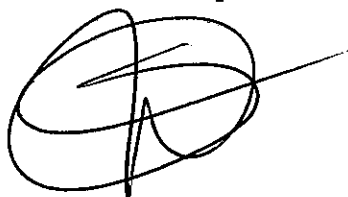
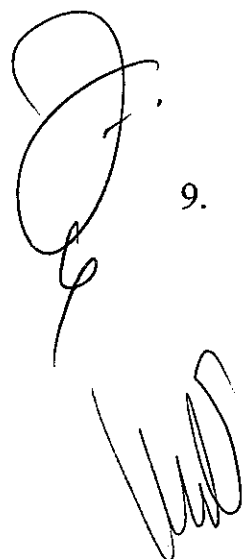
1. ENVIO DE PERITOS JAPONESES  
A JICA proverá os serviços de peritos japoneses.
2. PROVISÃO DE MÁQUINAS E EQUIPAMENTOS  
A JICA fornecerá as máquinas, equipamento e outros materiais (doravante denominados “Equipamento”) necessários à implementação do Projeto.
3. CAPACITAÇÃO DE RECURSOS HUMANOS DOS ESTADOS PARTES DO MERCOSUL NO JAPÃO  
A JICA receberá o pessoal dos Estados Partes do Mercosul vinculados ao Projeto para treinamento técnico no Japão.

### III. MEDIDAS A SEREM TOMADAS PELOS GOVERNOS DOS ESTADOS PARTES DO MERCOSUL

1. Os Governos dos Estados Partes do Mercosul tomarão as medidas necessárias para assegurar que a sustentabilidade do Projeto seja mantida durante e depois do período da cooperação técnica japonesa,

através do envolvimento ativo e pleno no Projeto de todas as autoridades e instituições a ele vinculadas e grupos beneficiários.

2. Os Governos dos Estados Partes do Mercosul assegurarão que as tecnologias e conhecimentos adquiridos pelos representantes dos Estados Partes do Mercosul como resultados da cooperação técnica japonesa contribuirão para o desenvolvimento econômico e social dos Estados Partes do Mercosul.
3. Os Governos dos Estados Partes do Mercosul concederão nos Estados Partes do Mercosul privilégios, isenções e benefícios aos peritos japoneses e suas famílias a que se refere o inciso II-1, acima.
4. Os Governos dos Estados Partes do Mercosul tomarão as medidas necessárias para receber e usar o Equipamento fornecido pela JICA e o equipamento, máquinas e materiais trazidos pelos peritos japoneses.
5. Os Governos dos Estados Partes do Mercosul tomarão as medidas necessárias para assegurar que o conhecimento e as experiências adquiridas pelos representantes dos Estados Partes do Mercosul no treinamento técnico no Japão ou no Mercosul serão utilizados, de fato, na implementação do projeto.
6. Os Governos dos Estados Partes do Mercosul fornecerão os serviços de contrapartida de pessoal e administrativos.
7. Os Governos dos Estados Partes do Mercosul fornecerão instalações e facilidades necessárias.
8. De acordo com as leis e regulamentos em vigor nos Estados Partes do Mercosul, os Governos dos Estados Partes do Mercosul tomarão as medidas necessárias para prover ou substituir, com recursos próprios, máquinas, equipamentos, instrumentos, veículos, ferramentas, peças de reposição e quaisquer outros materiais necessários à implementação do Projeto, além do Equipamento fornecido pela JICA.
9. De acordo com as leis e regulamentos vigentes nos Estados Partes do Mercosul, os Governos dos Estados Partes do Mercosul tomarão as medidas necessárias para o custeio das despesas correntes necessárias à implementação do Projeto.



北原

#### IV. ADMINISTRAÇÃO DO PROJETO

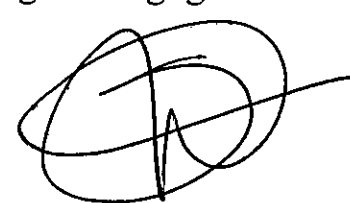

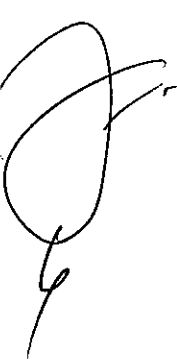
1. O Coordenador do Grupo ad-hoc RET, na condição de Coordenador-Geral do Projeto, assumirá a total responsabilidade pela administração e implementação do Projeto, consultando os membros do Grupo ad-hoc RET.
2. Um Escritório de Gerenciamento de Projeto será estabelecido para coordenar a implementação do Projeto de ambas as partes, Japão e MERCOSUL.
3. Os peritos de longa-duração darão a necessária assessoria para o Coordenador e o Coordenador-Geral do Projeto.
4. Será estabelecido um Comitê de Coordenação Conjunta para a supervisão e avaliação do projeto. Os membros desse Comitê estão listados no anexo II.
5. Para a efetiva e bem sucedida implementação da cooperação, serão estabelecidos Comitês de Apoio em ambos os lados, japonês e do MERCOSUL, em colaboração com o setor privado e o setor público.

#### V. AVALIAÇÃO CONJUNTA

A avaliação do Projeto será conduzida conjuntamente pela JICA e as autoridades concernentes dos Estados Partes do Mercosul, durante os últimos seis meses do final da cooperação, de modo a avaliar seus resultados.

#### VI. REVINDICAÇÕES CONTRA OS PERITOS JAPONESES

Os Governos dos Estados Partes do MERCOSUL responsabilizar-se-ão pelas reivindicações, caso haja, contra os peritos japoneses envolvidos na cooperação técnica, no âmbito deste Projeto, decorrentes de ou, de outra forma fatos ocorridos durante a execução do mesmo ou, de outra forma, relacionadas com o desempenho de suas funções oficiais nos Estados Partes do MERCOSUL, exceto por aquelas decorrentes de má conduta ou grave negligência dos peritos japoneses.



北原

## VII. CONSULTAS MÚTUAS

A JICA e os Governos dos Estados Partes do Mercosul deverão discutir mutuamente quaisquer questões relevantes decorrentes deste Documento Anexo, ou relacionadas aos termos do mesmo.

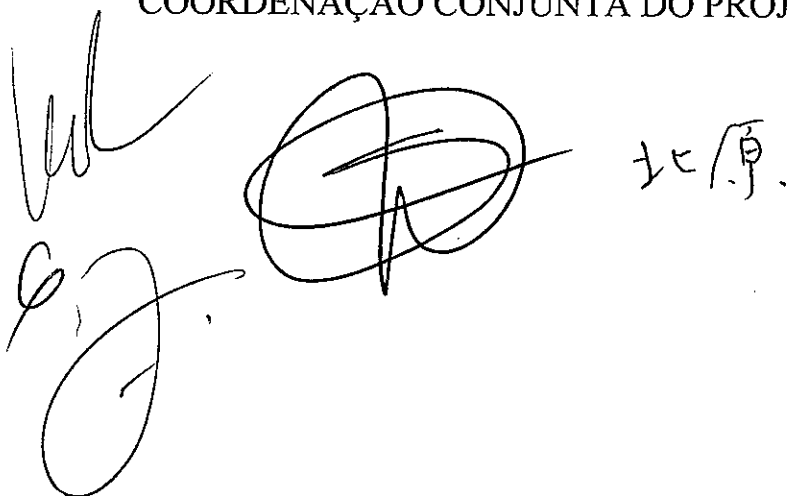
## VIII. MEDIDAS PARA PROMOVER O CONHECIMENTO SOBRE E APOIO AO PROJETO

Com o objetivo de promover o apoio ao Projeto entre os povos dos Estados Partes do Mercosul, os Governos dos Estados Partes do Mercosul tomarão as medidas apropriadas para tornar o Projeto amplamente difundido entre os seus respectivos povos.

## IX. PERÍODO DA COOPERAÇÃO

O período da cooperação técnica no âmbito do Projeto, conforme o Documento Anexo, será de três (03) anos.

ANNEX I PLANO DIRETOR DO PROJETO  
ANEXO II LISTA DOS MEMBROS DO COMITÊ DE  
COORDENAÇÃO CONJUNTA DO PROJETO (TENTATIVO)



Handwritten signatures and initials, including a large circular scribble and the characters '北原' (Kitahara).

## ANEXO I - PLANO DIRETOR DO PROJETO

- **Nome do Projeto**

Projeto de Promoção do Turismo no Mercosul – Fase 1

- **Duração do Projeto**

Três (03) anos

- **Objetivos Gerais do Projeto**

- 1) Incrementar a colaboração regional no setor do turismo no Mercosul;
- 2) Incrementar a colaboração bilateral entre os países partes do Mercosul e o Japão no setor do turismo.

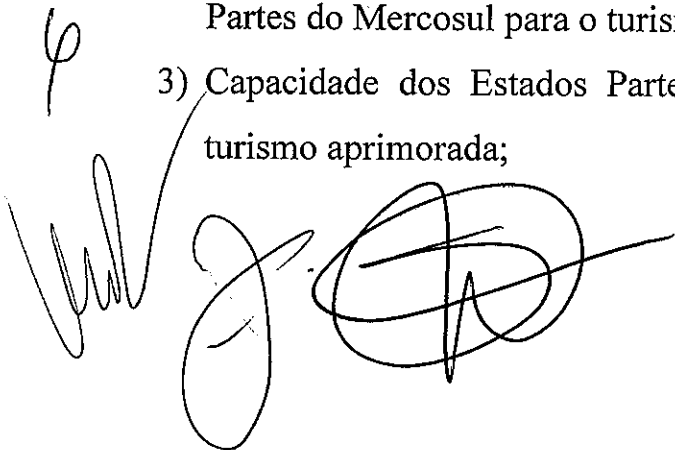
- **Objetivos Específicos do Projeto**

- 1) Institucionalizar a colaboração regional no setor do turismo entre os Estados Partes do Mercosul e aprimorar a capacidade coletiva de promoção do turismo;
- 2) Estabelecer um avanço do Mercosul no mercado turístico japonês do turismo e desenvolver casos modelo para a promoção de turismo em novos mercados.

- **Resultados**

- 1) Criar diretrizes de colaboração regional no setor do turismo fortalecidas;
- 2) Aprimorar a capacidade de planejamento para o turismo dos Estados Partes do Mercosul para o turismo;
- 3) Capacidade dos Estados Partes do Mercosul para o marketing do turismo aprimorada;

4



北原



- 4) Capacidade dos Estados Partes do Mercosul para o desenvolvimento de produtos de turismo aprimorada; e
- 5) Capacidade dos Estados Partes do Mercosul para o desenvolvimento de recursos humanos para o turismo aprimorada.

- **Atividades**

- 1) Fortalecimento das diretrizes da colaboração regional no setor do turismo.

- 1-1) Estabelecer e operar o Escritório de Promoção do Turismo do Mercosul em modo experimental;

- 1-2) Facilitar a coordenação entre os Estados Partes do Mercosul no setor de turismo.

- 2) Melhorar a capacidade de planejamento para o turismo.

- 2-1) Conduzir pesquisa de mercado no Japão;

- 2-2) Formular um plano básico para a promoção turística no Japão;

- 2-3) Avaliar o progresso do plano básico e formular o alcance da segunda fase do projeto.

- 3) Melhorar a capacidade para o marketing turístico.

- 3-1) Realizar atividades piloto de promoção do turismo no Japão;

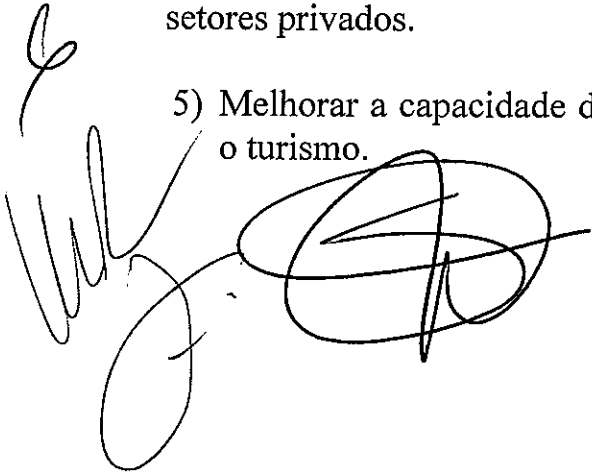
- 3-2) Difundir material e fazer publicidade para a promoção do turismo no Japão

- 4) Melhorar a capacidade para desenvolvimento de produtos de turismo.

- 4-1) Desenvolver produtos de turismo locais e regionais;

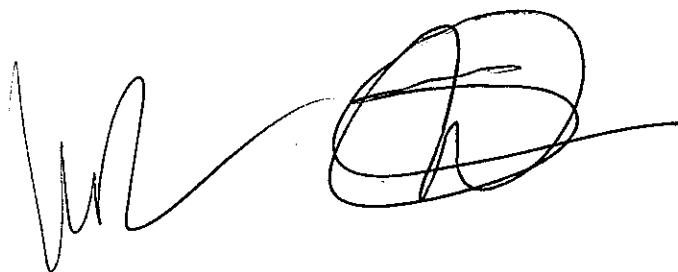
- 4-2) Facilitar o desenvolvimento de produtos de turismo e suas fontes pelos setores privados.

- 5) Melhorar a capacidade de desenvolvimento de recursos humanos para o turismo.



北原

- 5-1) Desenvolver a capacitação de recursos humanos voltados para a promoção do turismo;
- 5-2) Facilitar o desenvolvimento de recursos humanos pelo setor privado.

A handwritten signature in black ink, consisting of a series of loops and a long horizontal stroke extending to the right.

北原

A handwritten signature in black ink, featuring a large loop and a vertical stroke.

Anexo II - Lista de Membros do Comitê de Coordenação Conjunta do Projeto (Tentativo)

1. Pelo MERCOSUL:

1) Membros do Grupo ad-hoc da RET.

2. Pelo Japão:

1) Representantes das Embaixadas do Japão no MERCOSUL;

2) Representantes da JICA no MERCOSUL;

3) Representantes do Comitê Assessor da JICA.



The image shows three handwritten signatures in black ink. The first signature is on the left, the second is in the middle, and the third is on the right. To the right of the third signature, the name '北原' (Kitahara) is written in Japanese characters.

RECORD OF DISCUSSIONS  
BETWEEN  
JAPANESE IMPLEMENTATION STUDY TEAM  
AND  
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF  
THE ARGENTINE REPUBLIC  
ON  
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR  
THE MERCOSUR TOURISM PROMOTION PROJECT PHASE 1

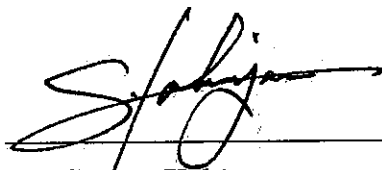
The Japanese Implementation Study Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr.Satoru Kohiyama, visited the Argentine Republic from October 29<sup>th</sup>, 2004 to November 3<sup>rd</sup>, 2004 for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the MERCOSUR Tourism Promotion Project phase 1 (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in the Argentine Republic, the Team exchanged views and had a series of discussions with Argentine Republics' authorities concerned with respect to desirable measures to be taken by JICA and the Government of the Argentine Republic for the successful implementation of the above-mentioned Project.

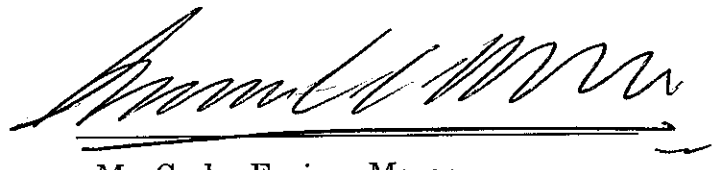
As a result of the discussions, and in accordance with the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Argentine Republic, signed in the Argentine Republic, effective from August 11<sup>th</sup>, 1981(hereinafter referred to as "the Agreement"), the Team and the Argentine Republics'authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

The document is done in duplicate in Spanish and English languages. Each text shall be equally authentic. In case of any divergence in interpretation, the English text shall prevail.

Buenos Aires, November 2nd, 2004



Mr. Satoru Kohiyama  
Leader, Implementation Study Team,  
Japan International Cooperation Agency  
Japan



Mr. Carlos Enrique Meyer  
Secretary of Tourism  
National Secretariat of Tourism  
Argentine Republic

## THE ATTACHED DOCUMENT

### I. COOPERATION BETWEEN JICA AND THE GOVERNMENT OF THE ARGENTINE REPUBLIC

1. The Government of the Argentine Republic will implement the MERCOSUR TOURISM PROMOTION PROJECT PHASE I (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Project Framework as given in Annex I.

### II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the Agreement, JICA, as the executing agency for the technical cooperation by the Government of Japan, will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

#### 1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of Japanese experts.

The provision of Article IX of the Agreement will be applied to the above-mentioned experts.

#### 2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project. The provision of Article VII of the Agreement will be applied to the Equipment.

#### 3. TRAINING OF ARGENTINE REPUBLICS' PERSONNEL IN JAPAN

JICA will receive Argentine Republics' personnel connected with the Project for technical training in Japan.

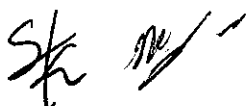
### III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE ARGENTINE REPUBLIC

1. The Government of the Argentine Republic will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and

after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.

2. The Government of the Argentine Republic will ensure that the technologies and knowledge acquired by Argentine Republics' nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Argentine Republic.
3. In accordance with the provisions of Articles V, VI and VII of the Agreement, the Government of the Argentine Republic will grant in the Argentine Republic privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts and their families.
4. The Government of the Argentine Republic will take the measures necessary to receive and use the equipment provided by JICA as well as the equipment, machinery and materials carried in by the Japanese experts.
5. The Government of the Argentine Republic will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by Argentine Republics' personnel from technical training in Japan or the Argentine Republic will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the provisions of Article V-(e)-(f) of the Agreement, The Government of the Argentine Republic will provide the services of Argentine Republics' counterpart personnel and administrative personnel.
7. In accordance with the provisions of Article V-(a)-(b) of the Agreement, The Governments of the Argentine Republic will provide the buildings and facilities.
8. In accordance with the laws and regulations in force in the Argentine Republic, the Government of the Argentine Republic will take necessary measures to supply or replace at its own expense machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided by JICA .
9. In accordance with the laws and regulations in force in the Argentine Republic, the Government of the Argentine Republic will take necessary measures to meet the running expenses necessary for the implementation of the Project.

#### IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT



1. The Coordinator of the RET ad-hoc group, as the Project General Coordinator, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project in consultation with RET ad-hoc as the Project Coordinators.
2. The Project Management Office will be established to coordinate implementation on both the Japanese and MERCOSUR sides.
3. The Japanese long-term experts are to give necessary advice to the Project Coordinator and the Project General Coordinator.
4. The Steering Committee will be established for supervising and evaluating the Project. The members of the Steering Committee are listed in the attached ANNEX II.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation in collaboration with the private sector and the public sector, the Project Supporting Committees for the Project will be established on both the Japanese and MERCOSUR sides.


## V. JOINT EVALUATION

The Evaluation of the Project will be conducted jointly by JICA and the MERCOSUR State Parties' authorities concerned, during the last six months of the cooperation term, in order to assess the level of achievement.

## VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

In accordance with the provisions of the Article VIII of the Agreement, The Government of the Argentine Republic undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Argentine Republic except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

## VII. MUTUAL CONSULTATION

 JICA and the Government of the Argentine Republic shall mutually discuss any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.



VIII. MEASURES TO PROMOTE THE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of the Argentine Republic, the Government of the Argentine Republic will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the Argentine Republic .

IX. PERIOD OF COOPERATION

The period of the technical cooperation for the Project under this Attached Document is three (3) years from the commencement of the Project.

ANNEX I Project Framework

ANNEX II List of Members of the Project Steering Committee





## Project Framework

### ■ Name of the Project

The MERCOSUR Tourism Promotion Project Phase 1

### ■ Term of the Project

Three years

### ■ Overall Goals

- 1) Enhanced regional collaboration in the tourism sector in MERCOSUR
- 2) Enhanced bilateral collaboration between member countries of MERCOSUR and Japan in the tourism sector

### ■ Project Objectives

- 1) To institutionalize regional collaboration in the tourism sector among MERCOSUR state parties and enhance collective capacities for tourism promotion
- 2) To establish a bridgehead of MERCOSUR in the Japanese tourism market and develop model cases for tourism promotion in a new markets

### ■ Outputs

- 1) Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector
- 2) Enhanced capacities of MERCOSUR state parties for tourism planning
- 3) Enhanced capacities of MERCOSUR state parties for tourism marketing
- 4) Enhanced capacities of MERCOSUR state parties for tourism products development
- 5) Enhanced capacities of MERCOSUR state parties for tourism human resources development

### ■ Activities

- 1) Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector
  - 1-1) Set up and operate the MERCOSUR Tourism Promotion Office on a pilot basis
  - 1-2) Facilitate coordination among MERCOSUR state parties in the tourism sector
- 2) Enhanced capacities for tourism planning
  - 2-1) Conduct market surveys in Japan
  - 2-2) Formulate the master plan for tourism promotion in Japan
  - 2-3) Evaluate progress of the master plan and formulate the scope of the second phase of the project
- 3) Enhanced capacities for tourism marketing
  - 3-1) Conduct pilot promotion activities in Japan
  - 3-2) Develop materials and media for tourism promotion in Japan
- 4) Enhanced capacities for tourism products development
  - 4-1) Develop regional and local tourism products
  - 4-2) Facilitate development of tourism products and their resources by private sectors

- 5) Enhanced capacities for tourism human resources development
- 5-1) Develop capacities of focal human resources in tourism promotion
- 5-2) Facilitate development of human resources by private sectors



**ANNEX II List of Members of the Project Steering Committee**

**1. The MERCOSUR side**

- 1) Members of RET, MERCOSUR
- 2) Members of RET Ad-hoc Group, MERCOSUR

**2. The Japanese side**

- 1) Representatives of the Embassies of Japan in MERCOSUR
- 2) Representatives of JICA Offices in MERCOSUR
- 3) Representatives of JICA Advisory Committee.



MINUTES OF MEETINGS  
BETWEEN  
JAPANESE IMPLEMENTATION STUDY TEAM  
AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF  
THE ARGENTINE REPUBLIC  
ON  
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR  
“MERCOSUR TOURISM PROMOTION PROJECT PHASE 1”

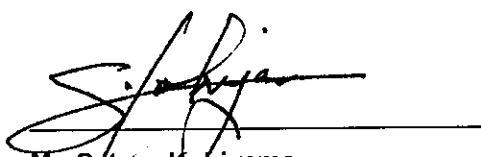
The Japanese Implementation Study Team (hereinafter referred to as “the Team”) and The Argentine Republic’s authorities concerned signed the Record of Discussion (hereinafter referred to as “the R/D”) on technical cooperation project “MERCOSUR Tourism Promotion Project phase 1”(hereinafter referred to as “the Project”) after mutual consultations.

In order to compliment the R/D, contents consented by both sides are recorded as document attached hereto.

Done in duplicate in Spanish and English languages, each text shall be equally authentic.

In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Buenos Aires, November 2nd, 2004



Mr. Satoru Kohiyama  
Leader, Implementation Study Team  
Japan International Cooperation Agency  
Japan



Mr. Carlos Enrique Meyer  
Secretary of Tourism  
National Secretariat of Tourism  
Argentine Republic

## THE ATTACHED DOCUMENT

### I . Framework of the Project

#### 1. Title of the Project

MERCOSUR Tourism Promotion Project Phase1

#### 2. Implementing Organizations

The Implementing Organizations of the Project are the following organizations of MERCOSUR state parties.

- The Argentine Republic: National Secretariat of Tourism
- The Federal Republic of Brazil: Ministry of Tourism/EMBRATUR
- The Republic of Paraguay: National Secretariat of Tourism
- The Oriental Republic of Uruguay: Ministry of Tourism

#### 3. Overall Goals

- (1) Enhanced regional collaboration in the tourism sector among the member countries of MECOSUR.
- (2) Enhanced bilateral collaboration in the tourism sector between the member countries of MERCOSUR and Japan.

#### 4. Project Objectives

- (1) To institutionalize regional collaboration in the tourism sector among the MERCOSUR state parties and enhance collective capacity for tourism promotion.
- (2) To establish a bridge-head of MERCOSUR in the Japanese tourism market and develop a model of tourism promotion in new markets.

#### 5. Outputs and Activities

##### 5-1. Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector

- (1) Establishment of MERCOSUR Tourism Promotion Office on a pilot basis.
- (2) Enhancement of policy coordination among state parties of MERCOSUR.

##### 5-2. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism planning

- (1) Survey and analysis on the Japanese market.
- (2) Formulation of a master-plan of tourism promotion for the Japanese market.

##### 5-3. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism marketing

- (1) Implementation of marketing activities on a pilot basis.
- (2) Development of materials and media for tourism marketing on a pilot basis.

##### 5-4. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism product development

- (1) Development of MERCOSUR tourism products on a pilot basis.
- (2) Facilitation of tourism products development by private sectors



5-5. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism human resource development

- (1) Capacity development of focal persons of MERCOSUR tourism sector.
- (2) Facilitation of capacity development of service personnel.

**6. Modes of Activities**

6-1. Principles

- (1) The activities of the Project described above are to be planned and implemented by implementing organizations of MERCOSUR with their ownership. JICA shall support the activities as a facilitator and a catalyser with various forms of services required for activities, while MERCOSUR state parties shall bear administrative expenses as well as shared expenses of activities.
- (2) The activities in Japan shall be conducted by focal persons of MERCOSUR within the framework of the training program of JICA.
- (3) A particular consideration shall be given by both MERCOSUR state parties and JICA to the importance of public-private partnership in tourism promotion. Private sectors of MERCOSUR and Japan shall be encouraged to participate actively in the Project.

6-2. Joint activities of MERCOSUR state parties

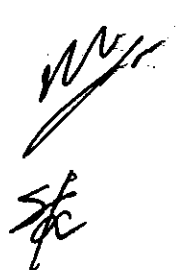
- (1) Those activities which shall be jointly planned and implemented by member countries based on common concepts are to be given a priority in the Project over coordinated parallel activities described below.
- (2) Joint activities shall not necessarily involve all the member countries.
- (3) Joint activities shall be planned and implemented by the MERCOSUR Tourism Promotion Office with due approval process mentioned in section II below.

6-3. Coordinated parallel activities of MERCOSUR state parties

Activities of MERCOSUR state parties, which shall be planned and implemented independently, are to be supported by the Project on a cost-sharing basis on condition that they are related to concepts of the Project and approved as pilot projects of the Project. A guideline for the cost-sharing scheme shall be worked at the initial stage of the project based on proposals for the coordinated pilot projects.

6-4. Coordinated activities of private sectors

Activities of private entities shall be supported by such indirect means as advisory service and training on condition that they are in line with agreed concepts of the Project.

Handwritten signatures in black ink, appearing to be initials or names, located at the bottom left of the page.

## **7. Term of the Project**

The term of the Project shall be three years.

## **8. Second Phase of the Project**

- (1) The second phase of the Project shall be considered for implementation and due recommendation shall be made to the respective governments if it should be required to sustain outcomes of the Project, on condition that the both sides should find the outcomes achieved successfully in the Project.
- (2) The decision on the second phase shall be made by the respective governments.
- (3) Review and formulation of the scope of the second phase of the Project shall be conducted so as not to disrupt continuity of the Project.

## **II. Administration of the Project**

### **1. Project Management Framework**

- (1) The Project shall be managed by the RET Ad-hoc Group. The Group shall make decisions on matters related to planning, implementation and evaluation of the Project.
- (2) The coordinator of the RET Ad-hoc Group shall bear overall responsibility of administration of the Project as the Project General Coordinator in consultation with other members of the RET Ad-hoc Group as Project Coordinators.
- (3) JICA shall provide services for activities based on each agreement to be made with the RET Ad-hoc Group through the Project General Coordinator.

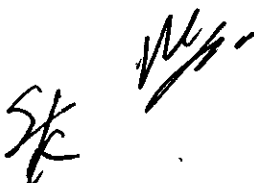
### **2. Project Management Office**

#### 2-1. Office in MERCOSUR

- (1) The Project Management Office (hereinafter referred to as "PMO") shall be established as the MERCOSUR Tourism Promotion Office under the RET Ad-hoc Group in order to plan, implement and evaluate activities of the Project.
- (2) PMO shall be initially set up inside premise of Ministry of Tourism, Oriental Republic of Uruguay and administered by the Project General Coordinator.
- (3) An expert of JICA shall be posted in PMO in order to facilitate the activities in MERCOSUR.
- (4) MERCOSUR side shall define the status and functions of the MERCOSUR Tourism Promotion Office during the course of the Project so as to institutionalize it within the framework of MERCOSUR.

#### 2-2. Office in Japan

- (1) A field office of PMO shall be set up in Japan in order to implement activities of the Project in Japan (hereinafter referred to as "JPMO").



- (2) The head of the JPMO shall be posted by MERCOSUR with consent of JICA.
- (3) The JPMO shall plan and implement activities in Japan under direction of PMO while it shall be given discretionary power over those activities which should not necessarily require prior approval of PMO in terms of efficiency and effectiveness. Scope of those activities shall be defined at the initial stage of the Project
- (4) The head of JPMO shall ask advice of Embassies of MERCOSUR member countries in case of necessity.

### **3. Project Steering Committee**

- (1) Project Steering Committee shall be set up for monitoring and evaluation of the Project. Revision of the Project Framework should be approved by the Committee.
- (2) Project Steering Committee shall be held at least once a year to monitor and evaluate an annual operational plan. It also shall be held whenever both sides agree.
- (3) The members of the Committee are listed in ANNEX IV.

### **4. Project Support Committee**

- (1) Project Support Committees shall be set up in the MERCOSUR member countries and Japan with a view to facilitating public-private partnership in each country.
- (2) Project Support Committees shall coordinate participation of private entities in the activities of the Project and advice each implementing organization, or JPMO in case of Japan, on matters related to public-private partnership by drawing together opinions of the private sectors of each country.
- (3) Terms and conditions of the Committees shall be set by each country at the initial stage of the Project.

## **III. Measures to be taken by both sides**

### **1. Measures to be taken by the Japanese side**

#### 1-1. Provision of services of Japanese experts

- (1) A long term expert shall be assigned to PMO as a tourism promotion adviser to facilitate the activities of the Project
- (2) Short term experts shall be dispatched in areas of tourism product development, tourism marketing and tourism human resource development and others if necessary. The numbers and terms of reference (TOR) shall be finalized at the initial stage of the Project.

#### 1-2. Provision of opportunities for exposure and training

- (1) Focal persons of MERCOSUR shall be provided with opportunities of exposure and participate in pilot activities to be conducted in Japan within the framework of the training program of JICA.

SK 



- (2) The numbers and fields of exposure and training in Japan shall be worked out in preparatory stages of annual operational plans.
- (3) Programs in third countries shall be considered for implementation in case of necessity.

#### 1-3. Provision of services for activities in MERCOSUR

Necessary services for activities in MERCOSUR described in section I -5 shall be provided based on agreements to be made between PMO and JICA upon proposals of the former.

#### 1-4. Provision of services for activities in Japan

Necessary services for activities in Japan described in section I -5 shall be provided based on agreements to be made between PMO or JPMO and JICA upon proposals of the former.

#### 1-5. Assignment of volunteers

JICA volunteers might be assigned to Argentine, Paraguay and Uruguay in tourism sector upon requests of respective governments. Both sides agreed to take necessary measures to secure close coordination between the Project and those volunteers if they should be assigned.

### **2. Measures to be taken by the MERCOSUR side**

#### 2-1. Assignment of focal personnel

The MERCOSUR side shall assign focal persons of the Project and make due efforts to keep them during the course of the Project so as to enhance effectiveness of the Project.

#### 2-2. Establishment of PMO

The MERCOSUR side shall secure an appropriate business environment with office space equipped with furniture and recurrent expenditures.

#### 2-3. Provision of information on tourism resources and products

The MERCOSUR side shall provide information on tourism resources and products which are utilized for activities of marketing and product development .

#### 2-4. Provision of counter-budget for cost-sharing activities

The MERCOSUR side shall provide counter-budget for activities which are to be conducted on a cost-sharing basis.

#### 2-5. Recurrent expenditures

The MERCOSUR side shall bear the cost of recurrent items such as traveling expenses for management of the Project.



Annex I : Project Design Matrix

Annex II : Plan of Operation

Annex III : Organization Chart

Annex IV : List of Members of Steering Committee

A handwritten signature in black ink, consisting of several overlapping, stylized strokes.A handwritten signature in black ink, consisting of a few bold, stylized strokes.

**ANNEX I . Project Design Matrix**  
**Project Title: MERCOSUR Tourism Promotion Project Phase 1**

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicator	Means of Verification	Important Assumption
<p><b>Overall Goal</b></p> <p>(1) Enhanced regional collaboration among member countries of MERCOSUR in the tourism sector.</p> <p>(2) Enhanced bilateral collaboration between member countries of MERCOSUR and Japan in the tourism sector.</p>	<p>(1) Implementation of joint tourism promotion activities for other countries.</p> <p>(2) Increase of the number of Japanese tourists to MERCOSUR.</p>		
<p><b>Project Purpose</b></p> <p>(1) To institutionalize regional collaboration among MERCOSUR state parties in the tourism sector and enhance collective capacity for tourism promotion</p> <p>(2) To establish a bridge-head of MERCOSUR in the Japanese tourism market and develop a model of tourism promotion in new market.</p>	<p>(1) Approval of MERCOSUR Tourism Promotion Office as an official institution and necessary budgetary arrangements by the State Parties for operation of the office.</p> <p>(2) Approval of guidelines as models for tourism promotion for emerging markets.</p>	<p>Reports of PMO.</p>	<p>(1) Economic situations shall not be significantly changed.</p> <p>(2) Major accidents or incidents shall not happen which affect Japanese tourists.</p>
<p><b>Outputs</b></p> <p>1. Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector</p>	<p>(1) Plan of MERCOSUR Tourism Promotion Office both in MERCOSUR and in Japan.</p> <p>(2) The number of meetings of the Support Committees.</p>	<p>Report of PMO.</p>	
<p>2. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism planning</p>	<p>(1) Report of market analysis.</p> <p>(2) Master-Plan of tourism promotion.</p>	<p>Report of PMO.</p>	
<p>3. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism marketing</p>	<p>(1) Increase in the number of persons reached.</p> <p>(2) A guideline and manuals for marketing.</p>	<p>Reports of PMO. Access to HP. Market survey.</p>	

<p>4. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism product development</p> <p>5. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism human resource development</p>	<p>(1) Increase in the number of products developed.</p> <p>(2) A guideline and manuals for product development.</p> <p>(1) Maintained network of focal persons.</p> <p>(2) The number of persons attended workshops by Japanese advisors.</p>	<p>Report of PMO.</p> <p>Market survey.</p> <p>Report of PMO.</p>	
<p><b>Activities</b></p> <p>1. Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector</p> <p>(1) Establishment of MERCOSUR Tourism Promotion Office on a pilot basis.</p> <p>(2) Enhancement of policy coordination among state parties of MERCOSUR.</p> <p>2. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism planning</p> <p>(1) Survey and analysis on the Japanese market.</p> <p>(2) Formulation of a master-plan of tourism promotion for the Japanese market.</p> <p>3. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism marketing</p> <p>(1) Implementation of marketing activities on a pilot basis.</p> <p>(2) Development of media and materials for tourism marketing on a pilot basis.</p>	<p><b>Inputs</b></p> <p>&lt;MERCOSUR side&gt;</p> <p>1. Assignment of focal personnel.</p> <p>2. Establishment of PMO.</p> <p>3. Provision of available information and data.</p> <p>4. Provision of counter-budget for cost-sharing activities.</p> <p>5. Provision of recurrent expenditures.</p> <p>&lt;Japan side&gt;</p> <p>1. Provision of services of Japanese experts.</p> <p>2. Provision of opportunity for exposure and training.</p> <p>3. Provision of services for activities in MERCOSUR.</p> <p>4. Provision of services for activities in Japan.</p>		

<p>4. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism product development</p> <p>(1) Development of MERCOSUR tourism products on a pilot basis.</p> <p>(2) Facilitation of tourism products development by private sectors.</p> <p>5. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism human resource development</p> <p>(1) Capacity development of focal persons of MERCOSUR tourism sector.</p> <p>(2) Facilitation of capacity development of service personnel.</p>			
---	--	--	--

## **Annex II . Plan of Operation**

### **1. Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector**

Institutional framework of regional collaboration among the member countries of MERCOSUR shall be strengthened through activities described below. Inputs of the activities shall include among others personnel and services required for operation of offices. The output of the activities shall be measured by such indicators as formalization of those offices and their sustainable plans of operation, which shall be finalized within three months of the commencement of the Project.

(1) Establishment of MERCOSUR Tourism Promotion Office on a pilot basis

- a. Set up and operate the Office under the RET Ad-hoc Group.
- b. Set up and operate a branch office in Japan.
- c. Facilitate private sectors in each country to set up committees for the Project.
- d. Facilitate dialogue among private sectors in MERCOSUR and Japan.

(2) Enhancement of policy coordination among state parties of MERCOSUR

- a. Conduct seminars/workshops on matters related to RET.

### **2. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism planning**


Capacity of state parties of MERCOSUR to jointly analyze emerging markets and formulate strategies shall be enhanced through activities described below. Inputs of the activities shall include among others services required for surveys and evaluations. The output of the activities shall be measured by such indicators as quality of a master-plan and the proposal for the second phase of Project, which shall be finalized within three months of the commencement of the Project.

(1) Survey and analysis on the Japanese market

- a. Conduct surveys on the demand side elements of the Japanese market, such as opinions of consumers about MERCOSUR and their special interests.
- b. Conduct surveys on the supply side elements of the Japanese market, such as current products, profiles of agents and potential competing destinations.

(2) Formulation of a master-plan of tourism promotion for the Japanese market.

- a. Formulate concepts of MERCOSUR tourism products.
- b. Formulate a set of strategies and plans for tourism promotion, i.e. products development and their marketing as well as resource mobilization.
- c. Evaluate performance of the Project.
- d. Formulate a master-plan of tourism promotion for the Japanese market based on findings gained from the Project.



- e. Formulation of a proposal for the second phase of the Project to consolidate the outcomes of the Project.

### **3. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism marketing**

Capacity of state parties and private sectors of MERCOSUR to plan and implement tourism marketing activities shall be enhanced through both joint and parallel activities described below. Inputs of the activities shall include among others services required for marketing events, production of materials and so on. The output of the activities shall be measured by such indicators as quality of developed guidelines and the number of persons reached, which shall be finalized within three months of the commencement of the Project.

#### **(1) Implementation of marketing activities on a pilot basis**

- a. Participate in JATA Travel Fair.
- b. Hold promotional events and seminars targeting at various segments such as business entities, local governments, educational institutions and consumers.
- c. Conduct publicity activities targeting at the media.
- d. Conduct FAM tours targeting at business entities and the media.
- e. Facilitate marketing activities of business entities of both MERCOSUR and Japan.
- f. Prepare a guideline and a manual for tourism marketing in Japan.

#### **(2) Development of media and materials for tourism marketing on a pilot basis**

- a. Operate MERCOSUR Tourism Web-site.
- b. Produce various promotional materials including “sales tools”.

### **4. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism product development**

Capacity of state parties and private sectors of MERCOSUR in tourism product development shall be enhanced through both joint and parallel activities described below. Inputs of the activities shall include among others exchange of professionals of both sides, services required for planning, production of materials and so on. The output of the activities shall be measured by such indicators as quality of guidelines for product development and the number of developed products, which shall be finalized within three months of the commencement of the Project.

#### **(1) Development of MERCOSUR tourism products on a pilot basis**

- a. Formulate concepts of MERCOSUR tourism product to be developed jointly by the member countries.
- b. Compile relevant information about resources and existing products in the member countries.



- c. Formulate and implement pilot projects to develop “joint MERCOSUR tourism products” from perspectives of both short term and long-medium term.
  - d. Formulate and implement national pilot projects to develop “coordinated bilateral tourism products” relevant to the agreed concepts, in order to either enhance value of existing products or create new products tailored to the Japanese market.
  - e. Prepare a guideline of joint product development among MERCOSUR state parties.
- (2) Facilitation of tourism products development by private sectors
- a. Facilitate private entities to develop their products.
  - b. Prepare a guideline of government’s support to private sector in product development aimed at emerging markets.

#### **5. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism human resource development**

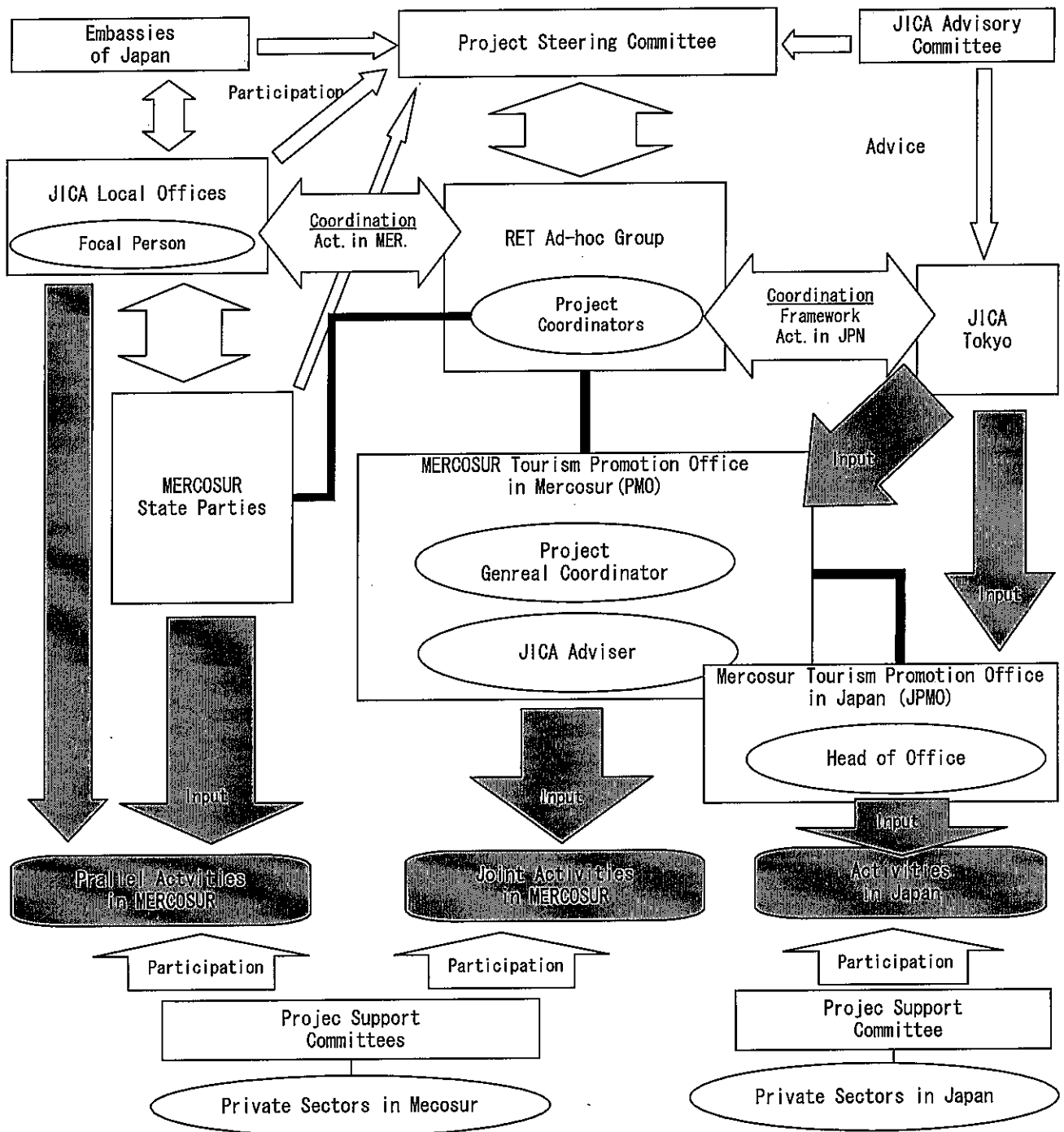
Capacity of human resources in tourism sector of MERCOSUR shall be enhanced through activities described below. Inputs of the activities shall include among others exposure programs in Japan and training program in MERCOSUR. The output of the activities shall be measured by such indicators as maintained networks of focal persons and the number of persons acquired sufficient knowledge and skill, which shall be finalized within three months of the commencement of the Project.

- (1) Capacity development of focal persons of MERCOSUR tourism sector.
  - a. Provide focal persons with opportunities of exposure to grasp real issues, create solutions to them.
  - b. Provide focal persons with opportunities of pilot activities to internalize acquired knowledge into their practical capacity.
- (2) Facilitation of capacity development of service personnel.
  - a. Assess needs of training for service personnel in both public and private sectors of MERCOSUR.
  - b. Implement training courses for service personnel in MERCOSUR.





ANNEX III : Organizational Chart of Mercosur Tourism Promotion Project Phase 1



## **ANNEX.IV : List of Members of the Project Steering Committee**

### 1. The MERCOSUR side

- 1) Members of RET, MERCOSUR
- 2) Members of RET Ad-hoc Group, MERCOSUR

### 2. The Japanese side

- 1) Representatives of the Embassies of Japan in MERCOSUR
- 2) Representatives of JICA Offices in MERCOSUR
- 3) Representatives of JICA Advisory Committee



**REGISTRO DE DISCUSIONES**  
**ENTRE**  
**EL EQUIPO JAPONÉS DEL ESTUDIO PARA LA IMPLEMENTACIÓN**  
**Y**  
**LAS AUTORIDADES CONCERNIENTES DEL GOBIERNO DE**  
**LA REPÚBLICA ARGENTINA**  
**SOBRE**  
**LA COOPERACIÓN TÉCNICA DEL JAPÓN PARA**  
**EL PROYECTO DE PROMOCIÓN TURÍSTICA DEL MERCOSUR**  
**- FASE I -**

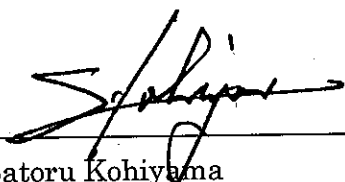
El Equipo Japonés del Estudio para la Implementación (en más adelante, se denominará "el Equipo") organizado por la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en más adelante, se denominará "JICA") y encabezado por Sr. Satoru Kohiyama ha visitado la República Argentina desde el 29 de octubre, 2004 hasta el 3 de noviembre, 2004 con el fin de discutir los detalles del programa de cooperación técnica relativo a la Fase 1 del Proyecto de Promoción Turística del MERCOSUR (en más adelante, se denominará "el Proyecto").

Durante la estadía en la República Argentina, el Equipo intercambió las opiniones y tuvo una serie de discusiones con las autoridades argentinas sobre las medidas deseables a ser tomadas por JICA y el gobierno de la República Argentina para la implementación exitosa del Proyecto arriba mencionado.

Como resultado de las discusiones, y conforme a los reglamentos del Acuerdo de Cooperación Técnica entre el Gobierno del Japón y el Gobierno de la República Argentina, firmado en la República Argentina y vigente desde el 11 de agosto, 1981 (en más adelante, se denominará "Acuerdo"), el Equipo y las autoridades relativas argentinas acordaron recomendar a los Gobiernos respectivos los asuntos referidos en el documento adjunto.

El texto original fue preparado en español y en inglés, siendo ambos textos igualmente auténticos. En el caso de cualquier divergencia en su interpretación, prevalecerá el texto en inglés.

Buenos Aires, 2 de noviembre de 2004



Sr. Satoru Kohiyama

Jefe del Equipo del Estudio para la Implementación, Secretario de Turismo  
Agencia de Cooperación Internacional del Japón  
Japón



Sr. Carlos Enrique Meyer

Presidencia de la Nación  
República Argentina

## DOCUMENTO ADJUNTO

### I. COOPERACION ENTRE JICA Y EL GOBIERNO DE LA REPUBLICA ARGENTINA

1. El Gobierno de la República Argentina implementará EL PROYECTO DE PROMOCION TURISTICA DEL MERCOSUR -FASE I - (de aquí en adelante denominado "el Proyecto") en cooperación con el Gobierno del Japón.
2. El Proyecto será implementado de conformidad con el Marco del Proyecto indicado en el Anexo I.

### II. MEDIDAS A SER TOMADAS POR EL GOBIERNO DEL JAPON

De conformidad con las leyes y reglamentaciones vigentes en Japón y con lo reglamentado en el Artículo III del Acuerdo, JICA, en su carácter de organismo ejecutivo de cooperación técnica en representación del Gobierno del Japón, por su parte, tomará las siguientes medidas de conformidad con los procedimientos normales de su esquema de cooperación técnica.

#### 1. ENVIO DE EXPERTOS JAPONESES

JICA brindará los servicios de expertos japoneses.

La reglamentación del Artículo IX del Acuerdo será aplicada a los expertos arriba mencionados.

#### 2. SUMINISTRO DE MAQUINARIAS Y EQUIPAMIENTO

JICA suministrará las maquinarias, el equipamiento y otros materiales (de aquí en adelante denominado "el Equipamiento") necesarios para la implementación del Proyecto. La reglamentación del Artículo VII del Acuerdo será aplicada al Equipamiento.

#### 3. CAPACITACION DEL PERSONAL ARGENTINO EN JAPON

JICA recibirá al personal de Argentina relacionado con el Proyecto para su capacitación técnica en Japón.

### III. MEDIDAS A SER TOMADAS POR EL GOBIERNO DE LA REPUBLICA ARGENTINA

1. El Gobierno de la República Argentina propiciará las medidas necesarias para asegurar que el funcionamiento independiente del Proyecto se mantenga durante y después del período de cooperación técnica del Japón, a través de una plena y activa participación en

el Proyecto de todas las autoridades respectivas, los grupos beneficiarios y las instituciones.

2. El Gobierno de la República Argentina asegurará que la tecnología y conocimientos adquiridos por los nacionales Argentinos a través de la cooperación técnica del Japón contribuyan al desarrollo económico y social de la República Argentina.
3. De conformidad con la reglamentación de los Artículo V, VI y VII del Acuerdo, el Gobierno de la República Argentina otorgará en la República Argentina, los privilegios, las exenciones y los beneficios correspondientes a los expertos japoneses y sus familias.
4. El Gobierno de la República Argentina tomará las medidas necesarias para recibir y utilizar el Equipamiento suministrado por JICA y el equipamiento, maquinaria, materiales introducidos por los expertos japoneses.
5. El Gobierno de la República Argentina tomará las medidas necesarias para asegurar que los conocimientos y la experiencia adquiridos por el personal Argentino sobre capacitación técnica en Japón o en la República Argentina se utilicen efectivamente en la implementación del Proyecto.
6. De conformidad con la reglamentación del Artículo V-(e)-(f) del Acuerdo, el Gobierno de la República Argentina brindará los servicios a través del personal contraparte y personal administrativo argentino.
7. De conformidad con la reglamentación del Artículo V-(a)-(b) del Acuerdo, el Gobierno de la República Argentina pondrá a disposición edificios e instalaciones.
8. De conformidad con las leyes y reglamentaciones vigentes en la República Argentina, el Gobierno de la República Argentina tomará las medidas necesarias para suministrar o reemplazar a su costo la maquinaria, el equipamiento, los instrumentos, los vehículos, las herramientas, los repuestos y todo otro material necesario para la implementación del Proyecto del Equipamiento suministrado por JICA.
9. De conformidad con las leyes y reglamentaciones vigentes en la República Argentina, el Gobierno de la República Argentina tomará las medidas necesarias para afrontar los gastos operativos en los que sea necesario incurrir para la implementación del Proyecto.

#### IV. ADMINISTRACION DEL PROYECTO



1. El Coordinador del Grupo RET Ad-hoc, como Coordinador General del Proyecto, tendrá a su cargo toda la responsabilidad por la administración e implementación del Proyecto a través de consultas con el Grupo RET Ad-hoc como Coordinadores del Proyecto.
2. Se establecerá una Oficina Administrativa del Proyecto para coordinar la implementación tanto de la parte japonesa como del MERCOSUR.
3. Los expertos japoneses a largo plazo brindarán el asesoramiento necesario a los Coordinadores del Proyecto y al Coordinador General del mismo.
4. Se establecerá un Comité Directivo para supervisar y evaluar el Proyecto. El Comité Directivo estará conformado de acuerdo a la lista del ANEXO II .
5. A los efectos de una efectiva y exitosa implementación de la cooperación técnica, en colaboración con los sectores público y privado, se establecerán Comités de Apoyo para el Proyecto, tanto en la parte japonesa como en la del MERCOSUR.

#### V. EVALUACION CONJUNTA

La evaluación del Proyecto será realizada en forma conjunta por JICA y las autoridades correspondientes de los Estados Partes del MERCOSUR, durante los últimos seis meses del período de la cooperación, para determinar el nivel de los logros.

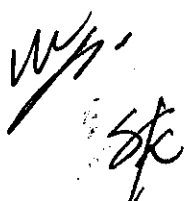
#### VI. RECLAMOS CONTRA LOS EXPERTOS JAPONESES

De conformidad con la reglamentación del Artículo VIII del Acuerdo, el Gobierno de la República Argentina se compromete a responder a los reclamos, en caso de que surgiera alguno, contra los expertos japoneses responsables de la cooperación técnica del Proyecto resultantes o que ocurrieran en el transcurso del desempeño de sus funciones oficiales en la República Argentina, o relacionados de otro modo a las mismas, a excepción de los que surgieran por acto ilícito intencional o culpa grave de los expertos japoneses.

#### VII. CONSULTAS MUTUAS

JICA y el Gobierno de la República Argentina discutirán mutuamente cualquier cuestión importante que surja del presente Documento Adjunto o relacionado con el mismo.

#### VIII. MEDIDAS PARA PROMOVER EL ENTENDIMIENTO DEL PROYECTO Y EL RESPALDO AL MISMO



A los fines de promocionar el Proyecto en el país, el Gobierno de la República Argentina tomará las medidas adecuadas para que el mismo sea ampliamente difundido entre la ciudadanía.

#### IX. PERIODO DE LA COOPERACION

El período de la cooperación técnica del Proyecto de conformidad con el Documento Adjunto será de 3 años.

ANEXO I Marco del Proyecto

ANEXO II Lista de Miembros del Comité Directivo del Proyecto

*MS  
SK*

## MARCO DEL PROYECTO

### ■ Nombre del Proyecto

El Proyecto de Promoción Turística del MERCOSUR – FASE I –

### ■ Período del Proyecto

Tres años

### ■ Objetivos Superiores

- 1) Fortalecimiento de la colaboración regional del sector turístico en MERCOSUR
- 2) Fortalecimiento de la colaboración bilateral del sector turístico entre los países miembros del MERCOSUR y Japón

### ■ Objetivos del Proyecto

- 1) Institucionalizar la colaboración regional del sector turístico entre los Estados Partes del MERCOSUR y fortalecer la capacidad colectiva en la promoción turística.
- 2) Establecer la base del MERCOSUR en el mercado turístico japonés y desarrollar un modelo de la promoción turística para los nuevos mercados.

### ■ Outputs

- 1) Se fortalece el marco de colaboración regional en el sector turístico.
- 2) Se fortalece la capacidad de los Estados Partes del MERCOSUR en la planificación turística.
- 3) Se fortalece la capacidad de los Estados Partes del MERCOSUR en el marketing turístico.
- 4) Se fortalece la capacidad de los Estados Partes del MERCOSUR en el desarrollo de productos.
- 5) Se fortalece la capacidad de los Estados Partes del MERCOSUR en el desarrollo de los recursos humanos turísticos.

### ■ Actividades

- 1) Se fortalece el marco de colaboración regional en el sector turístico
  - 1-1) Establecer y administrar la Oficina de Promoción Turística del MERCOSUR como actividad piloto.
  - 1-2) Facilitar la coordinación entre los Estados Partes del MERCOSUR en el sector turístico.
- 2) Se fortalece la capacidad de la planificación turística
  - 2-1) Realizar el estudio del mercado en Japón.
  - 2-2) Redactar el plan maestro de promoción turística en Japón.
  - 2-3) Evaluar el progreso del plan maestro y formular el alcance de la segunda fase del Proyecto.
- 3) Se fortalece la capacidad del marketing turístico.
  - 3-1) Realizar las actividades piloto de promoción en Japón
  - 3-2) Desarrollar los materiales y medios de promoción turística en Japón.
- 4) Se fortalece la capacidad del desarrollo de los productos turísticos.
  - 4-1) Desarrollar los productos turísticos regionales y locales.
  - 4-2) Facilitar el desarrollo de los productos turísticos y sus recursos por los sectores privados.



- 5) Se fortalece la capacidad del desarrollo de los recursos humanos turísticos.
- 5-1) Desarrollar la capacidad de los recursos humanos claves en la promoción turística.
- 5-2) Facilitar el desarrollo de los recursos humanos por los sectores privados.

SA  
M/ro

ANEXO II

LISTA DE MIEMBROS DEL COMITE DIRECTIVO DEL PROYECTO

1. La Parte del MERCOSUR

- 1) Miembros de RET, MERCOSUR
- 2) Miembros de Grupo RET Ad-hoc, MERCOSUR

2. La Parte Japonesa

- 1) Representantes de las Embajadas de Japón en MERCOSUR
- 2) Representantes de las Oficinas de JICA en MERCOSUR
- 3) Representantes del Comité Consultivo de JICA

Two handwritten signatures in black ink. The first signature on the left is stylized and appears to be 'SK'. The second signature on the right is more cursive and appears to be 'M. S. ...'.

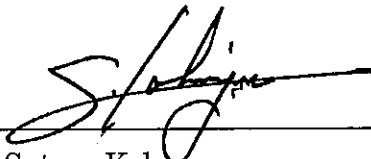
MINUTA DE DISCUSIONES  
ENTRE  
EL EQUIPO JAPONÉS DEL ESTUDIO PARA LA IMPLEMENTACIÓN  
Y  
LAS AUTORIDADES CONCERNIENTES DEL GOBIERNO DE  
LA REPÚBLICA ARGENTINA  
SOBRE  
LA COOPERACIÓN TÉCNICA DEL JAPÓN PARA  
“EL PROYECTO DE LA PROMOCIÓN TURÍSTICA DEL MERCOSUR -FASE I -”

El Equipo Japonés del Estudio para la Implementación ( de aquí en adelante, denominado “El Equipo”) y las autoridades concernientes del gobierno de la República Argentina firmaron el Registro de Discusiones(de aquí en adelante, denominado “R/D”) sobre el proyecto de cooperación técnica, “El Proyecto de la Promoción Turística del MERCOSUR -Fase I -” (de aquí en adelante, denominado “El Proyecto”) tras las consultas mutuas.

Con el fin de complementar R/D, el contenido acordado entre ambas partes se reservará en el documento adjunto.

Siendo redactados en dos idiomas español e inglés, ambos textos son auténticos. Pese a ello, en caso de que surgiera divergencia en la traducción, prevalecerá la versión en inglés.

Buenos Aires, 2 de noviembre de 2004



Sr. Satoru Kohiyama

Jefe del Equipo del Estudio para la Implementación,  
Agencia de Cooperación Internacional del Japón  
Japón



Sr. Carlos Enrique Meyer

Secretario de Turismo  
Presidencia de la Nación  
República Argentina

## DOCUMENTO ADJUNTO

### I. Marco del Proyecto

#### 1. Título del Proyecto

El Proyecto de Promoción Turística del MERCOSUR- FASE I -

#### 2. Organizaciones de Implementación

Las organizaciones de implementación del Proyecto son las organizaciones de los Estados Partes del MERCOSUR como se describen seguidamente.

- Por la República Argentina : Secretaría Nacional de Turismo
- Por la República Federativa del Brasil : Ministerio de Turismo / EMBRATUR
- Por la República del Paraguay : Secretaría Nacional de Turismo
- Por la República Oriental del Uruguay : Ministerio de Turismo

#### 3. Objetivos Superiores

- (1) Fortalecimiento de la colaboración regional del sector turístico entre los Estados Partes del MERCOSUR.
- (2) Fortalecimiento de la colaboración bilateral del sector turístico entre los Estados Partes del MERCOSUR y Japón.

#### 4. Objetivos del Proyecto

- (1) Institucionalizar la colaboración regional del sector turístico entre los Estados Partes del MERCOSUR y fortalecer la capacidad colectiva en la promoción turística.
- (2) Establecer la base del MERCOSUR en el mercado turístico japonés y desarrollar un modelo de la promoción turística para los nuevos mercados.

#### 5. Outputs y Actividades

##### 5-1. Se fortalece el marco de colaboración regional en el sector turístico.

- (1) Establecimiento piloto de la Oficina de Promoción Turística del MERCOSUR.
- (2) Fortalecimiento de la coordinación en la política entre los Estados Partes del MERCOSUR.

##### 5-2. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en la planificación del turismo.

- (1) Estudio y análisis del mercado japonés.
- (2) Redacción del plan maestro de promoción turística para el mercado japonés.

##### 5-3. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en el marketing del turismo.

- (1) Implementación piloto de las actividades de marketing.
- (2) Desarrollo piloto de los materiales y medios de marketing turístico.

##### 5-4. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en el desarrollo de productos.

- (1) Desarrollo piloto de los productos turísticos del MERCOSUR.
- (2) Facilitación al desarrollo de los productos turísticos por el sector privado.



5-5. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en el desarrollo de los recursos humanos turísticos.

- (1) Capacitación de las personas claves del sector turístico del MERCOSUR.
- (2) Facilitación de la capacitación del personal de servicio.

**6. Modo de Actividades**

6-1. Principios

- (1) Las actividades descritas arriba serán planificadas e implementadas por las organizaciones de implementación del MERCOSUR con su propia iniciativa. JICA apoyará las actividades como facilitador o catalizador con varias formas de servicios necesarios para las actividades. Mientras, los Estados Partes del MERCOSUR cubrirán tanto los gastos administrativos como los costos compartidos de las actividades.
- (2) Las actividades en Japón serán conducidas por las personas claves del MERCOSUR dentro del marco de los programas de capacitación de JICA.
- (3) Tanto los Estados Partes del MERCOSUR como Japón darán especial consideración a la coordinación entre el sector público y privado en la promoción turística. Los sectores privados del MERCOSUR y del Japón serán incentivados a participar activamente en el Proyecto.

6-2. Actividades conjuntas de los Estados Partes del MERCOSUR

- (1) Las actividades que se planifican e implementan conjuntamente por los Estados Partes con su concepto común tendrán la prioridad en el Proyecto sobre las actividades paralelas coordinadas mencionadas abajo.
- (2) Las actividades conjuntas no necesariamente involucrarán a todos los Estados Partes.
- (3) Las actividades conjuntas serán planificadas e implementadas por la Oficina de Promoción Turística del MERCOSUR conforme a su proceso de aprobación mencionado en la sección II.

6-3. Actividades paralelas coordinadas de los Estados Partes del MERCOSUR

Las actividades que se planifican e implementan independientemente por los Estados Partes del MERCOSUR serán apoyadas dentro del marco del Proyecto en la forma de costo compartido mientras que estas tengan el concepto común del Proyecto y que estén aprobadas como proyectos piloto del mismo. La pauta sobre el compartimiento de costo se definirá en la etapa inicial del Proyecto basándose en las propuestas de los proyectos piloto coordinados.

6-4. Actividades coordinadas del sector privado

Las actividades de las entidades privadas serán apoyadas de manera indirecta como el servicio de asesoramiento y la capacitación mientras que estas tengan concepto común del Proyecto.



## 7. Período del Proyecto

El período del Proyecto será de tres años.

## 8. Segunda fase del Proyecto

- (1) Se tomará en consideración la implementación de la segunda fase del Proyecto, conforme a los resultados de la Fase I. La debida recomendación se hará a los respectivos gobiernos una vez acordada la continuidad del Proyecto en reconocimiento a los resultados exitosos del Proyecto Fase I.
- (2) La decisión sobre la segunda fase será tomada por los gobiernos respectivos.
- (3) La revisión y la formulación del alcance de la segunda fase del Proyecto realizadas de manera a no perjudicar la continuidad del Proyecto.

## II. Administración del Proyecto

### 1. Marco Administrativo del Proyecto

- (1) El Proyecto será administrado por el Grupo RET Ad-hoc. El Grupo tomará decisiones sobre los asuntos de planificación, implementación y evaluación del Proyecto.
- (2) El coordinador del Grupo RET Ad-hoc tendrá a su cargo toda la responsabilidad administrativa del Proyecto como Coordinador General del Proyecto a través de consultas con otros miembros de Grupo RET Ad-hoc como Coordinadores del Proyecto.
- (3) JICA proporcionará servicios para las actividades en base a los acuerdos que se formulan en el Grupo Ad-hoc a través del Coordinador General del Proyecto.

### 2. Oficina Administrativa del Proyecto

#### 2-1. Oficina en MERCOSUR

- (1) La Oficina Administrativa del Proyecto (de aquí en adelante, denominado "PMO") será establecida como Oficina de Promoción Turística del MERCOSUR bajo el Grupo RET Ad-hoc a fin de planificar, implementar y evaluar las actividades del Proyecto.
- (2) PMO se establecerá inicialmente en el recinto del Ministerio de Turismo de la República Oriental del Uruguay y será administrada por el Coordinador General del Proyecto.
- (3) Un experto de JICA será asignado en PMO para facilitar las actividades en el MERCOSUR.
- (4) MERCOSUR definirá el estatus y la función de la Oficina de Promoción Turística del MERCOSUR durante el curso del Proyecto y la institucionalizará dentro de la estructura del MERCOSUR.

#### 2-2. Oficina en Japón

- (1) Una oficina en el area de PMO se establecerá en Japón para implementar las actividades del Proyecto en Japón. (de aquí en adelante, denominado "JPMO")



- (2) El jefe de JPMO será asignado por MERCOSUR con el consentimiento de JICA.
- (3) JMPO planificará e implementará las actividades en Japón bajo la dirección de PMO, mientras tendrá poder decisivo sobre las actividades que no requieren aprobación previa de PMO para asegurar la eficiencia y efectividad. El alcance de estas actividades se definirá en la etapa inicial del Proyecto.
- (4) El jefe de JPMO pedirá asesoramiento a las embajadas de los países miembros del MERCOSUR en caso necesario.

### 3. Comité Directivo del Proyecto

- (1) El Comité Directivo del Proyecto será establecido para monitorear y evaluar el Proyecto. La revisión del Marco del Proyecto deberá ser aprobado en el Comité.
- (2) El Comité Directivo del Proyecto se reunirá por lo menos una vez al año para monitorear y evaluar el plan anual de operación. También, se reúne en cualquier momento si ambas partes acuerdan.
- (3) Los miembros del Comité están listados en Anexo IV.

### 4. Comité de Apoyo al Proyecto

- (1) El Comité de Apoyo al Proyecto será establecido en los países miembros del MERCOSUR y Japón con el fin de facilitar la coordinación entre el sector público y privado en cada país.
- (2) El Comité de Apoyo al Proyecto coordinará la participación de las entidades privadas en las actividades del Proyecto y aconsejará a cada organización de implementación, o JPMO en caso de Japón, sobre los asuntos de coordinación entre el sector público y privado a fin de recoger las opiniones de los sectores privados de cada país.
- (3) Los términos y las condiciones del Comité se definirán por cada país en la etapa inicial del Proyecto.

## III. Medidas a ser tomadas por ambas partes

### 1. Medidas a ser tomadas por Japón

#### 1-1. Prestación de los servicios de expertos japoneses

- (1) Un experto a largo plazo será asignado a PMO como asesor en la promoción turística para facilitar las actividades del Proyecto.
- (2) Los expertos a corto plazo serán colocados en las áreas de desarrollo de productos, marketing del turismo, desarrollo de los recursos humanos y otros en caso necesario. El número y términos de referencia (TOR) se completarán en la etapa inicial del Proyecto.

#### 1-2. Creación de las oportunidades de exposición y capacitación

- (1) Las personas claves del MERCOSUR serán provistos de las oportunidades de exposición y de participación en las actividades piloto en Japón dentro del marco de los programas de capacitación de JICA.

- (2) El número y el área de exposición y de capacitación en Japón serán definidos en la etapa preparatoria del plan anual de operación.
- (3) Se tomará en consideración la realización de los programas en el tercer país en caso necesario.

#### 1-3. Prestación de los servicios para las actividades en MERCOSUR

Los servicios necesarios para las actividades en MERCOSUR descritos en la sección I-5 serán prestados en base a los acuerdos entre PMO y JICA con la propuesta del anterior.

#### 1-4. Prestación de los servicios para las actividades en Japón

Los servicios necesarios para las actividades en Japón descritos en la sección I-5 serán prestados en base a los acuerdos entre PMO o JPMO y JICA con la propuesta del anterior.

#### 1-5. Asignación de los voluntarios

Los voluntarios de JICA podrán ser asignados en los sectores turísticos de Argentina, Paraguay y Uruguay en base a la solicitud de los gobiernos respectivos. Ambas partes acordaron tomar medidas necesarias para asegurar la coordinación estrecha entre el Proyecto y los voluntarios en el caso de que ellos sean asignados.

### 2. Medidas a ser tomadas por MERCOSUR

#### 2-1. Asignación de las personas claves

MERCOSUR asignará a las personas claves para el Proyecto y hará esfuerzos para mantenerlas durante el curso del mismo con el fin de mejorar la efectividad del Proyecto.

#### 2-2. Establecimiento de PMO

MERCOSUR asegurará el ambiente apropiado de trabajo con un espacio de oficina equipada y las expensas corrientes.

#### 2-3. Facilitación de informaciones sobre los recursos turísticos y los productos

MERCOSUR facilitará informaciones sobre los recursos turísticos y los productos que serán utilizados en las actividades de marketing y desarrollo de los mismos.

#### 2-4. Provisión del presupuesto para las actividades de costo-compartido

MERCOSUR proveerá el presupuesto para las actividades que serán llevadas a cabo en forma de costo-compartido.

#### 2-5. Expensas corrientes

MERCOSUR cubrirá las expensas corrientes como los gastos de viaje para la administración del Proyecto.

Anexo I : Matriz de Diseño del Proyecto

Anexo II: Plan de Operación

Anexo III: Organigrama del Proyecto

Anexo IV: Listado de Miembros del Comité Directivo



## ANEXO I. Matriz de Diseño del Proyecto

### Título del Proyecto: El Proyecto de Promoción Turística del MERCOSUR -FASE 1-

Sumario Narrativo	Indicador Objetivamente verificable	Fuentes de Verificación	Asuntos Importantes
<b>Objetivo Superior</b> (1) Fortalecimiento de la colaboración regional del sector turístico entre los países miembros del MERCOSUR. (2) Fortalecimiento de la colaboración bilateral del sector turístico entre los países miembros del MERCOSUR y Japón.	(1) Implementación de las actividades conjuntas de promoción turística para otros países. (2) Aumento en el número de turistas japoneses al MERCOSUR.		
<b>Objetivo del Proyecto</b> (1) Institucionalizar la colaboración regional del sector turístico entre los Estados Partes del MERCOSUR y fortalecer la capacidad colectiva en la promoción turística. (2) Establecer la base del MERCOSUR en el mercado turístico japonés y desarrollar un modelo de la promoción turística para los nuevos mercados.	(1) Aprobación de la Oficina de Promoción Turística del MERCOSUR como un instituto oficial y disposición del presupuesto necesario para la operación de la oficina por parte de los Estados Partes. (2) Aprobación de lineamientos como modelos para promoción turística para los mercados emergentes.	Informe de PMO.	(1) La situación económica no cambia drásticamente (2) No ocurren los accidentes e incidentes de mayor escala que afecten a los turistas japoneses.
<b>Output</b> 1. Se fortalece el marco de colaboración regional en el sector turístico.	(1) Plan de la Oficina de Promoción Turística tanto en MERCOSUR como en Japón. (2) El número de reuniones del Comité de Apoyo	Informe de PMO.	
2. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en la planificación turística.	(1) Informe del análisis del mercado (2) Plan Maestro de la promoción turística	Informe de PMO.	
3. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en el marketing turístico.	(1) Aumento en el número de personas accedidas (2) Un lineamiento y manuales para marketing	Informe de PMO. Acceso a la Página Web. Estudio del mercado.	

<p>4. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en el desarrollo de productos.</p> <p>5. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en el desarrollo de los recursos humanos.</p>	<p>(1) Aumento en el número de productos desarrollados.</p> <p>(2) Un lineamiento y manuales para el desarrollo de productos.</p> <p>(1) Mantenimiento de la red de personas claves.</p> <p>(2) El número de personas atendidas a los talleres por parte de asesores japoneses.</p>	<p>Informe de PMO.</p> <p>Informe de mercado.</p> <p>Informe de PMO.</p>	
<p><b>Activities</b></p> <p>1. Se fortalece el marco de colaboración regional en el sector turístico.</p> <p>(1) Establecimiento piloto de la Oficina de Promoción Turística del MERCOSUR.</p> <p>(2) Fortalecimiento de la coordinación en la política entre los Estados Partes del MERCOSUR.</p> <p>2. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en la planificación turística.</p> <p>(1) Estudio y análisis del mercado japonés.</p> <p>(2) Redacción del plan maestro de la promoción turística para el mercado japonés.</p> <p>3. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en el marketing turístico.</p> <p>(1) Implementación piloto de las actividades de marketing.</p> <p>(2) Desarrollo piloto de los materiales y medios de marketing turístico.</p>	<p>Inputs</p> <p>&lt;la Parte del MERCOSUR&gt;</p> <p>1. Asignación del personal clave.</p> <p>2. Establecimiento de PMO.</p> <p>3. Facilitación de informaciones y datos disponibles.</p> <p>4. Provisión del presupuesto para las actividades de costo compartido.</p> <p>5. Provisión de fondos para los gastos corrientes.</p> <p>&lt;la Parte Japonesa&gt;</p> <p>1. Prestación del servicio de expertos japoneses.</p> <p>2. Creación de oportunidades de exposición y capacitación.</p> <p>3. Prestación del servicio para las actividades en MERCOSUR.</p> <p>4. Prestación del servicio para las actividades en Japón.</p>		

<p>4. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en el desarrollo de productos</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) Desarrollo piloto de los productos turísticos del MERCOSUR.</li><li>(2) Facilitación al desarrollo de los productos turísticos por el sector privado.</li></ul> <p>5. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en el desarrollo de los recursos humanos.</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) Desarrollo de capacidad de las personas claves del sector turístico del MERCOSUR.</li><li>(2) Facilitación al desarrollo de capacidad del personal de servicio.</li></ul>			
---	--	--	--

## ANEXO II. PLAN DE OPERACIÓN

### 1. Se fortalece el marco de colaboración regional en el sector turístico.

Se fortalecerá el marco institucional de colaboración regional entre los países miembros del MERCOSUR a través de las actividades descritas abajo. Los inputs de las actividades incluyen entre otros los personales y servicios que se requieren para la operación de las oficinas. Los outputs de las actividades serán medidos con los indicadores tales como la formalización de las oficinas y sus planes sustentables de operación, los cuales serán definidos en los primeros tres meses del Proyecto.

#### (1) Establecimiento piloto de la Oficina de Promoción Turística del MERCOSUR

- a. Establecer y administrar la Oficina bajo la dirección del Grupo RET Ad-hoc.
- b. Establecer y administrar la oficina sucursal en Japón.
- c. Facilitar a los sectores privados de cada país la formación de los comités para el Proyecto.
- d. Facilitar el dialogo entre los sectores privados del MERCOSUR y Japón.

#### (2) Fortalecimiento de la coordinación en la política entre los Estados Partes del MERCOSUR.

- a. Realizar seminarios/talleres en materias relativas de RET.

### 2. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en la planificación del turismo.

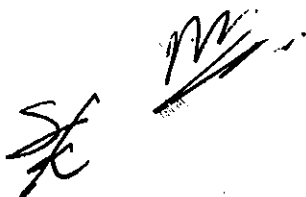
Se fortalecerá la capacidad de los Estados Partes del MERCOSUR en analizar conjuntamente los mercados emergentes y formular las estrategias a través de las actividades descritas abajo. Los inputs de las actividades incluyen entre otros los servicios que se requieren el estudio y la evaluación. Los outputs de las actividades serán medidos con los indicadores tales como la calidad del plan maestro y la propuesta para la segunda fase del Proyecto, los cuales serán definidos en los primeros tres meses del Proyecto.

#### (1) Estudio y análisis del mercado japonés

- a. Realizar estudios sobre los aspectos de demanda en el mercado japonés como opiniones de los consumidores acerca del MERCOSUR y los puntos de su interés especial.
- b. Realizar estudios sobre los aspectos de oferta en el mercado japonés como los productos circulantes, perfiles de los agentes y los destinos potencialmente competitivos.

#### (2) Redacción del plan maestro de promoción turística para el mercado japonés.

- a. Formular el concepto de los productos turísticos del MERCOSUR.
- b. Formular las estrategias y los planes de promoción turística. Ej.) desarrollo de productos, marketing y movilización de los recursos.
- c. Evaluar el desarrollo del Proyecto



- d. Redactar el plan maestro de promoción turística para el mercado japonés en base a los resultados obtenidos en el Proyecto.
- e. Formular la propuesta de la segunda fase del Proyecto para consolidar los resultados del Proyecto.

**3. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en el marketing del turismo.**

Se fortalecerá la capacidad de los Estados Partes y de los sectores privados del MERCOSUR en planificar e implementar las actividades de marketing del turismo a través de las actividades tanto conjuntas como paralelas descritas abajo. Los inputs de las actividades incluyen entre otros los servicios que se requieren los eventos de marketing y producción de materiales entre otros. Los outputs de las actividades serán medidos con los indicadores tales como la calidad de las directrices preparadas y el número de personas de acceso, los cuales serán definidos en los primeros tres meses del Proyecto.

**(1) Implementación piloto de las actividades de marketing**

- a. Participar en la Feria de Turismo JATA
- b. Organizar los eventos promocionales y seminarios dirigidos a varios segmentos como entidades privadas, gobiernos locales, institutos educativos y consumidores.
- c. Realizar las actividades publicitarias dirigidas a los medios informativos.
- d. Realizar FAM tour para las entidades privadas y los medios informativos.
- e. Facilitar las actividades de marketing de las entidades privadas del MERCOSUR y del Japón.
- f. Preparar directrices y manual para marketing turístico en Japón.

**(2) Desarrollo piloto de los materiales y medios de marketing turístico.**

- a. Administrar la Página Web del MERCOSUR
- b. Elaborar varios materiales de promoción incluyendo "Sales tools".

**4. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en el desarrollo de productos.**

Se fortalecerá la capacidad de los Estados Partes y de los sectores privados del MERCOSUR en desarrollar los productos turísticos a través de las actividades tanto conjuntas como paralelas descritas abajo. Los inputs de las actividades incluyen entre otros el intercambio de los profesionales de ambas partes, los servicios necesarios para planificación, elaboración de los materiales, etc. Los outputs de las actividades serán medidos con los indicadores tales como la calidad de las directrices para el desarrollo de productos y el número de los productos desarrollados, los cuales serán definidos en los primeros tres meses del Proyecto.

**(1) Desarrollo piloto de los productos turísticos del MERCOSUR.**

- a. Formular el concepto de los productos turísticos a ser desarrollados conjuntamente por los países miembros.



- b. Compilar las informaciones relevantes sobre los recursos y productos existentes en los países miembros.
- c. Formular e implementar los proyectos pilotos para luego desarrollar “los productos turísticos conjuntos del MERCOSUR” desde puntos de vista tanto a corto plazo como a mediano-largo plazo.
- d. Formular e implementar los proyectos piloto nacionales para luego desarrollar “los productos bilaterales coordinados del turismo” conforme al concepto acordado, a fin de elevar el valor de los productos existentes y crear nuevos productos para el mercado japonés.
- e. Preparar las directrices sobre el desarrollo conjunto de productos entre los Estados Partes del MERCOSUR.

(2) Facilitación al desarrollo de los productos turísticos por el sector privado.

- a. Facilitar a las entidades privadas para desarrollar sus productos.
- b. Preparar las directrices del gobierno para apoyar al sector privado en el desarrollo de los productos para los mercados emergentes.

**5. Se fortalece la capacidad del MERCOSUR en el desarrollo de los recursos humanos turísticos.**

Se fortalecerá la capacidad de los recursos humanos en el sector turístico del MERCOSUR a través de las actividades descritas abajo. Los inputs de las actividades incluyen entre otros los programas de exposición en Japón y los programas de capacitación en MERCOSUR. Los outputs de las actividades serán medidos con los indicadores tales como la red que se mantiene por las personas claves y el número de personas capacitadas con suficiente conocimientos y técnica, los cuales serán definidos en los primeros tres meses del Proyecto.

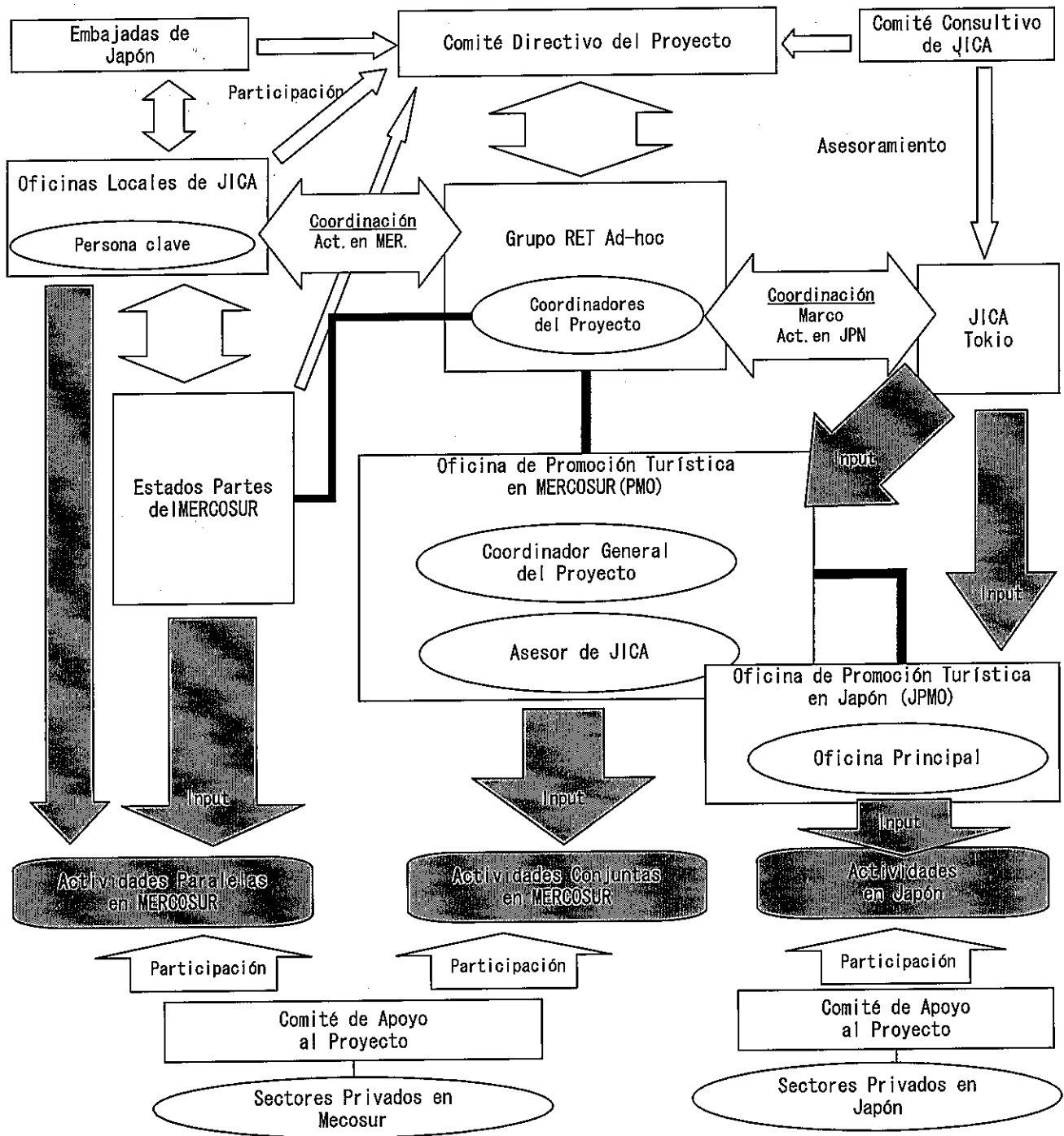
(1) Desarrollo de capacidad de las personas claves del sector turístico del MERCOSUR.

- a. Proveer a las personas claves de las oportunidades de exposición para captar los problemas reales y encontrar soluciones.
- b. Proveer a las personas claves de las oportunidades de actividades piloto para convertir sus conocimientos adquiridos en la capacidad de practicar.

(2) Facilitación al desarrollo de capacidad del personal de servicio.

- a. Juzgar la necesidad de capacitar al personal de servicio en los sectores público y privado del MERCOSUR.
- b. Implementar los cursos de capacitación del personal de servicio en MERCOSUR.

**ANEXO III : Organigrama del Proyecto de Promoción Turística del MERCOSUR -FASE I -**



*SK* *ML*

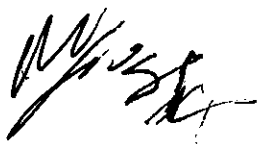
## ANEXO IV: LISTADO DE MIEMBROS DEL COMITÉ DIRECTIVO

### 1. La Parte del MERCOSUR

- 1) Miembros de RET, MERCOSUR
- 2) Miembros de Grupo RET Ad-hoc, MERCOSUR

### 2. La Parte Japonesa

- 1) Representantes de las Embajadas de Japón en MERCOSUR
- 2) Representantes de las Oficinas de JICA en MERCOSUR
- 3) Representantes del Comité Consultivo de JICA

A handwritten signature in black ink, appearing to be a stylized name or set of initials, located in the lower-left quadrant of the page.




**RECORD OF DISCUSSIONS**  
**BETWEEN**  
**JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY**  
**AND**  
**AUTHORITIES CONCERNED OF THE FEDERATIVE REPUBLIC OF BRAZIL**  
**ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION**  
**FOR THE MERCOSUR TOURISM PROMOTION PROJECT – PHASE I**

Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) through Coordinator for Technical Cooperation of Japan in Brazil exchanged views and had a series of discussions with the Brazilian authorities concerned on desirable measures to be taken by JICA and Brazilian Governments for successful implementation of the Mercosur Tourism Promotion Project – Phase I in the Federative Republic of Brazil.

As a result of the discussions, and in accordance with the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Federative Republic of Brazil signed in the Federative Republic of Brazil, effective from July 15<sup>th</sup>, 1971(hereinafter referred to as “the Agreement”), the Coordinator for Technical Cooperation of Japan in Brazil and the Brazilian authorities concerned agreed the matters referred to in the document attached hereto.

Brasilia, November 23th, 2004

  
\_\_\_\_\_  
Mr. Hyogen Komatsu  
Coordinator for Technical Cooperation of Japan  
in Brazil  
Japan International Cooperation Agency

  
\_\_\_\_\_  
Ambassador Lauro Barbosa da Silva Moreira  
Director  
Brazilian Cooperation Agency  
Federative Republic of Brazil

  
\_\_\_\_\_  
Mr. Walfrido S. dos Mares Guia Neto  
Minister  
Ministry of Tourism  
Federative Republic of Brazil

## THE ATTACHED DOCUMENT

### I. COOPERATION BETWEEN JICA AND THE GOVERNMENT OF THE FEDERATIVE REPUBLIC OF BRAZIL

1. The Government of the Federative Republic of Brazil will implement the MERCOSUR TOURISM PROMOTION PROJECT PHASE I (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Project Framework as given in Annex I.

### II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the Agreement, JICA will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

#### 1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of Japanese experts.

The provision of Article IV-(1) of the Agreement will be applied to the above-mentioned experts.

#### 2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project. The provision of Article IX-(I) of the Agreement will be applied to the Equipment.

#### 3. TRAINING OF BRAZILIAN PERSONNEL IN JAPAN

JICA will receive Brazilian personnel connected with the Project for technical training in Japan. The provision of Article III-(I) of the Agreement will be applied to the Training.

### III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENTS OF THE FEDERATIVE REPUBLIC OF BRAZIL

1. In accordance with the laws and regulations in force in Brazil, the Government of the Federative Republic of Brazil will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical

cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.

2. In accordance with the provisions of Article IV of the Agreement, the Government of the Federative Republic of Brazil will ensure that the technologies and knowledge acquired by Brazilian nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Federative Republic of Brazil .
3. In accordance with the provisions of Articles V, VI and VIII of the Agreement, The Government of the Federative Republic of Brazil will grant in Federative Republic of Brazil privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts and their families.
4. In accordance with the provisions of Article IX of the Agreement, the Government of the Federative Republic of Brazil will take the measures necessary to receive and use the Equipment provided by JICA and equipment, machinery and materials carried in by the Japanese experts referred to in II - 1 above.
5. The Government of the Federative Republic of Brazil will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Brazilian personnel from technical training in Japan or the Federative Republic of Brazil will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the provisions of Article V-(1)-(ii) of the Agreement, The Government of the Federative Republic of Brazil will provide the services of Brazilian counterpart personnel and administrative personnel.
7. In accordance with the provisions of Article V-(1)-(i) of the Agreement, The Government of the Federative Republic of Brazil will provide the buildings and facilities.
8. In accordance with the laws and regulations in force in the Federative Republic of Brazil , the Government of the Federative Republic of Brazil will take necessary measures to supply or replace at its own expense machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project .
9. In accordance with the laws and regulations in force in the Federative Republic of Brazil , the Government of the Federative Republic of Brazil will take necessary measures to meet the running expenses necessary for the implementation of the Project.

#### IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Coordinator of the RET ad-hoc group, as the Project General Coordinator, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project in consultation with RET ad-hoc as the Project Coordinators.
2. The Project Management Office will be established to coordinate implementation on both the Japanese and MERCOSUR sides.
3. The Japanese long-term experts are to give necessary advice to the Project Coordinator and the Project General Coordinator.
4. The Steering Committee will be established for supervising and evaluating the Project. The members of the Steering Committee are listed in the attached ANNEX II.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation in collaboration with the private sector and the public sector, Project Supporting Committees for the Project will be established on both the Japanese and MERCOSUR sides.

#### V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by JICA and the MERCOSUR State Parties' authorities concerned, during the last six months of the cooperation term, in order to assess the level of achievement.

#### VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

In accordance with the provisions of the Article VII of the Agreement, The Government of the Federative Republic of Brazil undertake to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Federative Republic of Brazil except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

## VII. MUTUAL CONSULTATION

JICA and Brazilian government shall mutually discuss any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

## VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of the Federative Republic of Brazil , the Government of the Federative Republic of Brazil will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of the Federative Republic of Brazil .

## IX. PERIOD OF COOPERATION

The period of the technical cooperation for the Project under this Attached Document is three (3) years from the date of the commencement of the Project.

ANNEX I      Project Framework

ANNEX II     List of Members of the Project Steering Committee

## ANNEX I

### Project Framework

#### ■ Name of the Project

The MERCOSUR Tourism Promotion Project Phase 1

#### ■ Term of the Project

Three years

#### ■ Overall Goals

- 1) Enhanced regional collaboration in the tourism sector in MERCOSUR
- 2) Enhanced bilateral collaboration between member countries of MERCOSUR and Japan in the tourism sector

#### ■ Project Objectives

- 1) To institutionalize regional collaboration in the tourism sector among MERCOSUR state parties and enhance collective capacities for tourism promotion
- 2) To establish a bridgehead of MERCOSUR in the Japanese tourism market and develop model cases for tourism promotion in a new markets

#### ■ Outputs

- 1) Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector
- 2) Enhanced capacities of MERCOSUR state parties for tourism planning
- 3) Enhanced capacities of MERCOSUR state parties for tourism marketing
- 4) Enhanced capacities of MERCOSUR state parties for tourism products development
- 5) Enhanced capacities of MERCOSUR state parties for tourism human resources development

#### ■ Activities

- 1) Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector
  - 1-1) Set up and operate the MERCOSUR Tourism Promotion Office on a pilot basis
  - 1-2) Facilitate coordination among MERCOSUR state parties in the tourism sector
- 2) Enhanced capacities for tourism planning

- 2-1) Conduct market surveys in Japan
- 2-2) Formulate the master plan for tourism promotion in Japan
- 2-3) Evaluate progress of the master plan and formulate the scope of the second phase of the project
  
- 3) Enhanced capacities for tourism marketing
  - 3-1) Conduct pilot promotion activities in Japan
  - 3-2) Develop materials and media for tourism promotion in Japan
  
- 4) Enhanced capacities for tourism products development
  - 4-1) Develop regional and local tourism products
  - 4-2) Facilitate development of tourism products and their resources by private sectors
  
- 5) Enhanced capacities for tourism human resources development
  - 5-1) Develop capacities of focal human resources in tourism promotion
  - 5-2) Facilitate development of human resources by private sectors

**ANNEX II List of Members of the Project Steering Committee**

**1. The MERCOSUR side**

- 1) Members of RET, MERCOSUR**
- 2) Members of RET Ad-hoc Group, MERCOSUR**

**2. The Japanese side**

- 1) Representatives of the Embassies of Japan in MERCOSUR**
- 2) Representatives of JICA Offices in MERCOSUR**
- 3) Representatives of JICA Advisory Committee**



MINUTES OF MEETINGS  
BETWEEN  
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY  
AND  
THE AUTHORITIES CONCERNED OF  
FEDERATIVE REPUBLIC OF BRAZIL  
ON  
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR  
MERCOSUR TOURISM PROMOTION PROJECT PHASE 1

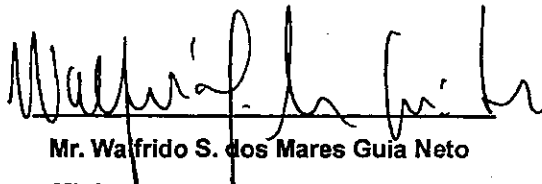
Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as JICA ) and Brazilian Government authorities concerned signed the Record of Discussions (hereinafter referred to as the R/D ) on technical cooperation project MERCOSUR Tourism Promotion Project phase 1 (hereinafter referred to as the Project ) after mutual consultations.

In order to compliment the R/D, contents consented by both sides are recorded as document attached hereto.

Done in duplicate in Portuguese and English languages, each text shall be equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Brasilia, November 23th, 2004

  
\_\_\_\_\_  
**Mr. Hyogen Komatsu**  
**Coordinator for Technical Cooperation**  
**of Japan in Brazil**  
**Japan International Cooperation Agency**

  
\_\_\_\_\_  
**Mr. Walfrido S. dos Mares Guia Neto**  
**Minister**  
**Ministry of Tourism**  
**Federative Republic of Brazil**

## **THE ATTACHED DOCUMENT**

### **I . Framework of the Project**

#### **1. Title of the Project**

MERCOSUR Tourism Promotion Project Phase1

#### **2. Implementing Organizations**

The Implementing Organizations of the Project are the following organizations of MERCOSUR state parties.

- The Argentine Republic: National Secretariat of Tourism
- The Federal Republic of Brazil: Ministry of Tourism/EMBRATUR
- The Republic of Paraguay: National Secretariat of Tourism
- The Oriental Republic of Uruguay: Ministry of Tourism

#### **3. Overall Goals**

- (1) Enhanced regional collaboration in the tourism sector among the member countries of MECOSUR.
- (2) Enhanced bilateral collaboration in the tourism sector between the member countries of MERCOSUR and Japan.

#### **4. Project Objectives**

- (1) To institutionalize regional collaboration in the tourism sector among the MERCOSUR state parties and enhance collective capacity for tourism promotion.
- (2) To establish a bridge-head of MERCOSUR in the Japanese tourism market and develop a model of tourism promotion in new markets.

## **5. Outputs and Activities**

### 5-1. Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector

- (1) Establishment of MERCOSUR Tourism Promotion Office on a pilot basis.
- (2) Enhancement of policy coordination among state parties of MERCOSUR.

### 5-2. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism planning

- (1) Survey and analysis on the Japanese market.
- (2) Formulation of a master-plan of tourism promotion for the Japanese market.

### 5-3. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism marketing

- (1) Implementation of marketing activities on a pilot basis.
- (2) Development of materials and media for tourism marketing on a pilot basis.

### 5-4. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism product development

- (1) Development of MERCOSUR tourism products on a pilot basis.
- (2) Facilitation of tourism products development by private sectors

### 5-5. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism human resource development

- (1) Capacity development of focal persons of MERCOSUR tourism sector.
- (2) Facilitation of capacity development of service personnel.

## **6. Modes of Activities**

### 6-1. Principles

- (1) The activities of the Project described above are to be planned and implemented by implementing organizations of MERCOSUR with their ownership. JICA shall support the activities as a facilitator and a catalyser with various forms of services required for activities, while MERCOSUR state parties shall bear administrative expenses as well as shared expenses of activities.
- (2) The activities in Japan shall be conducted by focal persons of MERCOSUR within the framework of the training program of JICA.
- (3) A particular consideration shall be given by both MERCOSUR state parties and JICA to the importance of public-private partnership in tourism promotion. Private

sectors of MERCOSUR and Japan shall be encouraged to participate actively in the Project.

#### 6-2. Joint activities of MERCOSUR state parties

- (1) Those activities which shall be jointly planned and implemented by member countries based on common concepts are to be given a priority in the Project over coordinated parallel activities described below.
- (2) Joint activities shall not necessarily involve all the member countries.
- (3) Joint activities shall be planned and implemented by the MERCOSUR Tourism Promotion Office with due approval process mentioned in section II below.

#### 6-3. Coordinated parallel activities of MERCOSUR state parties

Activities of MERCOSUR state parties, which shall be planned and implemented independently, are to be supported by the Project on a cost-sharing basis on condition that they are related to concepts of the Project and approved as pilot projects of the Project. A guideline for the cost-sharing scheme shall be worked at the initial stage of the project based on proposals for the coordinated pilot projects.

#### 6-4. Coordinated activities of private sectors

Activities of private entities shall be supported by such indirect means as advisory service and training on condition that they are in line with agreed concepts of the Project.

### **7. Term of the Project**

The term of the Project shall be three years.

### **8. Second Phase of the Project**

- (1) The second phase of the Project shall be considered for implementation and due recommendation shall be made to the respective governments if it should be required to sustain outcomes of the Project, on condition that the both sides should find the outcomes achieved successfully in the Project.
- (2) The decision on the second phase shall be made by the respective governments.
- (3) Review and formulation of the scope of the second phase of the Project shall be conducted so as not to disrupt continuity of the Project.

## **II. Administration of the Project**

### **1. Project Management Framework**

- (1) The Project shall be managed by the RET Ad-hoc Group. The Group shall make decisions on matters related to planning, implementation and evaluation of the Project.
- (2) The coordinator of the RET Ad-hoc Group shall bear overall responsibility of administration of the Project as the Project General Coordinator in consultation with other members of the RET Ad-hoc Group as Project Coordinators.
- (3) JICA shall provide services for activities based on each agreement to be made with the RET Ad-hoc Group through the Project General Coordinator.

### **2. Project Management Office**

#### **2-1. Office in MERCOSUR**

- (1) The Project Management Office (hereinafter referred to as "PMO") shall be established as the MERCOSUR Tourism Promotion Office under the RET Ad-hoc Group in order to plan, implement and evaluate activities of the Project.
- (2) PMO shall be initially set up inside premise of Ministry of Tourism, Oriental Republic of Uruguay and administered by the Project General Coordinator.
- (3) An expert of JICA shall be posted in PMO in order to facilitate the activities in MERCOSUR.
- (4) MERCOSUR side shall define the status and functions of the MERCOSUR Tourism Promotion Office during the course of the Project so as to institutionalize it within the framework of MERCOSUR.

#### **2-2. Office in Japan**

- (1) A field office of PMO shall be set up in Japan in order to implement activities of the Project in Japan (hereinafter referred to as "JPMO").
- (2) The head of the JPMO shall be posted by MERCOSUR with consent of JICA.
- (3) The JPMO shall plan and implement activities in Japan under direction of PMO while it shall be given discretionary power over those activities which should not necessarily require prior approval of PMO in terms of efficiency and effectiveness. Scope of those activities shall be defined at the initial stage of the Project

- (4) The head of JPMO shall ask advice of Embassies of MERCOSUR member countries in case of necessity.

### **3. Project Steering Committee**

- (1) Project Steering Committee shall be set up for monitoring and evaluation of the Project. Revision of the Project Framework should be approved by the Committee.
- (2) Project Steering Committee shall be held at least once a year to monitor and evaluate an annual operational plan. It also shall be held whenever both sides agree.
- (3) The members of the Committee are listed in ANNEX IV.

### **4. Project Support Committee**

- (1) Project Support Committees shall be set up in the MERCOSUR member countries and Japan with a view to facilitating public-private partnership in each country.
- (2) Project Support Committees shall coordinate participation of private entities in the activities of the Project and advice each implementing organization, or JPMO in case of Japan, on matters related to public-private partnership by drawing together opinions of the private sectors of each country.
- (3) Terms and conditions of the Committees shall be set by each country at the initial stage of the Project.

## **III. Measures to be taken by both sides**

### **1. Measures to be taken by the Japanese side**

#### **1-1. Provision of services of Japanese experts**

- (1) A long term expert shall be assigned to PMO as a tourism promotion adviser to facilitate the activities of the Project
- (2) Short term experts shall be dispatched in areas of tourism product development, tourism marketing and tourism human resource development and others if necessary. The numbers and terms of reference (TOR) shall be finalized at the initial stage of the Project.

### 1-2. Provision of opportunities for exposure and training

- (1) Focal persons of MERCOSUR shall be provided with opportunities of exposure and participate in pilot activities to be conducted in Japan within the framework of the training program of JICA.
- (2) The numbers and fields of exposure and training in Japan shall be worked out in preparatory stages of annual operational plans.
- (3) Programs in third countries shall be considered for implementation in case of necessity.

### 1-3. Provision of services for activities in MERCOSUR

Necessary services for activities in MERCOSUR described in section I -5 shall be provided based on agreements to be made between PMO and JICA upon proposals of the former.

### 1-4. Provision of services for activities in Japan

Necessary services for activities in Japan described in section I -5 shall be provided based on agreements to be made between PMO or JPMO and JICA upon proposals of the former.

### 1-5. Assignment of volunteers

JICA volunteers might be assigned to Argentine, Paraguay and Uruguay in tourism sector upon requests of respective governments. Both sides agreed to take necessary measures to secure close coordination between the Project and those volunteers if they should be assigned.

## **2. Measures to be taken by the MERCOSUR side**

### 2-1. Assignment of focal personnel

The MERCOSUR side shall assign focal persons of the Project and make due efforts to keep them during the course of the Project so as to enhance effectiveness of the Project.

### 2-2. Establishment of PMO

The MERCOSUR side shall secure an appropriate business environment with office space equipped with furniture and recurrent expenditures.

2-3. Provision of information on tourism resources and products

The MERCOSUR side shall provide information on tourism resources and products which are utilized for activities of marketing and product development .

2-4. Provision of counter-budget for cost-sharing activities

The MERCOSUR side shall provide counter-budget for activities which are to be conducted on a cost-sharing basis.

2-5. Recurrent expenditures

The MERCOSUR side shall bear the cost of recurrent items such as traveling expenses for management of the Project.

Annex I : Project Design Matrix

Annex II : Plan of Operation

Annex III : Organization Chart

Annex IV : List of Members of Steering Committee



## ANNEX I . Project Design Matrix

### Project Title: MERCOSUR Tourism Promotion Project Phase 1

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicator	Means of Verification	Important Assumption
<p><b>Overall Goal</b></p> <p>(1) Enhanced regional collaboration among member countries of MERCOSUR in the tourism sector.</p> <p>(2) Enhanced bilateral collaboration between member countries of MERCOSUR and Japan in the tourism sector.</p>	<p>(1) Implementation of joint tourism promotion activities for other countries.</p> <p>(2) Increase of the number of Japanese tourists to MERCOSUR.</p>		
<p><b>Project Purpose</b></p> <p>(1) To institutionalize regional collaboration among MERCOSUR state parties in the tourism sector and enhance collective capacity for tourism promotion</p> <p>(2) To establish a bridge-head of MERCOSUR in the Japanese tourism market and develop a model of tourism promotion in new market.</p>	<p>(1) Approval of MERCOSUR Tourism Promotion Office as an official institution and necessary budgetary arrangements for operation of the office.</p> <p>(2) Approval of guidelines as models for tourism promotion for emerging markets.</p>	<p>Reports of PMO.</p>	<p>(1) Economic situations shall not be significantly changed.</p> <p>(2) Major accidents or incidents shall not happen which affect Japanese tourists.</p>
<p><b>Outputs</b></p> <p>1. Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector</p>	<p>(1) Plan of MERCOSUR Tourism Promotion Office both in MERCOSUR and in Japan.</p> <p>(2) The number of meetings of the Support Committees.</p>	<p>Report of PMO.</p>	
<p>2. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism planning</p>	<p>(1) Report of market analysis.</p> <p>(2) Master-Plan of tourism promotion.</p>	<p>Report of PMO.</p>	
<p>3. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism marketing</p>	<p>(1) Increase in the number of persons reached.</p> <p>(2) A guideline and manuals for marketing.</p>	<p>Reports of PMO. Access to HP. Market survey.</p>	

<p>4. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism product development</p>	<p>(1) Increase in the number of products developed. (2) A guideline and manuals for product development.</p>	<p>Report of PMO. Market survey.</p>	
<p>5. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism human resource development</p>	<p>(1) Maintained network of focal persons. (2) The number of persons attended workshops by Japanese advisors.</p>	<p>Report of PMO.</p>	
<p><b>Activities</b></p> <p>1. Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector</p> <p>(1) Establishment of MERCOSUR Tourism Promotion Office on a pilot basis.</p> <p>(2) Enhancement of policy coordination among state parties of MERCOSUR.</p> <p>2. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism planning</p> <p>(1) Survey and analysis on the Japanese market.</p> <p>(2) Formulation of a master-plan of tourism promotion for the Japanese market.</p> <p>3. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism marketing</p> <p>(1) Implementation of marketing activities on a pilot basis.</p> <p>(2) Development of media and materials for tourism marketing on a pilot basis.</p>	<p><b>Inputs</b></p> <p>&lt;MERCOSUR side&gt;</p> <p>1. Assignment of focal personnel.</p> <p>2. Establishment of PMO.</p> <p>3. Provision of available information and data.</p> <p>4. Provision of counter-budget for cost-sharing activities.</p> <p>5. Provision of recurrent expenditures.</p> <p>&lt;Japan side&gt;</p> <p>1. Provision of services of Japanese experts.</p> <p>2. Provision of opportunity for exposure and training.</p> <p>3. Provision of services for activities in MERCOSUR.</p> <p>4. Provision of services for activities in Japan.</p>		

<p>4. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism product development</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) Development of MERCOSUR tourism products on a pilot basis.</li> <li>(2) Facilitation of tourism products development by private sectors.</li> </ul> <p>5. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism human resource development</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) Capacity development of focal persons of MERCOSUR tourism sector.</li> <li>(2) Facilitation of capacity development of service personnel.</li> </ul>			
---	--	--	--

## **Annex II . Plan of Operation**

### **1. Strengthened framework of regional collaboration in the tourism sector**

Institutional framework of regional collaboration among the member countries of MERCOSUR shall be strengthened through activities described below. Inputs of the activities shall include among others personnel and services required for operation of offices. The output of the activities shall be measured by such indicators as formalization of those offices and their sustainable plans of operation, which shall be finalized within three months of the commencement of the Project.

- (1) Establishment of MERCOSUR Tourism Promotion Office on a pilot basis
  - a. Set up and operate the Office under the RET Ad-hoc Group.
  - b. Set up and operate a branch office in Japan.
  - c. Facilitate private sectors in each country to set up committees for the Project.
  - d. Facilitate dialogue among private sectors in MERCOSUR and Japan.
- (2) Enhancement of policy coordination among state parties of MERCOSUR
  - a. Conduct seminars/workshops on matters related to RET.

### **2. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism planning**

Capacity of state parties of MERCOSUR to jointly analyze emerging markets and formulate strategies shall be enhanced through activities described below. Inputs of the activities shall include among others services required for surveys and evaluations. The output of the activities shall be measured by such indicators as quality of a master-plan and the proposal for the second phase of Project, which shall be finalized within three months of the commencement of the Project.

- (1) Survey and analysis on the Japanese market
  - a. Conduct surveys on the demand side elements of the Japanese market, such as opinions of consumers about MERCOSUR and their special interests.
  - b. Conduct surveys on the supply side elements of the Japanese market, such as current products, profiles of agents and potential competing destinations.

- (2) Formulation of a master-plan of tourism promotion for the Japanese market.
  - a. Formulate concepts of MERCOSUR tourism products.
  - b. Formulate a set of strategies and plans for tourism promotion, i.e. products development and their marketing as well as resource mobilization.
  - c. Evaluate performance of the Project.
  - d. Formulate a master-plan of tourism promotion for the Japanese market based on findings gained from the Project.
  - e. Formulation of a proposal for the second phase of the Project to consolidate the outcomes of the Project.

### **3. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism marketing**

Capacity of state parties and private sectors of MERCOSUR to plan and implement tourism marketing activities shall be enhanced through both joint and parallel activities described below. Inputs of the activities shall include among others services required for marketing events, production of materials and so on. The output of the activities shall be measured by such indicators as quality of developed guidelines and the number of persons reached, which shall be finalized within three months of the commencement of the Project.

#### **(1) Implementation of marketing activities on a pilot basis**

- a. Participate in JATA Travel Fair.
- b. Hold promotional events and seminars targeting at various segments such as business entities, local governments, educational institutions and consumers.
- c. Conduct publicity activities targeting at the media.
- d. Conduct FAM tours targeting at business entities and the media.
- e. Facilitate marketing activities of business entities of both MERCOSUR and Japan.
- f. Prepare a guideline and a manual for tourism marketing in Japan.

#### **(2) Development of media and materials for tourism marketing on a pilot basis**

- a. Operate MERCOSUR Tourism Web-site.
- b. Produce various promotional materials including "sales tools".

#### **4. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism product development**

Capacity of state parties and private sectors of MERCOSUR in tourism product development shall be enhanced through both joint and parallel activities described below. Inputs of the activities shall include among others exchange of professionals of both sides, services required for planning, production of materials and so on. The output of the activities shall be measured by such indicators as quality of guidelines for product development and the number of developed products, which shall be finalized within three months of the commencement of the Project.

##### **(1) Development of MERCOSUR tourism products on a pilot basis**

- a. Formulate concepts of MERCOSUR tourism product to be developed jointly by the member countries.
- b. Compile relevant information about resources and existing products in the member countries.
- c. Formulate and implement pilot projects to develop "joint MERCOSUR tourism products" from perspectives of both short term and long-medium term.
- d. Formulate and implement national pilot projects to develop "coordinated bilateral tourism products" relevant to the agreed concepts, in order to either enhance value of existing products or create new products tailored to the Japanese market.
- e. Prepare a guideline of joint product development among MERCOSUR state parties.

##### **(2) Facilitation of tourism products development by private sectors**

- a. Facilitate private entities to develop their products.
- b. Prepare a guideline of government's support to private sector in product development aimed at emerging markets.

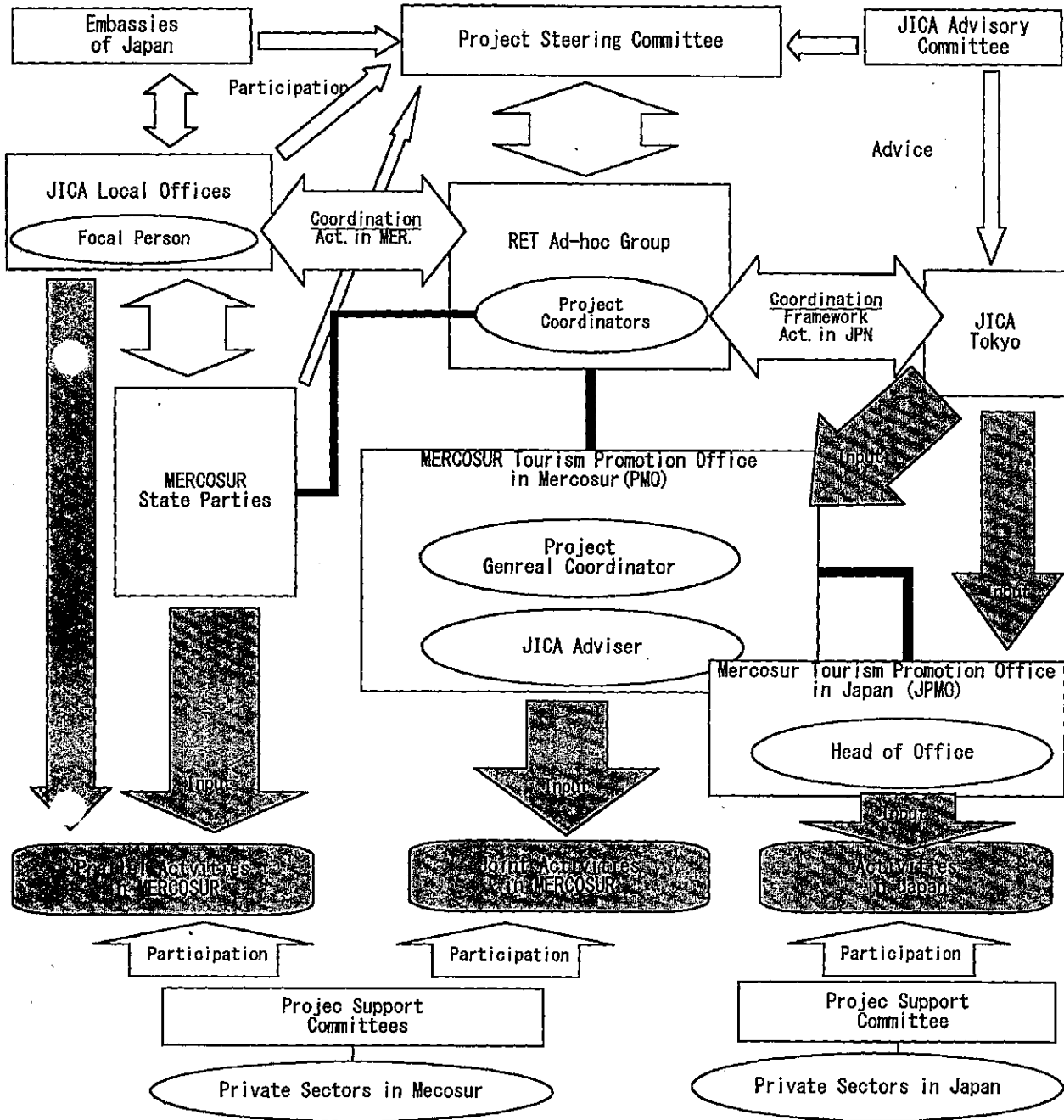
#### **5. Enhanced capacity of MERCOSUR in tourism human resource development**

Capacity of human resources in tourism sector of MERCOSUR shall be enhanced through activities described below. Inputs of the activities shall include among others exposure programs in Japan and training program in MERCOSUR. The output of the activities shall be measured by such indicators as maintained networks of focal persons and the number of persons acquired sufficient knowledge and skill, which shall be

finalized within three months of the commencement of the Project.

- (1) Capacity development of focal persons of MERCOSUR tourism sector.
  - a. Provide focal persons with opportunities of exposure to grasp real issues, create solutions to them.
  - b. Provide focal persons with opportunities of pilot activities to internalize acquired knowledge into their practical capacity.
  
- (2) Facilitation of capacity development of service personnel.
  - a. Assess needs of training for service personnel in both public and private sectors of MERCOSUR.
  - b. Implement training courses for service personnel in MERCOSUR.

**ANNEX III : Organizational Chart of Mercosur Tourism Promotion Project Phase 1**





**ANNEX.IV : List of Members of the Project Steering Committee**

**1. The MERCOSUR side**

- 1) Members of RET, MERCOSUR**
- 2) Members of RET Ad-hoc Group, MERCOSUR**

**2. The Japanese side**


- 1) Representatives of the Embassies of Japan in MERCOSUR**
- 2) Representatives of JICA Offices in MERCOSUR**
- 3) Representatives of JICA Advisory Committee**

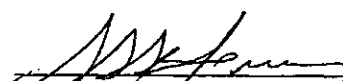
REGISTRO DE DISCUSSÕES  
ENTRE  
A AGÊNCIA DE COOPERAÇÃO INTERNACIONAL DO JAPÃO  
E  
AUTORIDADES DA REPÚBLICA FEDERATIVA DO BRASIL  
INTERESSADAS SOBRE O  
PROGRAMA DE COOPERAÇÃO TÉCNICA JAPONESA PARA O  
PROJETO DE PROMOÇÃO DO TURISMO NO MERCOSUL – FASE I

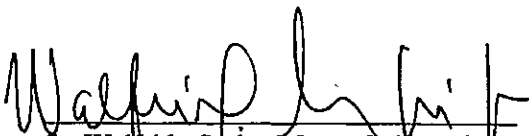
A Agência de Cooperação Internacional do Japão (doravante denominada “JICA”) através do Coordenador de Cooperação Técnica do Japão no Brasil manifestou opiniões e manteve uma série de discussões com as autoridades brasileiras interessadas no que diz respeito a medidas a serem tomadas pela JICA e pelo Governo Brasileiro para uma implementação bem sucedida do Projeto de Promoção do Turismo no Mercosul – Fase I na República Federativa do Brasil.

Como resultado das discussões, e de acordo com o previsto no Acordo Básico de Cooperação Técnica entre o Governo do Japão e o Governo da República Federativa do Brasil, assinado na República Federativa do Brasil, em vigor desde o dia 15 de julho de 1971 (doravante denominado “Acordo”) o Coordenador de Cooperação Técnica do Japão no Brasil e as Autoridades Brasileiras interessadas concordam com as medidas referidas no documento anexo.

Brasília, 23 de Novembro de 2004

  
\_\_\_\_\_  
Sr. Hyogen Komatsu  
Coordenador de Cooperação Técnica do Japão  
no Brasil  
Agência de Cooperação Internacional do Japão

  
\_\_\_\_\_  
Emb. Lauro Barbosa da Silva Moreira  
Diretor  
Agência Brasileira de Cooperação  
Ministério das Relações Exteriores  
República Federativa do Brasil

  
\_\_\_\_\_  
Sr. Walfrido S. dos Mares Guia Neto  
Ministro  
Ministério do Turismo  
República Federativa do Brasil

## DOCUMENTO ANEXO

### **I. COOPERAÇÃO ENTRE JICA E O GOVERNO DA REPÚBLICA FEDERATIVA DO BRASIL**

1. O Governo da República Federativa do Brasil implementará o PROJETO DE PROMOÇÃO DO TURISMO NO MERCOSUL – FASE I (doravante denominado “Projeto”) em cooperação com a JICA.

2. O Projeto será implementado de acordo com o Plano Diretor indicado no Anexo I.

### **II. MEDIDAS A SEREM TOMADAS PELA JICA**

De acordo com as leis e regulamentos vigentes no Japão, e a cláusula do Artigo III do Acordo, a JICA, tomará, às próprias custas, as seguintes medidas de acordo com os procedimentos normais de seu esquema de cooperação técnica.

#### **1. ENVIO DE PERITOS JAPONESES**

A JICA fornecerá os serviços de peritos japoneses. A cláusula do Artigo IV- (1) do Acordo será aplicada aos peritos acima mencionados.

#### **2. FORNECIMENTO DE MÁQUINAS E EQUIPAMENTOS**

A JICA fornecerá as máquinas, equipamento e outros materiais (doravante denominados “Equipamento”) necessários à implementação do Projeto. A cláusula do Artigo IX – (1) do Acordo será aplicada ao Equipamento.

#### **3. TREINAMENTO DE PESSOAL BRASILEIRO NO JAPÃO**

JICA receberá o pessoal brasileiro vinculado ao Projeto para treinamento técnico no Japão. A cláusula do Artigo III – (I) do Acordo será aplicada para o Treinamento.

### **III. MEDIDAS A SEREM TOMADAS PELO GOVERNO DA REPÚBLICA FEDERATIVA DO BRASIL.**

1. De acordo com as leis e regulamentos vigentes no Brasil, O Governo da República Federativa do Brasil tomará as medidas necessárias para assegurar a sustentabilidade do Projeto durante e depois do período de cooperação técnica japonesa, mediante envolvimento ativo e pleno no Projeto de todas as autoridades, grupos beneficiários e instituições.

2. De acordo com a cláusula do Artigo – IV do Acordo, O Governo da República Federativa do Brasil assegurará que as tecnologias e conhecimentos adquiridos pelos nacionais do Brasil como resultado da cooperação técnica japonesa contribuirão para o desenvolvimento econômico e social da República Federativa do Brasil.

3. De acordo com as cláusulas dos Artigos V, VI e VII do Acordo, o Governo da República Federativa do Brasil subvencionará privilégios, isenções e benefícios correspondentes para os peritos japoneses e suas famílias.

4. De acordo com a cláusula do Artigo IX do Acordo, o Governo da República Federativa do Brasil tomará as medidas necessárias para receber e usar o Equipamento fornecido pela JICA e equipamento, máquinas e materiais trazidos pelos peritos japoneses referidos no II – 1 acima.

5. O Governo da República Federativa do Brasil tomará as medidas necessárias para assegurar que o conhecimento e experiência adquiridos pelo pessoal brasileiro no treinamento técnico no Japão ou no Brasil serão utilizados, de fato, na implementação do projeto.

6. De acordo com a cláusula do Artigo V - (1) – (ii) do Acordo, O Governo da República Federativa do Brasil fornecerá os serviços de pessoal contraparte e de pessoal administrativo da República Federativa do Brasil.

7. De acordo com a cláusula do Artigo V – (1) – (i) do Acordo, O Governo da República Federativa do Brasil disponibilizará prédios e instalações.

8. De acordo com a lei e regulamentos vigentes na República Federativa do Brasil, o Governo da República Federativa do Brasil tomará as medidas necessárias para prover ou substituir, a suas custas, máquinas, equipamentos, instrumentos, veículos, ferramentas, peças de reposição e quaisquer outros materiais necessários para a implementação do Projeto.

9. De acordo com as leis e regulamentos vigentes na República Federativa do Brasil, o Governo da República Federativa do Brasil tomará as medidas necessárias para fazer frente às despesas concorrentes necessário para a implementação do Projeto.

#### **IV. ADMINISTRAÇÃO DO PROJETO**

1. O Coordenador do grupo ad-hoc RET, na qualidade de Coordenador-Geral do Projeto, é revestido de ampla responsabilidade na administração e implementação do Projeto, por meio de consultas ao Grupo ad-hoc da RET, na qualidade de Coordenadores do Projeto.

2. Será estabelecido o Escritório de Administração de Projeto para coordenar a implementação em ambos os lados, ou seja, o lado japonês e o lado do Mercosul.

3. Os peritos japoneses de longa-duração darão a necessária assessoria para o Coordenador de Projeto e o Coordenador-Geral de Projeto.

4. Será estabelecido um Comitê de Coordenação para supervisionar e avaliar o projeto. Os membros do Comitê de Coordenação estão listados no anexo II.

5. Para a efetiva e bem sucedida implementação da cooperação técnica em colaboração com o setor privado e o setor público, serão estabelecidos Comitês de Suporte do Projeto em ambos os lados, ou seja, o lado japonês e o lado do MERCOSUL.

## **V. AVALIAÇÃO CONJUNTA**

A avaliação do Projeto será conduzida conjuntamente pela JICA e as autoridades concernentes dos Estados Membros do MERCOSUL, durante os seis meses anteriores ao termo da cooperação, de modo a avaliar o grau de execução.

## **VI. REVINDICAÇÕES CONTRA OS PERITOS JAPONESES**

De acordo com a cláusula do Artigo VII do Acordo, O Governo da República Federativa do Brasil responsabilizar-se-á pelas reivindicações, caso haja, contra os peritos japoneses envolvidos na cooperação técnica para o Projeto resultantes de, ocorridas no decorrer de ou, de outra forma, vinculadas com o desempenho de suas funções na República Federativa do Brasil exceto aquelas decorrentes de ação deliberada ou grave negligência dos peritos japoneses.

## **VII. CONSULTA MÚTUA**

JICA e o Governo da República Federativa do Brasil discutirão, mutuamente, sobre qualquer questão maior, decorrente de, ou correlata a este Documento Anexo.

## **VIII. MEDIDAS PARA PROMOVER ENTENDIMENTO E SUPORTE AO PROJETO**

Com o intuito de promover suporte para o Projeto entre o povo da República Federativa do Brasil, O Governo da República Federativa do Brasil tomará as medidas apropriadas para fazer o Projeto amplamente difundido entre seu povo.

## **IX. DURAÇÃO DA COOPERAÇÃO**

A duração da cooperação técnica para o Projeto, de acordo com o Documento Anexo será de três (3) anos da data do início do Projeto.

**ANEXO I PLANO DIRETOR**

**ANEXO II LISTA DOS MEMBROS DO COMITÊ DE COORDENAÇÃO DO PROJETO**

## ANEXO I

### **PLANO DIRETOR**

#### **Nome do Projeto**

Projeto de Promoção do Turismo no MERCOSUL – Fase I

#### **Duração do Projeto**

3 (três) anos

#### **Objetivos Gerais**

- 1) A colaboração regional no setor do turismo no MERCOSUL será incrementado;
- 2) A colaboração bilateral entre os países membros do MERCOSUL e Japão no setor do turismo será incrementado.

#### **Objetivos do Projetos**

Institucionalizar a colaboração regional no setor do turismo entre os Estados Membros do MERCOSUL e aprimorar a capacidade coletiva de promoção do turismo;  
Estabelecer um ponto estratégico do MERCOSUL no mercado japonês do turismo e desenvolver modelos-caso para a promoção de turismo em novos mercados.

#### **Resultados**

A diretriz de colaboração regional no setor do turismo será fortalecido;  
A capacidade de planejamento para o turismo dos Estados Membros do MERCOSUL será aprimorado;  
A capacidade dos Estados Membros do MERCOSUL para o marketing turístico será aprimorado;  
A capacidade dos Estados Membros do MERCOSUL para o desenvolvimento de produtos de turismo será aprimorado;  
A capacidade dos Estados Membros do MERCOSUL para o desenvolvimento de recursos humanos para o setor turístico será aprimorado.

#### **Atividades**

- 1) A diretriz da colaboração regional no setor turístico será fortalecido.
  - 1-1) Estabelecer e operar o Escritório de Promoção do Turismo do MERCOSUL em modo experimental;
  - 1-2) Facilitar a coordenação entre os Estados Membros o MERCOSUL no setor de turístico.
- 2) A capacidade de planejamento para o turismo será aprimorado.
  - 2-1) Conduzir pesquisa de mercado no Japão;

- 2-2) Formular um plano mestre para a promoção turística no Japão;
- 2-3) Avaliar o progresso do plano mestre e formular o alcance da segunda fase do projeto.

3) A capacidade de marketing turístico será aprimorado.

3-1) Conduzir atividades-piloto de promoção no Japão;

3-2) Desenvolver materiais e meios para promoção do turismo no Japão

4) A capacidade para desenvolvimento de produtos de turismo será aprimorado.

4-1) Desenvolver produtos locais e regionais de turismo;

4-2) Facilitar o desenvolvimento de produtos de turismo e suas fontes pelos setores privados.

5) A capacidade de desenvolver recursos humanos para o turismo será aprimorado.

5-1) Desenvolver a capacidade de focar recursos humanos na promoção do turismo;

5-2) Facilitar o desenvolvimento de recursos humanos no setor privado.

## ANEXO II

### **Lista de Membros do Comitê de Coordenação do Projeto**

Pelo MERCOSUL:

Membros da RET, MERCOSUL;  
Membros do Grupo ad-hoc da RET, MERCOSUL.

Pelo Japão:

- 1) Representantes das Embaixadas Japonesas nos Estados Membros do MERCOSUL;
- 2) Representantes da JICA no MERCOSUL;
- 3) Representantes do Comitê de Assessoria da JICA.



MEMORANDO DE ENTENDIMENTO  
ENTRE A  
AGÊNCIA DE COOPERAÇÃO INTERNACIONAL DO JAPÃO  
E  
AS AUTORIDADES COMPETENTES DA  
REPÚBLICA FEDERATIVA DO BRASIL  
SOBRE  
A COOPERAÇÃO TÉCNICA DO JAPÃO PARA  
O “PROJETO DE PROMOÇÃO DO TURISMO NO MERCOSUL – FASE 1”

A Agência de Cooperação Internacional do Japão (doravante designada “JICA”) e as autoridades competentes do Governo Brasileiro assinaram o Registro de Discussões (doravante designada “R/D”) sobre o projeto de cooperação técnica “Projeto de Promoção de Turismo no Mercosul – Fase 1” (doravante designado “Projeto”).

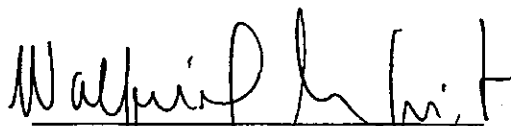
De modo a complementar o R/D, o conteúdo consentido por ambas as partes foi registrado como documento anexo.

O documento foi redigido em duplicata na língua portuguesa e inglesa, considerando-se cada texto igualmente autêntico. Em caso de divergência de interpretação o texto na língua inglesa deverá prevalecer.

Brasília, 23 de novembro de 2004.



Sr. Hyogen Komatsu  
Coordenador de Cooperação Técnica do Japão  
no Brasil  
Agência de Cooperação Internacional do Japão



Sr. Waltrido S. dos Mares Guia Neto  
Ministro  
Ministério do Turismo  
República Federativa do Brasil

## **DOCUMENTO ANEXO**

### **I - Estrutura do Projeto**

#### **1. Título do Projeto**

Projeto de Promoção do Turismo no MERCOSUL - Fase 1

#### **2. Órgãos de Implementação**

Os Órgãos dos estados membros do MERCOSUL encarregados pela Implementação do Projeto são os seguintes:

- República da Argentina: Secretaria Nacional de Turismo
- República Federativa do Brasil: Ministério do Turismo / EMBRATUR
- República do Paraguai: Secretaria Nacional de Turismo
- República Oriental do Uruguai: Ministério do Turismo

#### **3. Objetivos Gerais**

- (1) Aumento da colaboração regional no setor de turismo entre os estados membros do MERCOSUL.
- (2) Aumento da colaboração bilateral no setor de turismo entre os estados membros do MERCOSUL e o Japão.

#### **4. Objetivos de Projeto**

- (1) Institucionalizar a colaboração regional no setor de turismo entre os estados parte do MERCOSUL e aumentar a capacidade coletiva de promoção do turismo.
- (2) Estabelecer uma ponte entre os mercados de turismo do MERCOSUL e do Japão e desenvolver um modelo para a promoção do turismo em novos mercados.

#### **5. Resultados e Atividades**

##### 5-1. Fortalecimento do arcabouço de cooperação regional no setor de turismo

- (1) Implementação de Escritórios de Promoção de Turismo no MERCOSUL como projeto piloto.
- (2) Fortalecimento da coordenação de políticas entre os estados membros do MERCOSUL.

##### 5-2. Aumento da capacidade do MERCOSUL na área de planejamento turístico

- (1) Pesquisa e análise do Mercado Japonês.
- (2) Formulação de um plano mestre para a promoção do turismo destinado ao Mercado Japonês.

### 5-3. Aumento da capacidade do MERCOSUL na área de marketing turístico

- (1) Implementação de atividades de marketing de modo experimental.
- (2) Desenvolvimento de materiais e mídia para o marketing turístico de modo experimental.

### 5-4. Aumento da capacidade do MERCOSUL no desenvolvimento de produtos turísticos Desenvolvimento de produtos turísticos do MERCOSUL de modo experimental.

- (1) Facilitar o desenvolvimento de produtos turísticos pelo setor privado

### 5-5. Aumento da capacidade do MERCOSUL no desenvolvimento de recursos humanos para o turismo

- (1) Desenvolvimento da capacidade de pessoas focais do setor de turismo do MERCOSUL
- (2) Facilitar o desenvolvimento da capacidade do funcionalismo.

## **6. Tipos de Atividades**

### 6-1. Atividades Principais

- (1) As atividades do Projeto descritas acima serão planejadas e implementadas por órgãos de implementação do MERCOSUL e ficarão sob a responsabilidade dos mesmos. O JICA apoiará as atividades na função de facilitador e catalisador dos vários tipos de serviços que venham a se fazer necessários e os estados partes do MERCOSUL ficarão encarregados das despesas administrativas assim como das despesas conjuntas das atividades.
- (2) As atividades no Japão serão conduzidas por pessoas focais do MERCOSUL dentro do arcabouço do programa de treinamento do JICA.
- (3) Será dada particular atenção tanto pelos estados parte do MERCOSUL quanto pelo JICA à importância das parcerias entre o setor público e o setor privado na promoção do turismo. Os setores privados do MERCOSUL e do Japão serão incentivados a participar ativamente no Projeto.

### 6-2. Atividades conjuntas dos estados parte do MERCOSUL

- (1) As atividades planejadas e implementadas em conjunto pelos países membros com base em conceitos em comum serão priorizados pelo Projeto acima das atividades paralelas coordenadas descritas abaixo.
- (2) As atividades conjuntas não envolverão necessariamente todos os países membros.
- (3) As atividades conjuntas serão planejadas e implementadas pelo Escritório de Promoção de Turismo do MERCOSUL com o devido processo de aprovação detalhado na seção \_ abaixo.

### 6-3. Atividades paralelas coordenadas pelos estados parte do MERCOSUL

As atividades dos estados parte do MERCOSUL, a serem planejadas e implementadas de forma independente, serão apoiadas pelo Projeto com base no compartilhamento de custos, desde que estejam relacionados aos conceitos do Projeto e sejam aprovados como projetos piloto do Projeto. Durante a etapa inicial do Projeto serão desenvolvidas diretrizes para o

esquema de compartilhamento de custos com base em propostas para os projetos piloto coordenados.

#### 6-4. Atividades coordenadas dos setores privados

As atividades de entidades do setor privado serão apoiadas através de meios indiretos tais como serviços de assessoria e treinamento, desde que estejam em linha com os conceitos acordados no Projeto.

### **7. Duração do Projeto**

A duração do Projeto será de três anos.

### **8. Segunda Fase do Projeto**

- (1) A necessidade de implementação da segunda fase do Projeto será analisada e recomendada aos devidos governos caso se prove necessária para alcançar os resultados do Projeto, desde que ambas as partes assim o considerem.
- (2) A decisão de implementar a segunda fase será tomada pelos respectivos governos.
- (3) A revisão e formulação da abrangência da segunda fase do Projeto será conduzida de modo a não prejudicar a continuidade do Projeto.

## **II - Administração do Projeto**

### **1. Estrutura de Gestão do Projeto**

- (1) O Projeto será gerido pelo Grupo Ad-hoc RET. O Grupo tomará as decisões em questões relacionadas ao planejamento, à implementação e à avaliação do Projeto.
- (2) O coordenador do Grupo Ad-hoc RET será considerado o Coordenador Geral do Projeto e como tal deterá a responsabilidade geral pela administração do Projeto. A coordenação ser dará em consulta com os outros membros do Grupo Ad-hoc RET, que receberão o título de Coordenadores de Projeto.
- (3) O JICA prestará serviços para as diversas atividades com base em acordos para cada caso a serem fechados com o Grupo Ad-hoc RET através do seu Coordenador Geral de Projeto.

### **2. Gerência de Projeto**

#### 2-1. Escritório no MERCOSUL

- (1) O Escritório de Gestão do Projeto (doravante designado EGP) será estabelecido como o Escritório de Promoção de Turismo do MERCOSUL sob o Grupo Ad-hoc RET de modo a planejar, implementar e avaliar as atividades do Projeto.
- (2) Inicialmente o EGP ficará localizado dentro do Ministério do Turismo da República Oriental do Uruguai e será administrado pelo Coordenador Geral do Projeto.
- (3) Um perito do JICA ficará à disposição no EGP de modo a facilitar as atividades no MERCOSUL.

- (4) O lado do MERCOSUL definirá o status e as funções do Escritório de Promoção de Turismo do MERCOSUL durante o decorrer do Projeto de modo a institucionalizá-lo dentro do arcabouço do MERCOSUL.

#### 2-2. Escritório no Japão

- (1) Um escritório de campo do EGP será instalado no Japão de modo a implementar as atividades do Projeto no Japão (doravante designado EGPJ).
- (2) O chefe do EGPJ será designado pelo MERCOSUL com o consentimento do JICA.
- (3) O EGPJ planejará e implementará as atividades no Japão sob a direção do EGP e receberá poder arbitrário sobre aquelas atividades que não requeiram necessariamente a aprovação prévia da EGP devido à sua eficiência e eficácia. A abrangência dessas atividades será definida na etapa inicial do Projeto.
- (4) O chefe do EGPJ consultará as Embaixadas dos países membros do MERCOSUL em caso de necessidade.

### **3. Comitê de Coordenação do Projeto**

- (1) Será implementado um Comitê de Coordenação do Projeto para monitorar e avaliar o Projeto. Qualquer revisão do arcabouço do Projeto deverá ser autorizada pelo Comitê.
- (2) O Comitê de Coordenação do Projeto se reunirá pelo menos uma vez por ano para monitorar e avaliar um plano operacional anual. Reunir-se-á ainda sempre que as partes assim o acordarem.
- (3) Os membros do Comitê estão listados no ANEXO IV

### **4. Comitês de Apoio ao Projeto**

- (1) Serão estabelecidos Comitês de Apoio ao Projeto nos países membros do MERCOSUL e no Japão de modo a facilitar as parcerias entre o setor público e o setor privado em cada país.
- (2) Os Comitês de Apoio ao Projeto coordenarão a participação de entidades privadas nas atividades do Projeto a prestarão assessoria a cada órgão de implementação, no caso do Japão o EGPJ, em questões relacionadas a parcerias entre o setor público e o setor privado através da pesquisa de opiniões dos setores privados de cada país.
- (3) Os termos e condições dos Comitês serão estabelecidos por cada país na etapa inicial do Projeto.

## **III - Medidas a serem adotadas por ambos os lados**

### **1. Medidas a serem adotadas pelo lado do Japão**

#### 1-1. Previsão de serviços de peritos japoneses

- (1) Um perito contratado por um prazo longo será designado para o EGP como consultor de promoção do turismo de modo a facilitar as atividades do Projeto.
- (2) Peritos para trabalhos de curta duração serão encaminhados às áreas de desenvolvimento de produtos turísticos, marketing turístico, desenvolvimento de recursos

humanos para o turismo e outras áreas conforme necessário. Os números e termos de referência (TR) serão completados até o final da fase inicial do Projeto.

#### 1-2. Previsão de oportunidades para exposição e treinamento

- (1) Pessoas focais do MERCOSUL receberão oportunidades de exposição e participação em atividades piloto a serem conduzidas no Japão dentro do contexto do programa de treinamento do JICA.
- (2) Os números e campos de exposição e treinamento no Japão serão estabelecidos nas etapas preparatórias dos planos operacionais anuais.
- (3) Será considerada a implementação de programas em terceiros países caso seja necessário.

#### 1-3. Previsão de serviços para atividades no MERCOSUL

Os serviços necessários para as atividades no MERCOSUL descritos na seção \_-5 serão prestados com base nos acordos estabelecidos entre o EGP e o JICA a partir de propostas feitas pelo primeiro.

#### 1-4. Previsão de serviços para atividades no Japão

Os serviços necessários para as atividades no Japão descritos na seção \_-5 serão prestados com base nos acordos estabelecidos entre o EGP ou o EGPI e o JICA a partir de propostas feitas pelo primeiro.

#### 1-5. Designação de voluntários

Poderão ser designados voluntários do JICA para trabalhar no setor de turismo da Argentina, Paraguai e Uruguai atendendo a demanda dos respectivos governos. Ambas as partes concordaram em tomar as medidas necessárias para garantir uma coordenação cerrada entre o Projeto e os voluntários caso sejam designados.

### **2. Medidas a serem adotadas pelo MERCOSUL**

#### 2-1. Designação de pessoal focal

O lado do MERCOSUL designará as pessoas focais do Projeto fará o esforço que for necessário para mantê-las no decorrer do Projeto de modo a aumentar a eficácia do Projeto.

#### 2-2. Instalação do EGP

O lado do MERCOSUL fornecerá a infra-estrutura completa e mobiliada de escritório e se encarregará de quaisquer despesas recorrentes.

#### 2-3. Previsão de fornecimento de informações sobre recursos e produtos turísticos

O lado do MERCOSUL fornecerá informações sobre os recursos e produtos turísticos usados para atividades de marketing e desenvolvimento de produtos.

#### 2-4. Previsão de orçamento para atividades de custos compartilhados

O lado do MERCOSUL fornecerá um orçamento para as atividades a serem conduzidas em sistema de compartilhamento de custos.

#### 2-5. Despesas recorrentes

O lado do MERCOSUL arcará com o custo de itens recorrentes tais como despesas de viagem para os gestores do Projeto.

Anexo I - Matriz do Lógica do Projeto

Anexo II - Plano Operacional

Anexo III - Quadro Organizacional

Anexo IV - Lista dos Membros do Comitê de Coordenação

**ANEXO I. Matriz Lógica do Projeto**

**Título do Projeto: Projeto de Promoção do Turismo no MERCOSUL – Fase 1**

Resumo Narrativo	Indicadores Objetivos	Fontes de Verificação	Suposições Importantes
<p><b>Objetivo Superior</b></p> <p>(1) Fortalecimento da colaboração regional do setor turístico entre os países membros do MERCOSUL.</p> <p>(2) Fortalecimento da colaboração bilateral do setor turístico entre os países membros do MERCOSUL e Japão.</p>	<p>(1) Implementação das atividades conjuntas de promoção turística para outros países.</p> <p>(2) Aumento do número de turistas japoneses no MERCOSUL.</p>		
<p><b>Objetivo do Projeto</b></p> <p>(1) Institucionalizar a colaboração regional do setor turístico entre os Estados Partes do MERCOSUL e fortalecer a capacidade coletiva na promoção turística.</p> <p>(2) Estabelecer uma base do MERCOSUL no mercado turístico japonês e desenvolver um modelo de promoção turística para os novos mercados.</p>	<p>(1) Aprovação do Escritório de Promoção Turística do MERCOSUL como um instituto oficial e disposição do presuosto necessário para a operação do escritório.</p> <p>(2) Aprovação de diretrizes como modelos para promoção turística para os mercados emergentes.</p>	Informe de PMO.	<p>(1) A situação econômica não mudará drasticamente.</p> <p>(2) Não ocorrerá acidentes e incidentes de maior escala que afetem os turistas japoneses.</p>
<p><b>Output</b></p> <p>1. A base de colaboração regional será fortalecida no setor turístico.</p>	<p>(1) Plano do Escritório de Promoção Turística tanto no MERCOSUL como no Japão.</p> <p>(2) O número de reuniões do Comitê de Apoio</p>	Informe de PMO.	



2. A capacidade do MERCOSUL na planificação turística será fortalecida.	(1) Informe da Análise de Mercado. (2) Plano Mestre da promoção turística.	Informe de PMO.	
3. A capacidade do MERCOSUL no marketing turístico será fortalecida.	(1) Aumento no número de pessoas alcançadas. (2) Uma diretriz e manuais para marketing	Informe de PMO. Acesso à Página Web. Estudo de mercado.	
4. A capacidade do MERCOSUL no desenvolvimento de produtos turísticos será fortalecida.	(1) Aumento no número de produtos desenvolvidos. (2) Uma diretriz e manuais para o desenvolvimento de produtos.	Informe de PMO. Estudo de mercado.	
5. A capacidade do MERCOSUL no desenvolvimento de recursos humanos será fortalecida.	(1) Manutenção da rede de pessoas focais. (2) O número de pessoas que frequentaram os workshops dos consultores japoneses.	Informe de PMO.	

<p><b>Atividades</b></p> <p>1. A estrutura da colaboração regional no setor turístico será fortalecida.</p> <p>(1) Estabelecimento do Escritório de Promoção Turística do MERCOSUL numa base piloto.</p> <p>(2) Fortalecimento da coordenação na política entre os Estados Partes do MERCOSUL.</p> <p>2. A capacidade do MERCOSUL na planificação turística será fortalecida.</p> <p>(1) Estudo e análise do mercado japonês.</p> <p>(2) Formulação do plano mestre da promoção turística para o mercado japonês.</p> <p>3. A capacidade do MERCOSUL no marketing político será fortalecida.</p> <p>(1) Implementação das atividades de marketing numa base piloto.</p> <p>(2) Desenvolvimento dos materiais e mídia do marketing turístico numa base piloto.</p>	<p><b>Inputs</b></p> <p>&lt;A Parte do MERCOSUL&gt;</p> <p>1. Indicação de pessoas focais.</p> <p>2. Estabelecimento de PMO.</p> <p>3. Facilitação de informações e dados disponíveis.</p> <p>4. Provisão de pressuposto para as atividades de custo compartilhado.</p> <p>5. Provisão de fundos para os gastos correntes.</p> <p>&lt;A Parte Japonesa&gt;</p> <p>1. Prestação de serviços de peritos japoneses.</p> <p>2. Criação de oportunidades de treinamento e exposição.</p> <p>3. Prestação de serviço para as atividades no MERCOSUL.</p> <p>4. Prestação de serviço para as atividades no Japão.</p>	
---	--	--

<p>4. A capacidade do MERCOSUL no desenvolvimento de produtos será fortalecida.</p> <p>(1) Desenvolvimento dos produtos turísticos do MERCOSUL numa base piloto.</p> <p>(2) Facilitação no desenvolvimento dos produtos turísticos para o setor privado.</p> <p>5. A capacidade do MERCOSUL no desenvolvimento dos recursos humanos será desenvolvida.</p> <p>(1) Desenvolvimento da capacidade das pessoas focais do setor turístico do MERCOSUL.</p> <p>(2) Facilitação no desenvolvimento da capacidade do pessoal de serviço.</p>			
---	--	--	--

## **Anexo II - Plano Operacional**

### **1. Fortalecimento do arcabouço de cooperação regional no setor de turismo**

O arcabouço institucional para a colaboração regional entre os países membros do MERCOSUL será fortalecido através das atividades descritas abaixo. O input das atividades incluirá entre outras informações sobre o quadro funcional e os serviços necessários para o funcionamento dos escritórios. O resultado das atividades será avaliado através de indicadores como a formalização desses escritórios e a sustentabilidade dos seus planos operacionais, a serem concluídos até três meses antes do início do Projeto.

- (1) Criação de um Escritório de Promoção de Turismo no MERCOSUL como projeto piloto
  - a. Montar e operar o Escritório sob a supervisão do Grupo Ad-hoc RET.
  - b. Montar e operar uma filial no Japão.
  - c. Facilitar a criação de comitês do Projeto pelos setores privados de cada país.
  - d. Facilitar o diálogo entre os setores privados do MERCOSUL e do Japão.
- (2) Fortalecimento da coordenação de políticas entre os estados membros do MERCOSUL.
  - a. Conduzir seminários/workshops sobre assuntos relacionados ao RET.

### **2. Aumento da capacidade do MERCOSUL em planejamento de turismo**

A capacidade dos estados parte do MERCOSUL de analisar de maneira conjunta os mercados emergentes e formular estratégias será aumentada através das atividades descritas abaixo. O input das atividades incluirá entre outras informações sobre os serviços necessários para desenvolver pesquisas e avaliações. O resultado das atividades será avaliado por meio de indicadores como a qualidade do plano mestre e a proposta para a segunda fase do Projeto, a serem concluídos até três meses antes do início do Projeto.

- (1) Pesquisa e análise do Mercado Japonês.
  - a. Conduzir pesquisas sobre os elementos relacionados à demanda do mercado japonês, incluindo a opinião de consumidores sobre o MERCOSUL e quaisquer interesses individuais que possam vir a ter no MERCOSUL.
  - b. Conduzir pesquisas sobre os elementos relacionados à oferta do mercado japonês tais como produtos atuais, perfil de agentes e destinos que representam uma concorrência em potencial.
- (2) Formulação de um plano mestre de promoção de turismo para o mercado japonês.
  - a. Formular conceitos de produtos turísticos do MERCOSUL.
  - b. Formular uma série de estratégias e planos para a promoção do turismo, incluindo o desenvolvimento de produtos, o marketing desses produtos e a mobilização de recursos.
  - c. Avaliar a performance do Projeto.
  - d. Formular um plano mestre para a promoção do turismo no mercado japonês baseado nas informações colhidas no Projeto.

- e. Formular uma proposta para a segunda fase do Projeto de modo a consolidar os resultados do Projeto.

### **3. Aumento da capacidade do MERCOSUL na área de marketing turístico**

A capacidade dos setores privados e públicos do MERCOSUL de planejar e implementar atividades de marketing turístico será aumentada através das atividades conjuntas e paralelas descritas abaixo. O input das atividades abaixo deverá incluir entre outras informações sobre os serviços necessários para os eventos de marketing, a produção de materiais, etc. O resultado das atividades será avaliado através de indicadores tais como a qualidade das diretrizes desenvolvidas e o número de pessoas atingidas, a serem concluídos até três meses antes do início do Projeto.

#### **(1) Implementação de atividades de marketing a título experimental**

- a. Participar na JATA Travel Fair, a Feira de Turismo da Associação Japonesa de Agentes de Viagem.
- b. Realizar eventos promocionais e seminários direcionados a vários segmentos tais como entidades comerciais, governos locais, instituições educacionais e consumidores.
- c. Conduzir atividades publicitárias direcionadas à imprensa.
- d. Conduzir FAMturs direcionados a entidades comerciais e à imprensa.
- e. Facilitar atividades de marketing de entidades comerciais tanto do MERCOSUL quanto do Japão.
- f. Preparar diretrizes e um manual para o marketing turístico no Japão.

#### **(2) Desenvolvimento de mídia e materiais para o marketing turístico a título experimental**

- a. Operar o Site de Turismo do MERCOSUL.
- b. Produzir vários materiais promocionais incluindo “ferramentas de vendas”.

### **4. Aumento da capacidade do MERCOSUL no desenvolvimento de produtos turísticos**

As atividades conjuntas e paralelas descritas abaixo resultarão em um aumento da capacidade dos setores públicos e privados do MERCOSUL relacionados ao desenvolvimento de produtos turísticos. O input das atividades deverá incluir entre outros o intercâmbio de profissionais de ambos os lados, e os serviços necessários para o planejamento, a produção de materiais, etc. O resultado das atividades será avaliado através de indicadores tais como a qualidade das diretrizes desenvolvidas para o desenvolvimento de produtos e o número de produtos desenvolvidos, a serem concluídos até três meses antes do início do Projeto.

#### **(1) Desenvolvimento de produtos turísticos do MERCOSUL a título experimental**

- a. Formular conceitos sobre produtos turísticos do MERCOSUL a serem desenvolvidos em conjunto pelos países membros.
- b. Compilar informações relevantes sobre recursos e produtos existentes nos países membros.
- c. Formular e implementar projetos piloto para desenvolver “produtos turísticos conjuntos

- do MERCOSUL” com uma perspectiva tanto a curto quanto a longo prazo.
- d. Formular e implementar um projeto piloto nacional para desenvolver “produtos turísticos de coordenação bilateral” que estejam de acordo com os conceitos acordados de modo a realçar o valor dos produtos existentes ou desenvolver novos produtos feitos sob medida para o mercado japonês.
  - e. Preparar uma diretriz para o desenvolvimento conjunto de produtos por países membros do MERCOSUL.

(2) **Facilitação do desenvolvimento de produtos turísticos por setores privados**

- a. **Facilitar o desenvolvimento de produtos por entidades privadas.**

Preparar uma diretriz para o apoio governamental ao setor privado no desenvolvimento de produtos destinados a mercados emergentes.

**5. Aumento da capacidade do MERCOSUL no desenvolvimento de recursos humanos para o turismo**

A capacidade dos recursos humanos no setor de turismo do MERCOSUL aumentará graças às atividades descritas abaixo. O input das atividades incluirá entre outros programas de exposição no Japão e programas de treinamento no MERCOSUL. O resultado das atividades será avaliado através de tais indicadores como a manutenção de redes de pessoas focais e o número de pessoas que adquiriram conhecimentos e habilidades suficientes, a serem concluídos até três meses antes do início do projeto.

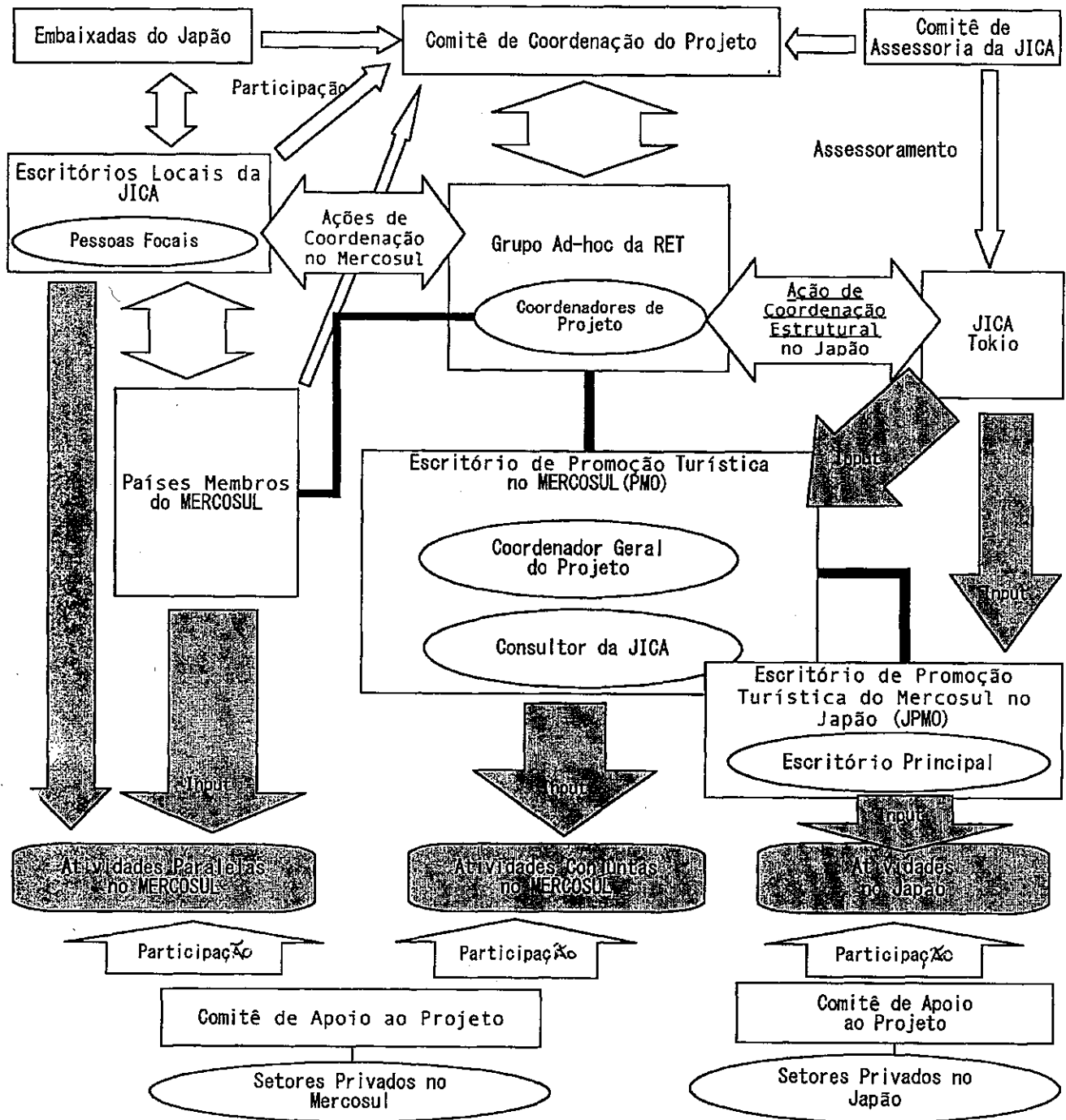
(1) **Desenvolvimento da capacidade de pessoas focais no setor de turismo do MERCOSUL.**

- a. Fornecer oportunidades de exposição para as pessoas focais de modo que tenham contato com questões reais e possam desenvolver soluções para elas.
- b. Fornecer oportunidades de atividades piloto para as pessoas focais para que internalizem o conhecimento adquirido e o transformem em capacidade prática.

(2) **Facilitação do desenvolvimento da capacidade do funcionalismo.**

- a. Avaliar as necessidades de treinamento para o funcionalismo tanto nos setores públicos quanto nos setores privados do MERCOSUL.
- b. Implementar cursos de treinamento para o funcionalismo no MERCOSUL.

**ANEXO III : Organograma do Projeto de Promoção do Turismo no MERCOSUL - Fase I**



## **ANEXO IV - Lista dos Membros do Comitê de Coordenação do Projeto**

### **1. O lado do MERCOSUL**

- 1) Membros do RET, MERCOSUL**
- 2) Membros do Grupo Ad-hoc RET, MERCOSUL**

### **2. O lado do Japão**

- 1) Representantes das Embaixadas do Japão no MERCOSUL**
- 2) Representantes dos Escritórios do JICA no MERCOSUL**
- 3) Representantes do Comitê de Assessoria do JICA**